

### 3 令和4年度協働事業一覧

No.	令和4年度 新規	令和4年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
1			多摩川流域連携会議における構成各市区との連携	事業協力, 情報交換・情報提供	多摩川流域連携会議	企画経営課
2			地域活性化包括連携協定による取組	事業協力, 情報交換・情報提供	株式会社セブニーイレブン・ジャパン, 株式会社トーヨーカ堂	企画経営課
3			包括的パートナーシップに関する協定による取組	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	アフラック生命保険株式会社	企画経営課
4			調布スマートシティ協議会	事業協力, 情報交換・情報提供	国立大学法人電気通信大学, 特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム, アフラック生命保険株式会社, 京王電鉄株式会社, 東日本電信電話株式会社, 日本郵便株式会社, 鹿島建設株式会社 鹿島技術研究所, 多摩信用金庫, 株式会社東京スタジアム	企画経営課
5			調布市総合計画策定産学官連携会議	事業協力, 情報交換・情報提供	国立大学法人電気通信大学, 特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム, アフラック生命保険株式会社, 京王電鉄株式会社, 東日本電信電話株式会社	企画経営課
6			eスポーツを基点とした包括的な体験・交流機会創出	事業協力, 指定管理・業務委託	東日本電信電話株式会社, 株式会社NTT-eSports, しばさき彩ステーション, 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会	企画経営課
7	○		多分野連携協定による取組	事業協力, 情報交換・情報提供	東日本電信電話株式会社東京武蔵野支店	企画経営課
8	○		円筒形太陽電池を用いた可搬式創蓄電設備の実証	事業協力, 指定管理・業務委託	電気通信大学	企画経営課
9	○		超小型バイオガспラントを活用した地域資源循環の実証事業	事業協力	東日本電信電話株式会社, 株式会社ビオストック, 株式会社NTTアグリテクノロジー, 市立小学校	企画経営課 学務課
10			声の広報	事業協力	特定非営利活動法人調布市民放送局, 東京YWCA国領こだまグループ	広報課
11			調布・狛江の魅力PR部	事業協力	調布市又は狛江市に在住・在勤の大学生	広報課
12			調布地域情報化推進協議会の運営	事業協力, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム	デジタル行政推進課
13			ICT東京フォーラム2022	共催	ICT東京フォーラム実行委員会等	デジタル行政推進課
14			地域防災体制の充実	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	防災市民組織	総合防災安全課
15			令和4年度シェイクアウト訓練	事業協力	「災害時における放送等に関する協定」締結団体	総合防災安全課
16			令和4年度調布市総合水防訓練	事業協力	「災害時における各種協定」締結団体	総合防災安全課
17			令和4年度避難所開設訓練(防災教育の日)	事業協力	自治会, 地区協議会, NPO法人調布心身障害児・者親の会	総合防災安全課
18			令和4年度調布市総合防災訓練・防災フェア	事業協力	災害に関する協定締結団体, 自治会, 地区協議会	総合防災安全課

No.	令和4年度 新規	令和4年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
19			「中学生の税についての作文」の表彰	事業協力	武蔵府中納税貯蓄組合連合会	納税課
20			人権啓発協働事業	事業協力, 情報交換・情報提供	調布市人権擁護委員	市民相談課
21			市民団体等との連携による平和祈念事業の開催	共催, 事業協力, 指定管理・業務委託	NPO法人ちようふこどもネット, FC東京, 株式会社渋谷不動産エージェンツ, 株式会社タキオンジャパン, 調布市原爆被害者の会, 調布平和のつどい実行委員会	文化生涯学習課
22			国際交流事業の実施	共催, 補助・助成, 指定管理・業務委託	調布市国際交流協会	文化生涯学習課
23			「バラハートちようふ」の推進(調布市バラアート展2022)	共催	調布市福祉作業所等連絡会	文化生涯学習課
24			市民との連携による生涯学習のきっかけづくり	事業協力	地域デビュー推進委員会, 各生涯学習サークル	文化生涯学習課
25			「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」関連事業団体との連携	共催, 事業協力, 補助・助成	調布市文化協会ほか	文化生涯学習課
26			フードドライブの実施	事業協力, 情報交換・情報提供	調布市消費者団体連合会, 調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会, 市内協力事業者	文化生涯学習課
27			消費生活講座	共催	東京都	文化生涯学習課
28	○		消費生活出前授業	事業協力	市教育委員会, 市立学校	文化生涯学習課
29			調布市文化・コミュニティ振興財団との連携	共催, 指定管理・業務委託	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団	文化生涯学習課
30			相互友好協力協定締結大学定例会	事業協力, 情報交換・情報提供	相互友好協力協定締結大学	文化生涯学習課
31			相互友好協力協定締結大学との連携	共催, 事業協力	相互友好協力協定締結大学(電気通信大学)	文化生涯学習課
32			ちようふ地域コミュニティサイトの運用	指定管理・業務委託	特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム	協働推進課
33			ふれあいの家の管理運営	指定管理・業務委託	ふれあいの家運営委員会(18施設)	協働推進課
34			コミュニティ推進事業	補助・助成	調布市自治会連合協議会, 各地区協議会	協働推進課
35			自治会といっしょに！キャンペーン	事業協力	調布市自治会連合協議会	協働推進課
36			市民活動支援センターの運営	指定管理・業務委託	社会福祉法人調布市社会福祉協議会	協働推進課
37			いやしとふれあいの旅事業(宿泊料金の割引, 調布発着のバスツアー)	事業協力, 情報交換・情報提供	京王観光株式会社, さくらツーリスト株式会社	協働推進課
38			調布まち活フェスタ	実行委員会, 事業協力	まち活フェスタ実行委員, 調布市市民活動支援センター	協働推進課

No.	令和4年度 新規	令和4年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
39			男女共同参画推進フォーラム「しえいくはんず」の開催	共催	男女共同参画推進フォーラム実行委員会	多様性社会・男女共同参画推進課
40			女性の「キャリア研究」についての講演	事業協力	白百合女子大学	多様性社会・男女共同参画推進課
41			女性のための起業セミナー	共催	日本政策金融公庫, 多摩信用金庫	多様性社会・男女共同参画推進課
42			市内映画・映像関連企業や市民団体等と連携した「映画のまち調布」の推進	共催, 実行委員会, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	子どもたちと映画寺子屋, 調布シネマクラブ, 角川大映スタジオ, 日活調布撮影所, 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団など	産業振興課
43			商店街活性化の推進事業	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	市内商店会, 市内事業者, 調布市商工会, 城西国際大学	産業振興課
44			調布市商工会事業の支援	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	調布市商工会	産業振興課
45			調布駅前から盛り上げる会	実行委員会, 事業協力, 情報交換・情報提供	調布駅前から盛り上げる会(調布駅前商店街, 京王電鉄株式会社, イオンエンターテイメント株式会社, 調布市商工会, 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団など)	産業振興課
46			調布市観光協会事業の促進	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	調布市観光協会	産業振興課
47			「水木マンガの生まれた街 調布」の推進事業	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	株式会社水木プロダクション, 鳥取県, 境港市, 東映アニメーション株式会社, イオンエンターテイメント株式会社, 調布市観光協会など	産業振興課
48			ICTを活用した情報発信による観光振興及び地域経済活性化促進事業(調布市・一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定)	事業協力	一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団	産業振興課
49			就労支援セミナー等の開催	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	ハローワーク府中, 厚労省東京労働局, 公益財団法人東京しごと財団東京しごとセンター多摩, 東京都産業労働局	産業振興課
50			金融機関との連携による民間ノウハウを活用した中小企業支援事業	事業協力, 情報交換・情報提供	多摩信用金庫, 三井住友銀行, りそな銀行, みずほ銀行及びみずほ信託銀行, 西武信用金庫	産業振興課
51			第44回調布市農業まつり	実行委員会, 事業協力	調布市農業まつり実行委員会	農政課
52			東京都町村ポッチャ大会	共催, 実行委員会, 事業協力	東京都町村ポッチャ大会実行委員会, 東京都ポッチャ協会, 調布市スポーツ推進委員会, 特定非営利活動法人調和SHC倶楽部	スポーツ振興課
53			調布市体育協会事業の支援	共催, 実行委員会, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	公益社団法人調布市体育協会	スポーツ振興課
54			FC東京による地域貢献活動支援	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	FC東京	スポーツ振興課
55			FC東京調布の日	事業協力, 情報交換・情報提供	FC東京, 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会	スポーツ振興課
56	○		FC東京青赤ストリート	実行委員会	FC東京, 株式会社東京スタジアム, 調布市観光協会, 調布市商工会, 公益社団法人調布市体育協会, 飛田給小学校地区協議会, 飛田給自治会, パークホームズ調布飛田給自治会, 株式会社シミスオクト	スポーツ振興課
57	○		FC東京ホームタウン6市による連携事業	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	FC東京, 府中市, 三鷹市, 小平市, 西東京市, 小金井市	スポーツ振興課
58	○		府中調布三鷹ラグビー連携協議会	実行委員会	府中市, 三鷹市, 東芝ブレイブルーパス東京, 東京サントリーサンゴリアス	スポーツ振興課

No.	令和4年度 新規	令和4年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
59	○		東芝ブレイブルーパス東京・東京サントリーサンゴリアスによる地域貢献活動支援	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	東芝ブレイブルーパス東京, 東京サントリーサンゴリアス	スポーツ振興課
60			調布市障害者スポーツ体験会	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	武蔵野の森総合スポーツプラザ, 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会, 一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟, 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会, FC東京, 調布市スポーツ推進委員会, 東日本電信電話株式会社, 株式会社NTTe-Sports	スポーツ振興課
61			調布市障害者スポーツの振興における協議体	実行委員会, 事業協力, 情報交換・情報提供	公益社団法人調布市体育協会, 調布市スポーツ推進委員会, 特定非営利活動法人調和SHC倶楽部, 調布市福祉作業所等連絡会, 地域生活支援センター, 社会福祉法人調布市社会福祉協議会, 社会福祉法人調布市社会福祉事業団, 東京都, 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会, 公益社団法人東京都理学療法士協会	スポーツ振興課
62	○		ブラインドサッカー体験授業「体験型ダイバーシティ教育プログラム スポ育」	指定管理・業務委託	特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会	スポーツ振興課
63			あすチャレ! スクール	指定管理・業務委託	公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター	スポーツ振興課
64	○		車いすバスケットボールChofuエキシビジョンマッチinむさづら	共催, 事業協力, 指定管理・業務委託	武蔵野の森総合スポーツプラザ, 一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟	スポーツ振興課
65		○	調布サマーフェスティバル2022	共催, 事業協力, 指定管理・業務委託	調布市観光協会, 株式会社京王閣, 東京都十一市競輪事業組合, 東京都, 調布市文化協会, 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団, 調布よさこい実行委員会, FC東京, 東芝ブレイブルーパス東京	スポーツ振興課
66			NTT東日本バドミントン部地域感謝祭	共催, 事業協力	NTT東日本バドミントン部	スポーツ振興課
67		○	読売巨人軍関連事業	共催, 事業協力	株式会社読売巨人軍	スポーツ振興課
68			調布市ニューススポーツ交流会	事業協力	調布市スポーツ推進委員会	スポーツ振興課
69		○	調布市小学生ドッジビー大会	事業協力	調布市小学生ドッジビー大会実行委員会	スポーツ振興課
70			子育て応援サイト「コサイト」の運営支援	情報交換・情報提供	NPO法人ちようふ子育てネットワーク・ちよこネット	子ども政策課
71			「こどもとフラット」の運営支援	情報交換・情報提供	社会福祉法人調布白雲福祉会, NPO法人ちようふ子育てネットワーク・ちよこネット	子ども政策課
72			子育て情報誌の発行	事業協力	株式会社ジチタイアド	子ども政策課
73			子ども・若者総合支援事業 ここあ	指定管理・業務委託	社会福祉法人調布市社会福祉協議会	子ども家庭課 児童青少年課 生活福祉課
74			健全育成推進地区委員会との連携	補助・助成	健全育成推進地区委員会	児童青少年課
75			調布市青少年ステーション(CAPS)の運営	指定管理・業務委託	NPO法人ちようふこどもネット	児童青少年課
76			子ども・若者居場所事業	補助・助成	NPO法人青少年の居場所Kitotos	児童青少年課

No.	令和4年度 新規	令和4年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
77			子ども・若者支援地域ネットワーク	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	社会福祉法人調布市社会福祉協議会, NPO法人ちようふこどもネット, NPO法人青少年の居場所Kiitos, NPO法人育て上げネット(ちようふ若者サポートステーション), NPO法人調布心身障害児・者親の会, NPO法人ちようふ子育てネットワーク・ちよこネット, 一般社団法人とちぎ青少年自立援助センター(調布センターだけのこ), 特定医療法人研精会東京さつきホスピタル, 若者の再出発を支えるネット, 民生児童委員協議会, 調布保護司会, 多摩児童相談所, 多摩府中保健所, 調布警察署, 府中公共職業安定所	児童青少年課
78			第72回“社会を明るくする運動”	実行委員会	社会を明るくする運動調布市推進委員会	福祉総務課
79			調布市平和祈念祭	共催	調布市遺族厚生会	福祉総務課
80			高齢者健康づくり事業	補助・助成, 情報交換・情報提供	東京YWCA国領, ソング布田, (公社)東京都柔道整復師会武蔵野支部調布地区, 八雲台小学校地区協議会, 調布市将棋連盟	高齢者支援室
81			生活支援体制整備事業	事業協力, 指定管理・業務委託	市民, 社会福祉法人調布市社会福祉協議会	高齢者支援室
82			調布市障害者余暇活動支援事業「ほりでーぶらん」	実行委員会	ほりでーぶらん実行委員会	障害福祉課
83			あおぞらサッカースクール	事業協力, 補助・助成	FC東京, 認定特定非営利活動法人トラソス	障害福祉課
84			「がん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携」に関する協定に基づく普及啓発事業	共催	アフラック生命保険株式会社	健康推進課
85			歯と健康のつどい	共催	一般社団法人調布市歯科医師会	健康推進課
86			緊急医療救護所設置・運営訓練	事業協力	調布市医師会, 調布市歯科医師会, 調布市薬剤師会, 調布市柔道整復師会	健康推進課
87	○		味スタウォーキングコース設置	情報交換・情報提供	味の素株式会社, 株式会社東京スタジアム	健康推進課
88			公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業	事業協力, 情報交換・情報提供	調布未来のエネルギー協議会, 調布まちなか発電株式会社	環境政策課
89			崖線緑地保全	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	入間・樹林の会, カニ山の会, 若葉の森3・1会, 若葉緑地の会, 凸凹森の会, 緑につつまれた街づくりの会, 入間町2丁目緑地の会	緑と公園課
90			公遊園等清掃協力	補助・助成	自治会, 子ども会, 老人会, 地域グループ	緑と公園課
91			花いっぱい運動事業	補助・助成	自治会, 地域グループ	緑と公園課
92			資源物地域集団回収事業	補助・助成	自治会, マンション等管理組合, 子ども会, PTA, 少年団, 婦人会, 修道院等	ごみ対策課
93			まちの「つながり」プロジェクト まちなかラボ 富士見BASE	事業協力	共立女子大学, SUGAWARADAISUKE建築事務所株式会社, 調布市空き家等対策推進協議会, 社会福祉法人調布市社会福祉協議会	住宅課
94			住まいの未来セミナー・個別相談会	共催	調布市空き家ワンストップ相談窓口事業者(ミサワホーム, 三井住友信託銀行, 東京都建築士事務所協会(南部支部), 東京都行政書士会 調布支部, 日本地主家主協会, 多摩信用金庫)	住宅課

No.	令和4年度 新規	令和4年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
95			調布市ふれあいのみちづくり事業	事業協力, 情報交換・情報提供	大町自治会ほか15団体	道路管理課
96			TSマーク付帯保険加入促進事業	事業協力, 補助・助成, 情報交換・ 情報提供, 指定管理・業務委託	調布市自転車商協同組合 調布支 部	交通対策課
97			北部地域巡回公共交通(実証実験)事 業	事業協力, 情報交換・情報提供	北ノ台まちづくりネットワーク・ふじみ 地区自治会等連合会・北部地区まち づくり推進準備会のほか、深大寺北 町、深大寺東町の市民	交通対策課
98	○		高齢者等運転免許自主返納サポート 事業	事業協力, 補助・助成, 情報交換・ 情報提供, 指定管理・業務委託	調布市商工会, 調布市高齢者免許 自主返納推進市民会議	交通対策課
99			デジタル化に対応した食育の推進	事業協力, 情報交換・情報提供	東日本電信電話株式会社, 株式会 社NTTアグリテクノロジー, 市立小学 校	学務課 企画経営課
100			学校開放事業	情報交換・情報提供, 指定管理・業 務委託	学校開放運営委員会	社会教育課
101			調布市二十歳のつどい	実行委員会	二十歳のつどい実行委員会	社会教育課
102			障害者社会活動支援事業	事業協力, 指定管理・業務委託	調布のびのびサークル	社会教育課
103			学習グループの活動	事業協力, 補助・助成	学習グループサポート事業登録グ ループ(コミュニケーション学習会 “SMILE”, たんぼぼの会, CCD, 子 育てネットkonokono, 歴史サークル・ 芝蘭, 教育フォーラム・のどろか, つ むぐ)	社会教育課
104			リーダー養成講習会	指定管理・業務委託	調布市レクリエーション研究会	社会教育課
105			調布市公立学校PTA連合会の活動	実行委員会, 事業協力, 補助・助成	調布市公立学校PTA連合会	社会教育課
106			こどもの緊急避難場所提供	事業協力, 情報交換・情報提供	市内小学校PTA校外委員及び健全 育成委員, 協定締結機関	社会教育課
107			社会教育関係団体の活動	事業協力, 補助・助成	社会教育関係登録団体(アカデミー 愛とびあ, 調布市公民館・文化会館 たづくり利用者会議, 調布さくらウイ ンドオーケストラ, 調布フィーリング アーツ, 調布フィルハーモニー管弦 楽団, おちぶち, 調布市青少年吹奏 楽団, 混声合唱団 七福神, ジャズ ボーカル・ドリーム, ボイスカウト調 布第3団)	社会教育課
108			地域文化祭	実行委員会	東部地域文化祭実行委員会, 西部地域文化祭実行委員会, 北部地域文化祭実行委員会	東部公民館 西部公民館 北部公民館
109			「日本史を学ぶ会」公開講座	共催	日本史を学ぶ会	東部公民館
110			地域連携事業「桐朋女子中・高等学 校」	事業協力	桐朋女子中・高等学校	東部公民館
111			若葉学校地区協議会共催「防災講演 会～地形と自然災害」	共催, 情報交換・情報提供	若葉学校地区協議会	東部公民館
112			体験教室「小倉百人一首の世界 歌人 とその時代」	共催	小倉百人一首を楽しむ会(西部公民 館利用登録団体)	西部公民館
113	○		「書道を楽しむひととき『西和会』体験教 室」	共催	西和会(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
114	○		「Let's speak English『やさしい英会 話』体験教室」	共催	やさしい英会話(西部公民館利用登 録団体)	西部公民館
115	○		「和太鼓って気持ちいい!～子どもも大 人もいっしょに体験しませんか～『たま 川太鼓』体験教室」	共催	たま川太鼓(西部公民館利用登録団 体)	西部公民館

No.	令和4年度 新規	令和4年度 再開	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
116	○		「秋の夜長のおつまみとおかず作り『おやじの厨房』体験教室」	共催	おやじの厨房(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
117	○		「秋を楽しむ女子会ランチ『クッキングママ』体験教室」	共催	クッキングママ(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
118	○		「秋の夜長のおつまみとおかず作り『クッキングパパ』体験教室」	共催	クッキングパパ(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
119	○		「干支のうさぎを墨で描いてみませんか『西雅会』体験教室」	共催	西雅会(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
120			『知りたい』が未来をつくる!『科学道100冊』図書展	事業協力	「科学道2022」実行委員会	北部公民館
121			北の杜講座「みんなで盆踊り体験～東京音頭, 調布音頭など」	共催	上ノ原まちづくりの会(地区協議会)	北部公民館
122	○		「手づくり うえのはら カルタ」	共催	上ノ原地区子ども会連絡会 えどう・みどり子ども会	北部公民館
123	○		「北の杜ほくほく散歩～上ノ原公園からかに山～」	共催	上ノ原まちづくりの会(地区協議会)	北部公民館
124	○		「北の杜ドキドキ防災フェス2023」	共催	上ノ原まちづくりの会(地区協議会)	北部公民館
125			図書館の利用支援	事業協力	図書館に登録している音訳者・点訳者・布の絵本製作者・宅配協力員	図書館
126			読書啓発事業	共催	アカデミー愛とびあ	図書館
127			地域文化講演会「調布の社寺をめぐる信仰の今昔～疫病への対処を中心に～」	共催	調布史談会	郷土博物館
128		○	第63回調布市郷土芸能祭ばやし保存大会	共催	調布市郷土芸能祭ばやし保存会	郷土博物館
129	○		深大寺・調布市教育委員会・狛江市教育委員会三者共催事業 連続講演会・座談会「深大寺白鳳仏の来歴を探る」	共催	深大寺, 狛江市教育委員会	郷土博物館

※令和4年度の新規事業は23事業です。

## 4 協働事業調査票

令和4年度の協働事業について、概要をまとめた調査票を市の組織(部)別に掲載しています。調査票の見方は下記を御参照ください。

また、各取組及び公表項目は、平成22年3月に策定した協働推進ガイドブックに準じて設定しています。

### 【協働事業調査票の見方】

協働事業名には、実際に行った事業名を、事務事業名には、行政評価における事務事業名を記載しています。

協働事業の説明と協働の方法等について記載しています。

協働のパートナーの形態・名称を記載しています。一つの事業に複数のパートナーと協働する場合があります。

事業が、「パートナー」、「市」どちらからの提案により協働で行われることになったのか記載しています。

		No. **	
協働事業名		所管部課名	
事務事業名		電話番号	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
協働のパートナー		事業提案者	
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会	<input type="checkbox"/> 事業協力
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供	<input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	<input type="checkbox"/> 補助・助成
役割分担	パートナーの役割	分野	
	市の役割	関連施策※	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業	<input type="checkbox"/> 継続事業	
協働したことによる成果			
協働に当たっての課題と対応			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行事プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

令和4年度から新規に実施した事業か、令和3年度以前から実施している事業なのか、チェックを入れています。

協働したことによる成果を記載しています。

協働に当たっての課題と対応等を記載しています。



# 行政経営部

## 令和4年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
1	多摩川流域連携会議における構成各市 区との連携	事業協力, 情報交換・情報提供	多摩川流域連携会議	企画経営課
2	地域活性化包括連携協定による取組	事業協力, 情報交換・情報提供	株式会社セブン-イレブン・ジャパ ン, 株式会社イトーヨーカ堂	企画経営課
3	包括的パートナーシップに関する協定に よる取組	共催, 事業協力, 情報交換・情報提 供	アフラック生命保険株式会社	企画経営課
4	調布スマートシティ協議会	事業協力, 情報交換・情報提供	国立大学法人電気通信大学, 特定 非営利活動法人調布市地域情報化 コンソーシアム, アフラック生命保険 株式会社, 京王電鉄株式会社, 東日 本電信電話株式会社, 日本郵便株 式会社, 鹿島建設株式会社, 鹿島技 術研究所, 多摩信用金庫, 株式会社 東京スタジアム	企画経営課
5	調布市総合計画策定産学官連携会議	事業協力, 情報交換・情報提供	国立大学法人電気通信大学, 特定 非営利活動法人調布市地域情報化 コンソーシアム, アフラック生命保険 株式会社, 京王電鉄株式会社, 東日 本電信電話株式会社	企画経営課
6	eスポーツを基点とした包摂的な体験・交 流機会創出	事業協力, 指定管理・業務委託	東日本電信電話株式会社, 株式会 社NTT-eSports, しばさき彩ステー ション, 公益社団法人東京都障害者 スポーツ協会	企画経営課
7	多分野連携協定による取組	事業協力, 情報交換・情報提供	東日本電信電話株式会社東京武蔵 野支店	企画経営課
8	円筒形太陽電池を用いた可搬式創蓄電 設備の実証	事業協力, 指定管理・業務委託	電気通信大学	企画経営課
9	超小型バイオガспラントを活用した地域 資源循環の実証事業	事業協力	東日本電信電話株式会社, 株式会 社バイオストック, 株式会社NTTアグリ テクノロジー, 市立小学校	企画経営課 学務課
10	声の広報	事業協力	特定非営利活動法人調布市民放送 局, 東京YWCA国領こだまグループ	広報課
11	調布・狛江の魅力PR部	事業協力	調布市又は狛江市に在住・在勤の大 学生	広報課
12	調布地域情報化推進協議会の運営	事業協力, 情報交換・情報提供, 指 定管理・業務委託	特定非営利活動法人調布市地域情 報化コンソーシアム	デジタル行政推進課
13	ICT東京フォーラム2022	共催	ICT東京フォーラム実行委員会等	デジタル行政推進課

協働事業名	多摩川流域連携会議における構成各市区との連携	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	企画調整	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
多摩川流域の全11自治体（令和4年度末現在）が、多摩川をテーマとした連携を企画・展開することを目的に平成25年4月から多摩川流域連携会議を開催している。会議では、共通する行政課題や広域的な課題等について意見交換を行うほか、多摩川流域郷土芸能フェスティバルでの連携した取組など、各自治体若手職員相互の人事交流・人材育成も目的とし、市域を越えて広域的な視野で課題を捉え、連携して多摩地域の魅力向上に取り組んでいる。			
協働のパートナー	多摩川流域連携会議 (大田区,世田谷区,八王子市,府中市,調布市,日野市,狛江市,多摩市,稲城市,川崎市,町田市)		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 自治体間連携
			関連施策※ 01災害に強いまちづくり 17魅力ある観光の振興 27水と緑による快適空間づくり
役割分担	パートナーの役割	課題の共有・検討, 連携イベントの情報交換・情報共有	
	市の役割	課題の共有・検討, 連携イベントの情報交換・情報共有, 会議の運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○会議開催（3回）による広域的な検討課題に関する連携・情報交換ができた。 ○オンライン研修会の実施によるRESAS活用方法を習得した。			
協働に当たっての課題と対応			
○多様な主体との連携拡大を図ることによる、より広域的な行政課題の解決が必要である。 ○会議の継続的・発展的運営の検討を行う。			

協働事業名	地域活性化包括連携協定による取組	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	産学官連携による連携事業	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市と事業者が相互に連携し、協働による取組を推進することで、地域や暮らしの安全・安心、地域防災・災害対策、地産地消と市産品の販路拡大、地域の活性化、市政情報及び観光情報の発信、高齢者・障害者の支援、子ども・青少年の育成、食育・健康増進、環境保全・リサイクルに関する取組など、更なる市民の安全・安心の確保や市民サービスの向上を図るため、株式会社セブン・イレブン・ジャパン及び株式会社イトーヨーカ堂と地域活性化包括連携協定を締結（平成30年4月18日）した。			
協働のパートナー	株式会社セブン・イレブン・ジャパン, 株式会社イトーヨーカ堂		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習, 観光・労働, 福祉等
			関連施策※ 行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営, 広報, 参加者募集	
	市の役割	事業の企画, 情報提供, 広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○高齢者等の見守り活動を実施した。 ○生涯学習出張相談による学びのきっかけづくりにつながった。 ○観光情報等の魅力発信による市民サービス向上につながった。 ○シニア雇用を促進した。 ○福祉作業所の生産品販売を促進した。 ○フードロスの削減につながった。			
協働に当たっての課題と対応			
○定期的な連携会議の開催による連携事業の調整及び見直しを図る。			

協働事業名	包括的パートナーシップに関する協定による取組	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	産学官連携による連携事業	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
調布のまちの持続的な発展と社会的課題の解決に向けて、それぞれの保有する特性・資源・ノウハウ等を生かしながら、これまで以上に幅広く多様な分野において連携・協働し、地域の活性化と市民サービスの向上、社会的価値の創出に取り組むことを目的として、アフラック生命保険株式会社と令和元年8月5日に包括的パートナーシップ協定を締結した。			
協働のパートナー	アフラック生命保険株式会社		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習、観光・労働、福祉等
			関連施策※ 行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集	
	市の役割	事業の企画、情報提供、広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○人材交流（行政実務研修員の受入れ）を行った。</li> <li>○子宮頸がん予防のためのHPV検査事業を実施した。</li> <li>○小児がん経験者・がん遺児奨学金制度への街頭募金への協力を行った。</li> <li>○マイナンバーカードの普及促進を図った。</li> <li>○調布国際音楽祭に対する特別協賛を行った。</li> </ul>			
協働に当たっての課題と対応			
○定期的・継続的な協議による、連携事業の調整及び見直しが必要である。			

協働事業名	調布スマートシティ協議会	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	調布スマートシティ協議会への参画	電話番号	042-481-7368
S			
令和3年6月に、産学官民の連携の下、デジタル技術を活用し、市民生活の豊かさや利便性の向上、地域の活性化につながる新たなサービスや事業の創出等を通じて、市が抱える社会的課題の解決を図ることを目的として「調布スマートシティ協議会」を設立。当初は4団体だったが、その後、6団体が参加し、計10団体となった。社会的課題の解決と新たなサービスなどによる経済的価値の創出を両立することにより、持続可能な取組としていくことを目指す「共有価値創造型スマートシティ」を団体のコンセプトとしている。			
協働のパートナー	国立大学法人電気通信大学、特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム(CLIC)、アフラック生命保険株式会社、京王電鉄株式会社、東日本電信電話株式会社(NTT東日本)、日本郵便株式会社、鹿島建設株式会社、鹿島技術研究所、多摩信用金庫、株式会社東京スタジアム		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 産学官民連携、デジタル
			関連施策※ 行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	課題の共有・検討、事業の企画・運営、広報	
	市の役割	課題の共有・検討、事業の企画、情報提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワーキンググループにおける施策の検討及び会議開催（9回）による意見交換を実施した。</li> <li>○「CDC運動(つながり創出による高齢者の健康増進事業)」を継続的に実施した。</li> <li>○協議会設立1周年イベントを開催した。</li> </ul>			
協働に当たっての課題と対応			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的・継続的な協議による取組を推進する。</li> <li>○スマートシティの根幹となる都市OSの導入検討を行う。</li> <li>○協議会の継続的・発展的運営に向けた検討を行う。</li> </ul>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市総合計画策定産学官連携会議	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	総合計画等の策定・推進事務	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
令和5年度を初年度とする新たな総合計画（基本構想・基本計画）の策定に向け、市を取り巻く環境の変化や多様化・複雑化する社会的な課題を的確に捉え、市内に事業所等を有する企業・大学等が有する知見やノウハウ等を生かしながら、市における課題解決に向けた検討を行うために令和3年8月に設置。			
協働のパートナー	国立大学法人電気通信大学・特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム（CLIC）・アフラック生命保険株式会社・京王電鉄株式会社・東日本電信電話株式会社（NTT東日本）	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	産学官民連携
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	基本計画への提案	
	市の役割	情報提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○会議開催による意見交換（8回）を行った。 ○市が抱える行政課題に対する事業・サービスの提案をいただいた。			
協働に当たっての課題と対応			
○後期基本計画、次期総合計画の策定に際し、産学官連携会議の設置判断を行う。			

協働事業名	eスポーツを基点とした包摂的な体験・交流機会創出	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	産学官連携による連携事業	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
eスポーツを基点としたあらゆる市民の交流機会を創出することで市民生活の質の向上を目指すとともに、市域のにぎわい創出につなげることを目的として、しばさき彩ステーション、ふじみ交流プラザ、青少年ステーションCAPSを主会場とした施設内でのeスポーツ体験イベントのほか、三つの施設をつないだ施設間・多世代交流イベント、調布市障害者スポーツ体験会におけるeスポーツ体験イベントを実施した。また、子ども向けに、ゲームを使ったプログラミング教室を開催した。			
協働のパートナー	東日本電信電話株式会社、株式会社NTT-eSports、しばさき彩ステーション、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	福祉、デジタル
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	
役割分担	パートナーの役割	事業の運営	
	市の役割	参加者の募集、広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○eスポーツ体験による各施設内での交流の活性化を図った。 ○施設間交流イベントによる年代や住んでいる地域の垣根を超えた交流機会を創出した。 ○プログラミング教室による、子どもたちのプログラミング学習のきっかけ作りにつながった。			
協働に当たっての課題と対応			
○イベントや体験会の参加者の安定的な獲得につなげる。 ○今後取組が自発的に発展・継続していくための環境づくりを行う。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	多分野連携協定による取組	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	産学官連携による連携事業	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>活力ある持続可能なまちの実現に向け、それぞれが有する特性や資源、ノウハウを生かしながら、幅広い分野において相互に連携・協力し、人と地域をつなぐことで、地域の活性化と市民サービスの向上を図るとともに、多様な価値や市民生活の豊かさを持続的に創出していくまちの実現を目指して、東日本電信電話株式会社東京武蔵野支店（NTT東日本）と令和5年2月27日に活力ある持続可能なまちの実現に向けた多分野連携協定を締結した。</p>			
協働のパートナー	東日本電信電話株式会社東京武蔵野支店	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	生涯学習、観光・労働、福祉等
		関連施策※	
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集	
	市の役割	事業の企画、情報提供、広報	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○連携協定を締結し、今後協働の取組について継続的に意見交換できる関係性を築くことができた。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○定期的・継続的な協議による、連携事業の調整及び見直しを行う。</p>			

協働事業名	円筒形太陽電池を用いた可搬式創蓄電設備の実証	所管部課名	行政経営部 企画経営課
事務事業名	eスポーツを基点とした包摂的な体験・交流機会創出	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>電気通信大学が設計・開発している、移動式の円筒形太陽光発電装置の実証実験に参加し、市が主催するeスポーツイベント等で活用できるよう太陽電池及び創蓄電設備の開発について意見交換を行った。</p>			
協働のパートナー	電気通信大学	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	環境
		関連施策※	
役割分担	パートナーの役割	太陽電池及び創蓄電設備の開発・製造、実証実験	
	市の役割	設置場所の提供、実証実験の支援	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○電気通信大学が開発した先進技術（円筒形太陽光発電）を活用した発電・蓄電設備の開発（完成は令和6年度予定）を行った。          ○eスポーツ体験会等のイベントにおける、太陽光発電・蓄電設備の展示による環境学習機会を創出した。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○定期的・継続的な協議による、連携事業の調整が必要である。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	超小型バイオガスプラントを活用した地域資源循環の実証事業	所管部課名	行政経営部 企画経営課 教育部 学務課 教育部 指導室
事務事業名	超小型バイオガスプラントを活用した地域資源循環の実証事業	電話番号	042-481-7368
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
調布スマートシティ協議会等で連携する東日本電信電話株式会社（NTT東日本）と連携し、バイオガスプラントを活用した資源循環や最先端農業などの見学により、資源循環学習及び食育につなげるイベントを実施し、市立小学校の児童が参加した。また、この取組をきっかけとして、バイオガスプラントを活用した学校給食の残菜の資源化の実証に取り組んだ。			
協働のパートナー	東日本電信電話株式会社、株式会社ビオストック、株式会社NTTアグリテクノロジー、市立小学校	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	環境, 教育
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営, 広報	
	市の役割	事業協力, 広報	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○児童に対し、先端技術の見学や資源循環学習、食育の機会を提供することができた。			
協働に当たっての課題と対応			
○定期的・継続的な協議による、連携事業の調整			

協働事業名	声の広報	所管部課名	行政経営部 広報課
事務事業名	市報等発行事務	電話番号	042-481-7302
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市報定例号及び新春号の年24回分（1回につき約8本）をボランティアの協力によりカセットテープに録音し、視覚障害者等の希望者に郵送配布している。			
協働のパートナー	特定非営利活動法人調布市民放送局、東京YWCA国領こだまグループ	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	福祉
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		
役割分担	パートナーの役割	市が指定した市報の内容をカセットテープに録音	
	市の役割	録音する市報記事の選定、カセットテープの複製・送付	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○地域情報を発信することを目的に活動するNPO法人や、障がいのある人もない人も、幼児から高齢の方まで「共に生きる」ことをテーマとし活動している団体に協力していただいている。本取組が各パートナーの活動目的にも合致するとともに、市としても市報の内容を紙媒体以外で提供し、視覚障害者等にも適切に市政情報を伝えることができた。			
協働に当たっての課題と対応			
○利用者からカセットテープを再生する機器が自宅になく利用することができないとの意見や録音する機器の劣化があるため、CDやアプリなどカセットテープ以外の手法等を検討する必要がある。			

協働事業名	調布・狛江の魅力PR部	所管部課名	行政経営部 広報課	
事務事業名	魅力発信事業	電話番号	042-481-7302	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
SNSを活用した若年層に向けた市の魅力発信の質を向上させることを目的に、大学生が取材・執筆した内容を市の広報媒体（市報・市ホームページ・SNS）で発信した。市報令和5年12月20日号では、「この冬、グルメを楽しみながら聖地巡礼はいいか?」と題し、大学生がおすすめする飲食店等の取材に基づき紹介した。 ※本事業は、狛江市との協働事業「インフルエンサーを活用した市の魅力発信事業」の一環で実施				
協働のパートナー	調布市又は狛江市に在住・在勤の大学生		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	広報、観光等
			関連施策※	
役割分担	パートナーの役割	内容提案、検討、取材、原稿執筆		
	市の役割	内容提案、検討、取材調整、原稿確認、発信		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○若年層の市への愛着形成が課題となる中、大学生のアイデアを活用することで、同世代から共感が得られやすく親しみやすい発信内容となり、よりターゲットに適した魅力発信が可能となった。 ○参加した大学生にとっては、市の広報活動を体験することで、地域社会や公務員という職業に関して考えを深める機会となった。				
協働に当たっての課題と対応				
○コロナ禍において取材活動が制限されたため、感染症対策を行いながら可能な範囲で、今後も継続して実施する。				

協働事業名	調布地域情報化推進協議会の運営	所管部課名	行政経営部 デジタル行政推進課	
事務事業名	地域情報化基本計画推進事業	電話番号	042-441-6117	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
市民・事業者・教育機関等が今後の地域情報化について自由に議論し、情報提供、意見交換を行う「議論の場」として「調布地域情報化推進協議会」を開催している。令和4年度は、「調布市デジタル化総合戦略1.0」の策定に向け、地域社会のデジタル化に関する広範囲な意見交換を行ったほか、「調布市内シニア向けスマホ講習会主催者報告会・意見交換会」や市民団体の発信力向上に資する講演会（参加者45人）の開催を支援し、市民による地域情報化の推進につなげた。				
協働のパートナー	特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	コミュニティ
			関連施策※	行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	地域情報化における市民向けの事業の企画・立案等		
	市の役割	会場用意、庁内周知等		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○地域情報化基本計画の考え方に沿って調布市の地域情報化は、これまで「市民の手による」ことをテーマとして進めてきたことから、市民の主体性を尊重し、地域情報化の取組について活発な意見交換をすることができた。 ○令和4年度は「調布市デジタル化総合戦略1.0」の策定に向け、地域社会のデジタル化に関する広範囲な意見交換を行ったことにより、市民ニーズ等を的確に反映することができた。				
協働に当たっての課題と対応				
○地域の活性化に資する地域情報の発信のあり方について引き続き協議を進める。 ○デジタルデバイド対策におけるスマホ講習会では、実施団体がもっているノウハウの共有が課題となっているため、定期的に意見交換会の開催等を行う必要がある。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	ICT東京フォーラム2022		所管部課名	行政経営部 デジタル行政推進課	
事務事業名	地域情報化基本計画推進事業		電話番号	042-441-6117	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）					
ICT東京フォーラム実行委員会の主催で講演会（「ICT東京フォーラム2022 デジタル時代の生き方～ICTスキルを身につければ鬼に金棒～」）を総務省関東総合通信局、関東ICT推進NPO連絡協議会及び電気通信大学とともに共催し、開催した。					
協働のパートナー	ICT東京フォーラム実行委員会等			事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託			分野	コミュニティ
				関連施策※	行革プラン1
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・立案等			
	市の役割	庁内周知等			
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業				
協働したことによる成果					
<p>○日本社会のデジタル化の遅れが顕在化し、デジタル庁の開設をはじめデジタル化の促進へ向けて本格的な取組がはじまったが、その恩恵に取り残される可能性のある高齢者や障がい者への対応策が課題である。</p> <p>○多様な人がデジタル活用へのモチベーションを持つためのヒントを得ることを開催目的とし、デジタルに意欲的に挑戦している若宮正子氏をはじめデジタルリテラシー向上やICT活用に関わる活動をしている方々による講演、事例紹介及び対話を通してICT活用の促進を図った。</p>					
協働に当たった課題と対応					
○より多様な人に参加してもらえるような仕掛け作りや周知方法の工夫が必要である。					

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



# 総務部

## 令和4年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
14	地域防災体制の充実	事業協力, 補助・助成, 情報交換・ 情報提供	防災市民組織	総合防災安全課
15	令和4年度シェイクアウト訓練	事業協力	「災害時における放送等に関する 協定」締結団体	総合防災安全課
16	令和4年度調布市総合水防訓練	事業協力	「災害時における各種協定」締結団 体	総合防災安全課
17	令和4年度避難所開設訓練 (防災教育の日)	事業協力	自治会, 地区協議会, NPO法人調 布心身障害児・者親の会	総合防災安全課
18	令和4年度調布市総合防災訓練・防災 フェア	事業協力	災害に関する協定締結団体, 自治 会, 地区協議会	総合防災安全課

協働事業名	地域防災体制の充実	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	防災市民組織の育成	電話番号	042-481-7346
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市民の防災意識の「自助」「共助」の推進を図り、防災市民組織の設立及び活動充実のため、次の事業を行う。 ①防災市民組織に対する補助金の交付 ②総合防災訓練等の各種訓練 ③防災に関する出前講座 ④防災講演会 ⑤国・東京都などから発出される防災に関する情報や訓練等の案内			
協働のパートナー	防災市民組織		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	災害発生時の体制づくり、防災用品の備蓄物資等の充実、啓発活動	
	市の役割	補助金の交付、防災講演会や出前講座での防災意識の啓発、防災に関する情報の提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○令和4年度においては、3組織の新規結成があり、125組織から補助金の申請があった。 ○各組織では避難訓練などを実施し、また補助金を使用した資機材の購入等により、地域防災力の向上につなげることができた。			
協働に当たっての課題と対応			
○コロナ禍において感染防止対策のため、対面での地域コミュニティ活動の制限もあり訓練等の実施が縮小となったと報告があった。 ○いざという時の地域コミュニティを基にした協力体制の維持、個人の市民意識の啓発に積極的に取り組む。			

協働事業名	令和4年度シェイクアウト訓練	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	総合防災訓練・水防訓練の実施	電話番号	042-481-7346
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
シェイクアウト訓練とは、大勢が一斉に参加する防災訓練であり、参加者は同じ日時に屋内にいれば机等の下に身を隠し、屋外では身を低くしてかばん等で頭を守る行動を起こすもの。市は、震災時に、第一にわが身を守る行動を市民に身につけていただくとともに、市内で一斉かつ一体となって取り組むことにより、防災・減災意識の高揚を図ることを目的として、「災害時における放送等に関する協定」締結事業者の協力の下、訓練を実施した。			
協働のパートナー	「災害時における放送等に関する協定」締結団体（調布エフエム放送、J：COM）		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	シェイクアウト訓練内容の放送	
	市の役割	事業企画、運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○実災害時にも調布エフエムやJ：COM等の協力により災害情報について放送するが、事前にシュミレートできたことで相互間でイメージ共有が図れた。			
協働に当たっての課題と対応			
○災害の程度・種別により異なるものの、放送内容等事前に確認・調整の必要がある項目について検討していく。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	令和4年度調布市総合水防訓練	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	総合防災訓練・水防訓練の実施	電話番号	042-481-7346
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
大型台風の接近や集中豪雨に伴う河川の氾濫等の被害を想定し、実践的な水防活動技術の習得、水防関係機関等との連携による機動的な対策を実施し、水災による被害の軽減を図る。			
協働のパートナー	「災害時における各種協定」締結団体		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	訓練及び会議への参加	
	市の役割	事業の企画、運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○実際の災害時においても円滑に水防活動を行えるよう改めて連携要領を確認するとともに、訓練の実施によって水害時における相互の活動体制を確認した。			
協働に当たった課題と対応			
○今後も市の防災力を高めるため、自治体や事業所等、多様な機関と積極的に協定を結び、適宜連携していくことが重要である。庁内横断的な連携により、他部署における各種団体の情報や連携した取組の情報を共有し、各種団体等の活動状況を的確に把握していく。			

協働事業名	令和4年度避難所開設訓練（防災教育の日）	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	避難所開設訓練	電話番号	042-481-7346
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
地区協議会等と協働し、震災を想定した避難所の開設・運営訓練を実施する。			
協働のパートナー	自治会、地区協議会、NPO法人調布心身障害児・者親の会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	訓練の参加	
	市の役割	事業の企画、運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○実際の災害時においても円滑に避難所運営を行えるよう、避難所の開設、運営手順について情報共有することができた。			
協働に当たった課題と対応			
○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域住民の参加人数を制限するなど規模を縮小して実施した。災害発生時は市職員だけでなく、地域住民との協力による避難所開設・運営が不可欠であるため、今後も継続的に訓練を実施していく。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	令和4年度調布市総合防災訓練・防災フェア	所管部課名	総務部 総合防災安全課
事務事業名	総合防災訓練・水防訓練の実施	電話番号	042-481-7346
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
震災に備え、「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域での互助精神の高揚と防災行動力の向上を図るとともに、防災関係機関との連携を強化し、災害時の迅速な応急活動態勢を整えるために、医療やボランティア、放送、建設業、ライフライン等、災害時における様々な分野に関する協定を締結している各種協定締結団体と協働し総合防災訓練を実施した。また、市民の防災意識向上を目的として、市役所前庭広場において防災フェアを開催した。			
協働のパートナー	災害に関する協定締結団体、自治会、地区協議会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ O1災害に強いまちづくり
役割分担	パートナーの役割	訓練及び会議への参加	
	市の役割	事業の企画、運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○実際の災害時においても円滑に活動を行えるよう、訓練において災害時における相互の活動体制を確認した。</p> <p>○防災フェアを開催し、市民に様々な防災体験を提供することにより、市民の防災意識向上につながった。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○今後も市の防災力を高めるため、自治体や事業所等、多様な機関と積極的に協定を結び、適宜連携していくことが重要である。</p> <p>○庁内横断的な連携により、他部署における各種団体の情報や連携した取組の情報を共有し、各種団体等の活動状況を的確に把握していく。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

# 市民部

## 令和4年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
19	「中学生の税についての作文」の表彰	事業協力	武蔵府中納税貯蓄組合連合会	納税課
20	人権啓発協働事業	事業協力, 情報交換・情報提供	調布市人権擁護委員	市民相談課

協働事業名	「中学生の税についての作文」の表彰	所管部課名	市民課 納税課
事務事業名	収納事務	電話番号	042-481-7214
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>租税教育推進活動の一環として、納税貯蓄組合連合会が毎年実施している中学生を対象とした「税についての作文」の作品募集と連携し、市内中学生の「税についての作文」の市長賞及び教育長賞の表彰をしている。表彰式には、同組合が来賓として出席をしている。</p> <p>※納税貯蓄組合連合会は、納税貯蓄組合法に基づき、税の納期限内完納達成のための納税資金備蓄を直接の目的として設立されている団体で、税の広報活動も推進している。</p>			
協働のパートナー	武蔵府中納税貯蓄組合連合会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 子ども
			関連施策※ 行革プラン32
役割分担	パートナーの役割	中学生に対して、「税についての作文」作品募集	
	市の役割	中学生に対して、「税についての作文」表彰	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○納税貯蓄組合連合会が募集する中学生の「税についての作文」は、将来を担う中学生が、身近に感じた税や学校で学んだ税またテレビや新聞などで知った税を素材として作文を書くことにより、税について関心を持ち、正しく理解してもらうことを目的として実施している。</p> <p>○作品募集にとどまらず、市が独自で表彰を行い、顕彰することにより、中学生に作文を通して、税について考える気運の醸成につながっている。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○中学生やその家族をはじめとする市民全般に税についての関心・理解を促進したい。</p> <p>○納税貯蓄組合連合会の事務局を担う武蔵府中税務署と適切な事務分担を引き続き調整するとともに、事務の効率化を図っていきたい。</p>			

協働事業名	人権啓発協働事業	所管部課名	市民部 市民相談課
事務事業名	人権に関する教育・啓発の促進	電話番号	042-481-7033
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>法務大臣から委嘱を受けた調布市の8名の人権擁護委員は、主に人権相談、人権侵犯に関する調査・救済活動、人権啓発活動を行っている。特に小学生・中学生を対象とした人権啓発活動には力を入れており、市は委員の活動支援を行った。</p>			
協働のパートナー	調布市人権擁護委員		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 人権啓発
			関連施策※ 31人権の尊重・男女共同参画社会の形成
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営	
	市の役割	事業の調整、連携イベントの情報交換・情報共有、会議の運営協力	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○人権擁護委員の活動支援など、各種事業を展開したことにより、人権教育・啓発事業の参加者数は、中学生人権作文参加者1611人、子どもたちからの人権メッセージ参加者225人、人権の花運動実施校児童数1071人、合計2907人となった。</p> <p>○継続的に各事業の趣旨説明と参加の呼び掛けを協力することで、広く市民や子どもたちに対し、人権に関する教育・啓発ができた。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○当市においての人権啓発活動は、子どもたちへの啓発が重要との認識から、小・中学校を対象とした啓発活動を重点的に行っており、一般成人に対する啓発活動の効果的な取組が課題と考えている。</p> <p>○一人でも多くの市民に人権意識が浸透するよう人権擁護委員と一緒に考え、今後の啓発活動の支援を行っていく。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

# 生活文化スポーツ部

## 令和4年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
21	市民団体等との連携による平和祈念事業の開催	共催, 事業協力, 指定管理・業務委託	NPO法人ちようふこどもネット, FC東京, 株式会社渋谷不動産エージェント, 株式会社タキオンジャパン, 調布市原爆被害者の会, 調布平和のつどい実行委員会	文化生涯学習課
22	国際交流事業の実施	共催, 補助・助成, 指定管理・業務委託	調布市国際交流協会	文化生涯学習課
23	「パラハートちようふ」の推進(調布市パラアート展2022)	共催	調布市福祉作業所等連絡会	文化生涯学習課
24	市民との連携による生涯学習のきっかけづくり	事業協力	地域デビュー推進委員会, 各生涯学習サークル	文化生涯学習課
25	「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」関連事業団体との連携	共催, 事業協力, 補助・助成	調布市文化協会ほか	文化生涯学習課
26	フードドライブの実施	事業協力, 情報交換・情報提供	調布市消費者団体連合会, 調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会, 市内協力事業者	文化生涯学習課
27	消費生活講座	共催	東京都	文化生涯学習課
28	消費生活出前授業	事業協力	市教育委員会, 市立学校	文化生涯学習課
29	調布市文化・コミュニティ振興財団との連携	共催, 指定管理・業務委託	公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団	文化生涯学習課
30	相互友好協力協定締結大学定例会	事業協力, 情報交換・情報提供	相互友好協力協定締結大学	文化生涯学習課
31	相互友好協力協定締結大学との連携	共催, 事業協力	相互友好協力協定締結大学(電気通信大学)	文化生涯学習課
32	ちようふ地域コミュニティサイトの運用	指定管理・業務委託	特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム	協働推進課
33	ふれあいの家の管理運営	指定管理・業務委託	ふれあいの家運営委員会(18施設)	協働推進課

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
34	コミュニティ推進事業	補助・助成	調布市自治会連合協議会, 各地区協議会	協働推進課
35	自治会といっしょに！キャンペーン	事業協力	調布市自治会連合協議会	協働推進課
36	市民活動支援センターの運営	指定管理・業務委託	社会福祉法人調布市社会福祉協議会	協働推進課
37	いやしとふれあいの旅事業 (宿泊料金の割引, 調布発着のバスツアー)	事業協力, 情報交換・情報提供	京王観光株式会社, さくらツアー 株式会社	協働推進課
38	調布まち活フェスタ	実行委員会, 事業協力	まち活フェスタ実行委員, 調布市市民活動支援センター	協働推進課
39	男女共同参画推進フォーラム「しえいくは んず」の開催	共催	男女共同参画推進フォーラム実行委員会	多様性社会・男女共同参画推進課
40	女性の「キャリア研究」についての講演	事業協力	白百合女子大学	多様性社会・男女共同参画推進課
41	女性のための起業セミナー	共催	日本政策金融公庫, 多摩信用金庫	多様性社会・男女共同参画推進課
42	市内映画・映像関連企業や市民団体等と連携した「映画のまち調布」の推進	共催, 実行委員会, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	子どもたちと映画寺子屋, 調布シネマクラブ, 角川大映スタジオ, 日活調布撮影所, 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団など	産業振興課
43	商店街活性化の推進事業	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	市内商店会, 市内事業者, 調布市商工会, 城西国際大学	産業振興課
44	調布市商工会事業の支援	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	調布市商工会	産業振興課
45	調布駅前から盛り上げる会	実行委員会, 事業協力, 情報交換・情報提供	調布駅前から盛り上げる会(調布駅前商店街, 京王電鉄株式会社, イオンエンターテイメント株式会社, 調布市商工会, 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団など)	産業振興課
46	調布市観光協会事業の促進	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	調布市観光協会	産業振興課
47	「水木マンガの生まれた街 調布」の推進事業	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	株式会社水木プロダクション, 鳥取県, 境港市, 東映アニメーション株式会社, イオンエンターテイメント株式会社, 調布市観光協会など	産業振興課
48	ICTを活用した情報発信による観光振興及び地域経済活性化促進事業(調布市・一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定)	事業協力	一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団	産業振興課
49	就労支援セミナー等の開催	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	ハローワーク府中, 厚労省東京労働局, 公益財団法人東京しごと財団東京しごとセンター多摩, 東京都産業労働局	産業振興課
50	金融機関との連携による民間ノウハウを活用した中小企業支援事業	事業協力, 情報交換・情報提供	多摩信用金庫, 三井住友銀行, りそな銀行, みずほ銀行及びみずほ信託銀行, 西武信用金庫	産業振興課



No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
51	第44回調布市農業まつり	実行委員会, 事業協力	調布市農業まつり実行委員会	農政課
52	東京都市町村ポッチャ大会	共催, 実行委員会, 事業協力	東京都市町村ポッチャ大会実行委員会, 東京都ポッチャ協会, 調布市スポーツ推進委員会, 特定非営利活動法人調和SHC倶楽部	スポーツ振興課
53	調布市体育協会事業の支援	共催, 実行委員会, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	公益社団法人調布市体育協会	スポーツ振興課
54	FC東京による地域貢献活動支援	共催, 事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供	FC東京	スポーツ振興課
55	FC東京調布の日	事業協力, 情報交換・情報提供	FC東京, 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会	スポーツ振興課
56	FC東京青赤ストリート	実行委員会	FC東京, 株式会社東京スタジアム, 調布市観光協会, 調布市商工会, 公益社団法人調布市体育協会, 飛田給小学校地区協議会, 飛田給自治会, パークホームズ調布飛田給自治会, 株式会社シミズオクト	スポーツ振興課
57	FC東京ホームタウン6市による連携事業	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	FC東京, 府中市, 三鷹市, 小平市, 西東京市, 小金井市	スポーツ振興課
58	府中調布三鷹ラグビー連携協議会	実行委員会	府中市, 三鷹市, 東芝ブレイブルーパス東京, 東京サントリーサンゴリアス	スポーツ振興課
59	東芝ブレイブルーパス東京・東京サントリーサンゴリアスによる地域貢献活動支援	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	東芝ブレイブルーパス東京, 東京サントリーサンゴリアス	スポーツ振興課
60	調布市障害者スポーツ体験会	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	武蔵野の森総合スポーツプラザ, 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会, 一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟, 特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会, FC東京, 調布市スポーツ推進委員会, 東日本電信電話株式会社, 株式会社NTTe-Sports	スポーツ振興課
61	調布市障害者スポーツの振興における協議体	実行委員会, 事業協力, 情報交換・情報提供	公益社団法人調布市体育協会, 調布市スポーツ推進委員会, 特定非営利活動法人調和SHC倶楽部, 調布市福祉作業所等連絡会, 地域生活支援センター, 社会福祉法人調布市社会福祉協議会, 社会福祉法人調布市社会福祉事業団, 東京都, 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会, 公益社団法人東京都理学療法士協会	スポーツ振興課
62	ブラインドサッカー体験授業「体験型ダイバーシティ教育プログラム スポーツ」	指定管理・業務委託	特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会	スポーツ振興課
63	あすチャレ！スクール	指定管理・業務委託	公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター	スポーツ振興課
64	車いすバスケットボールChofuエキシビジョンマッチinむさプラ	共催, 事業協力, 指定管理・業務委託	武蔵野の森総合スポーツプラザ, 一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟	スポーツ振興課

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
65	調布サマーフェスティバル2022	共催, 事業協力, 指定管理・業務委託	調布市観光協会, 株式会社京王閣, 東京都十一市競輪事業組合, 東京都, 調布市文化協会, 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団, 調布よさこい実行委員会, FC東京, 東芝プレイブループラス東京	スポーツ振興課
66	NTT東日本バドミントン部地域感謝祭	共催, 事業協力	NTT東日本バドミントン部	スポーツ振興課
67	読売巨人軍関連事業	共催, 事業協力	株式会社読売巨人軍	スポーツ振興課
68	調布市ニュースポーツ交流会	事業協力	調布市スポーツ推進委員会	スポーツ振興課
69	調布市小学生ドッジビー大会	事業協力	調布市小学生ドッジビー大会実行委員会	スポーツ振興課

協働事業名	市民団体等との連携による平和祈念事業の開催	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	平和祈念事業の実施	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市内の中学生を市民の代表ピースメッセンジャーとして任命し、戦争や平和についての学びの成果を広く市民へ還元することを目指した取組をNPO法人ちょうふこどもネットやFC東京の事業協力の下、実施した。活動の一つとして、株式会社タキオンジャパンとの共催事業の中で、朗読発表を行った。また、FC東京との共催により、アウェイゲーム開催にあわせて、市内の小学生を“ちょうふピースメッセンジャージュニア”として派遣し、平和学習を行った。学びの成果は報告会や「平和展」、その他市内公共施設の展示等、様々な機会を捉えて広く市民へ還元した。			
協働のパートナー	NPO法人ちょうふこどもネット、FC東京、株式会社タキオンジャパン（朗読発表）、調布市原爆被害者の会、調布平和のつどい実行委員会	事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	平和
役割分担	パートナーの役割 事業の企画・事業の実施・会場全体の運営 市の役割 事業の企画・広報・会場提供	関連施策※	30平和・国際交流施策の推進
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ピースメッセンジャーの主体的な参加及び効果的な学習の実施ができた。</li> <li>○FC東京の多面的な影響力を生かした効果的な取組の周知を行った。</li> <li>○被爆体験者・伝承者等との交流を行った。</li> <li>○同世代やその家族に対する平和への想いの発信の場づくりができた。</li> </ul>			
協働に当たっての課題と対応			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○若年層を含めた、より幅広い世代の市民への広報が必要である。</li> <li>○派遣後のピースメッセンジャーの活躍の場づくりを検討する必要がある。</li> </ul>			

協働事業名	国際交流事業の実施	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	国際交流の促進	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
本事業は、調布市国際交流協会が主体となり、外国人が日本の伝統文化に触れ、日本の良さを知ってもらうことを目的に実施している。令和4年度は、ウクライナ出身の調布市国際交流協会会員の方による講演会を実施したほか、外国人専門家相談会を業務委託し、多文化共生社会の推進を図った。また、調布市国際交流協会の外国人会員の方にも協力してもらい、市職員及び関連団体向けに「やさしい日本語」に関する研修を実施し、「やさしい日本語」の普及・啓発に取り組んだ。			
協働のパートナー	調布市国際交流協会	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	国際交流
役割分担	パートナーの役割 事業の企画・実施、事業参加者（外国人会員・留学生ボランティア）の募集 市の役割 事業の運営補助、広報	関連施策※	30平和・国際交流施策の推進
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○パートナーの専門性を活かした事業を実施できた。</li> <li>○多文化共生社会の推進につながった。</li> <li>○調布市国際交流協会外国人会員との交流を促進することができた。</li> </ul>			
協働に当たっての課題と対応			
<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際交流協会の人員体制への配慮が必要である。</li> <li>○市と国際交流協会の役割分担の明確化が必要である。</li> </ul>			

協働事業名	「パラハートちょうふ」の推進 (調布市パラアート展2022)		所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	文化振興事業の支援		電話番号	042-481-7139
事業の概要 (協働を行った事業の説明と協働の方法など)				
市は、共生社会の重要性をこれまで以上に発信するため、「パラハートちょうふ」のキャッチフレーズを掲げ、さまざまな分野で取組を展開している。この取組の一環として、市内の福祉作業所等で活動する方々のアート作品の展示を調布市福祉作業所等連絡会と共催により実施した。コーディネーターがキットを配布し制作した「ワークショップ作品」と作業所等が日常の活動の中で制作した「自主制作作品」を展示した。 展示の開催に向け、月に1回、有志による企画ミーティングを実施した。				
協働のパートナー	調布市福祉作業所等連絡会		事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	文化
			関連施策※	19芸術・文化の振興
役割分担	パートナーの役割	福祉作業所との連絡・調整		
	市の役割	事業の企画・作品募集		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○障害のある方が気軽に文化芸術活動に取り組む環境づくりにつながった。</p> <p>○文化芸術の振興を通じた障害理解の促進、共生社会の充実につながった。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>○障害当事者や関係者だけでなく、多くの一般市民の事業への参加を促す。</p> <p>○関係団体とのネットワークを生かした効果的な展開が必要である。</p>				

協働事業名	市民との連携による生涯学習のきっかけづくり		所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	学習活動及びまちづくりへの参加の促進		電話番号	042-481-7139
事業の概要 (協働を行った事業の説明と協働の方法など)				
シニア層の生きがいや地域との関わりを持つきっかけづくりの機会を提供することを目的として、「地域デビュー事業」及び「生涯学習サークル体験事業」を実施した。「地域デビュー事業」では、市民の自主的なまちづくり活動を推進するため、対象者と同世代の市民有志による委員会を組織し、各種講座を実施した。「生涯学習サークル体験事業」は、市民が実際のサークル活動に参加し、体験してもらうものであり、市が事務局として参加者の募集を行い、サークル体験の運営は生涯学習サークルが行った。				
協働のパートナー	地域デビュー推進委員会、各生涯学習サークル		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	生涯学習サークル体験の企画・運営、地域デビューに係る講座の企画・運営		
	市の役割	市報等による参加者の募集、地域デビューに係る講座の参加者募集・受付、会場提供		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○同世代とのコミュニケーションの提供につながった。</p> <p>○地域活動への参加や仲間づくりを促進することができた。</p> <p>○地域デビュー推進委員自身への活躍する場の提供につながった。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>○これまでの実績を踏まえた、より幅広い世代へのきっかけづくりについて検討する必要がある。</p> <p>○より効果的な事業の周知方法について検討を行う必要がある。</p>				

協働事業名	「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」関連事業団体との連携		所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	文化振興事業の支援		電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
市は、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」を行い、子どもから大人まで誰もが文化芸術を育むことができる場・つながる機会をより一層創出・支援するまちづくりに取り組んでいる。平成29年度には宣言のシンボルマークを市民投票で決定し、宣言に基づき、市民に芸術文化に触れられる様々な機会を提供する団体と共催や事業協力により連携し取り組んだ。宣言の啓発とともに調布市の魅力を発信するために活用している。				
協働のパートナー	調布市文化協会ほか		事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	文化
			関連施策※	19芸術・文化の振興
役割分担	パートナーの役割	子どもから大人まで誰もが文化芸術を育むことができる場・つながる機会の創出及び調布市の魅力を発信するとともに、市民の芸術・文化活動を支援する		
	市の役割	市報・ホームページ等による広報、市内公共施設へのチラシ・ポスター配布		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○子どもから大人まで誰もが文化芸術を育むことができる場・つながる機会の創出につながった。</p> <p>○魅力ある事業の企画・運営の実現につながった。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>○「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」及び宣言シンボルマークの市民への更なる普及・周知が必要である。</p> <p>○まちづくり宣言に基づく市民の活動として、より積極的なPRを行えるよう、市の情報発信の充実が必要である。</p>				

協働事業名	フードドライブの実施		所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	消費者啓発事業		電話番号	042-481-7140
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
まだ食べられるのに捨てられてしまう食品ロスの削減及びその有効活用を目的として、家庭や事業者から持ち寄った食品を市内福祉施設等へ提供するフードドライブを調布市消費者団体連合会及び調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会並びに市内事業者と連携し、年3回実施している。				
協働のパートナー	調布市消費者団体連合会、調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会、市内協力事業者		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	消費生活
			関連施策※	03消費生活の安定と向上
役割分担	パートナーの役割	運営補助、広報活動、食品の分配		
	市の役割	場所の提供、広報活動、その他全体調整		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○消費者団体や地域公益活動連絡会と連携を図ることができた。</p> <p>○市内事業者と連携し、各々の情報発信ツールを使い、広く活動の周知を図ることができた。</p> <p>○調布市社会福祉法人地域公益活動連絡会の協力により、集まった食品を無駄にすることなく必要とする方々に届けることができ、食品の有効活用につながった。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>○多様な主体と連携し、市民一人一人が食品ロス削減のため主体的に取り組んでもらえるよう、食品ロス削減への取組や普及啓発活動が必要である。</p> <p>○組織横断的な連携を図り、情報共有や取組の強化が必要である。</p> <p>○市民団体「フードバンク調布」とも情報共有し、連携を図っていく。</p>				

協働事業名	消費生活講座	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	消費者啓発事業	電話番号	042-481-7140
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
多くの市民が消費生活に関する様々な知識を習得し、自主的な行動ができ、健全な消費生活を営むことができるよう支援することを目的として、東京都と共催で消費生活講座を実施している。市が企画・提案した内容に基づき、東京都が講師の手配、謝礼支払及び実験実習講座に必要な器材準備などを担っている。			
協働のパートナー	東京都		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 消費生活
			関連施策※ 03消費生活の安定と向上
役割分担	パートナーの役割	講師派遣、謝礼の支払い、実習講座の器材準備	
	市の役割	講座の企画・運営、会場・設備の提供、広報活動・その他調整	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○東京都と共催することで、より多くの市民への学びや情報提供の場とすることができた。</p> <p>○テーマや講師選定に関しては、東京都の実績などから、幅広いテーマやそれに合致した講師を紹介してもらった。</p> <p>○東京都から、講師を紹介してもらったことにより充実した講座実施が可能となった。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○講座内容が同様のテーマとならないよう、幅広い内容を企画していく必要がある。</p> <p>○東京都の実績等を活かし、共催ならではのテーマ選定につなげていけるよう、更なる情報共有に努める。</p>			

協働事業名	消費生活出前授業	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	消費者啓発事業	電話番号	042-481-7140
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
民法改正に伴う成年年齢の引き下げやコロナ禍を踏まえ、インターネット通販やキャッシュレス決済が急速に普及するなど、社会のデジタル化が一層加速する状況の中、消費者教育推進法に基づき、若者による消費者被害の未然防止に向けて、市教育委員会と連携の下、消費者教育を推進する。			
協働のパートナー	市教育委員会、市立学校		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 消費生活
			関連施策※ 03消費生活の安定と向上
役割分担	パートナーの役割	授業の確保、会場・設備の提供	
	市の役割	講座の企画・運営、その他調整	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○成年年齢が令和4年度から18歳に引き下げられたことを踏まえ、契約に関する基本的な考え方や責任について若年層に向けた理解の醸成につなげることができた。</p> <p>○主体的に判断し責任をもって行動できる能力を育む機会を設けることができた。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○成年年齢が令和4年度から18歳に引き下げられたため、若年層へ向けた早期の消費者教育を推進する必要がある。</p> <p>○主体的に判断し、責任をもって行動できる能力を育む取組が求められる。</p> <p>○日頃から市教育委員会等の教育機関を中心とした、多様な主体との連携が必要である。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市文化・コミュニティ振興財団との連携	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課	
事務事業名	文化振興事業の支援	電話番号	042-481-7139	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、市民が優れた芸術・文化に触れたり、気軽に芸術・文化活動に取り組むことができるようにすることを目的に、（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団との共催により、調布国際音楽祭2022、第67回調布市民文化祭、映画のまち調布 シネマフェスティバル2023等を開催した。各事業の開催に当たっては、調布市文化・コミュニティ振興財団と協力し、開催に向け検討を行い、役割分担をして開催した。</p>				
協働のパートナー	公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団	事業提案者	市	
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	文化
			関連施策※	19芸術・文化の振興
役割分担	パートナーの役割	各事業の企画・運営、各事業への参加者募集		
	市の役割	各事業の企画・運営に関する支援、市報掲載等による広報		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○魅力ある事業の企画・運営の実現につながった。          ○参加者が増加した。          ○地域における文化資源の活用、魅力発信ができた。          ○共生社会の充実につながった。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
○日頃からの意思疎通及び定期的な連絡会等を実施する必要がある。				

協働事業名	相互友好協力協定締結大学定例会	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課	
事務事業名	学習活動及びまちづくりへの参加の促進	電話番号	042-481-7139	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>文化、教育、学術、スポーツ、芸術、国際交流の分野で援助、協力し相互発展を図ることを目的とし相互友好協力協定を締結している地域の大学と連携の相談及び情報交換のために定例会を開催している。</p>				
協働のパートナー	相互友好協力協定締結大学	事業提案者	市	
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・事業の実施		
	市の役割	事業の企画・参加者募集・会場提供		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○庁内各担当課と大学との情報交換を通じた連携ができた。				
協働に当たっての課題と対応				
<p>○令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催とした。          ○より効率的な会議運営（開催時期・方法）の検討が必要である。          ○市民へのより効果的な情報発信の検討が必要である。</p>				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	相互友好協力協定締結大学との連携	所管部課名	生活文化スポーツ部 文化生涯学習課
事務事業名	学習活動及びまちづくりへの参加の促進	電話番号	042-481-7139
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
相互友好協力協定を締結している大学の特色を活かし、市民の新たな学びの機会の創出や大学との連携についての認知度を高めるために各大学と事業を企画、実施している。			
協働のパートナー	相互友好協力協定締結大学 (電気通信大学)	事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	生涯学習
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	企画・イベントの開催・会場全体の運営	
	市の役割	企画・イベント・広報の協力	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○オンライン開催により多様な対象者の参加につながった。			
協働に当たっての課題と対応			
○令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催とした。 ○内容の充実に向けて、相互友好協力協定締結大学へ協力依頼を行う。 ○今後の開催方法を検討する必要がある。			

協働事業名	ちょうふ地域コミュニティサイトの運用	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	地域コミュニティサイト（ちょみっと）の活用	電話番号	042-481-7036
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
「調布市生涯学習情報システム（さがす見つかるシステム）」の再構築を行い、平成29年4月に地域ポータルサイトとして「ちょうふ地域コミュニティサイト ちょみっと」を運用開始した。地域に密着した情報を広く発信できるサイトとするため、市内の市民団体とのネットワークを持ち、地域活動にも幅広い見識を持つパートナーであるNPO法人に業務委託し、運用及び活用促進を行っている。			
協働のパートナー	特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	コミュニティ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	課題の抽出・共有・検討、情報共有、改修作業	
	市の役割	課題の抽出・共有・検討、情報共有、会議の運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○パートナーであるNPO法人は、市民団体としての側面も有しているため、その提案及び意見は市民ニーズに近いものであり、システムの機能改善及び活用促進等の提案を受けることができた。 ○広範囲にわたる地域情報の中から市民が必要とする情報を発信していくことや、地域団体がシステムを使って情報発信する仕組みを整えていくことが重要であり、調布市の地域の特色・情報に精通しているパートナーの知識や経験を活かし、運用を行うことができた。			
協働に当たっての課題と対応			
○多様化する市民活動やライフスタイルに対応するため、今後も機能・運用方法・活用方法等についてパートナーと引き続き検討し、共通認識を持って改善を図る必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



協働事業名	ふれあいの家の管理運営	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	ふれあいの家の管理運営	電話番号	042-481-7122
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
ふれあいの家は、小規模かつ身近な集居施設として、自治会等の地域住民で組織された各ふれあいの家運営委員会が指定管理者となり、それぞれの施設の管理運営を行っている。地域住民である運営委員会が使用申請に対する承認、利用料金の受領、カギの受け渡し、軽微な修繕等の管理業務を行うことで地域のニーズに応じた柔軟な対応や利用者にとって親近感のある管理運営が実施されている。			
協働のパートナー	ふれあいの家運営委員会（18施設）		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 コミュニティ
			関連施策※ 15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	日常的な施設の維持管理業務・施設の受付業務	
	市の役割	大規模及び全体的な施設の維持管理業務・代表者会議の開催	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○地域住民で組織された運営委員会が自主性を活かして施設を運営することで、地域の実情に沿った施設管理が行われ、利用者ニーズにきめ細かくかつ柔軟に対応することができた。			
協働に当たった課題と対応			
○各運営委員会において組織の高齢化・固定化が組織の運営に影響を及ぼしはじめている。 ○継続的に運営委員会が地域団体の運営メリットを活かしたふれあいの家の管理運営を行えるよう、幅広い視点から指定管理者制度の運用について検討していく。			

協働事業名	コミュニティ推進事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	コミュニティづくりの推進	電話番号	042-481-7036
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
コミュニティ活動及び市民の連帯感の向上に寄与することを目的に、自治会の設立・加入促進や地区協議会（17地区）の運営支援などのコミュニティ推進事業に対し、必要な補助金を交付した。事業としては、自治会では安全対策セミナー（防災に関する講演や訓練）や防犯用ラジオの配布などを実施したほか、地区協議会では地区同士の連携推進を目的とした地区協議会代表者名簿を作成した。			
協働のパートナー	調布市自治会連合協議会、各地区協議会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 コミュニティ
			関連施策※ 15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	地域自治会及び各地区協議会の活性化に向けた取組の実施	
	市の役割	地域自治会・地区協議会などの団体情報の提供、会議への参加、広報協力（市報・市HPへの掲載など）、財政的支援	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○自治会連合協議会については、広報紙の発行等の主体的な活動を、市が側面から支援することで、地域自治会の必要性や自治会として大きくまとまることの重要性を市民にわかりやすく浸透させることができた。 ○地区協議会については、主に広報活動を支援し、地区協議会の認知度を向上することができた。			
協働に当たった課題と対応			
○パートナーと定期的に意見交換の場を持ち、認識を共有した。 ○パートナーの組織の会合（理事会、運営委員会等）や各種活動をオブザーブし、パートナーの状況把握に努めた。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	自治会といっしょに！キャンペーン	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	自治会を通じた市政情報の提供	電話番号	042-481-7036
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
自治会組織の育成を図り、また自治会の輪を広げていくことを目的に、「自治会といっしょに！」をテーマとして、令和4年11月の1箇月間を期間とし、キャンペーンを実施した。			
協働のパートナー	調布市自治会連合協議会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 コミュニティ
			関連施策※ 15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	勉強会の開催、キャンペーンPR活動	
	市の役割	市報及びホームページによる広報協力、場所の提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○自治会の役員を中心に勉強会・相談会を実施した。 ○市民を対象にした安全対策セミナーを自治会連合協議会と協働して実施した。 ○勉強会等において自治会支援を行うことができた。			
協働に当たった課題と対応			
○自治会支援は継続して取り組んでいく内容であるため、次年度以降も引き続きキャンペーンとして継続的に取り組んでいくとともに、定期的に加入促進を行うなど、年間を通じての支援を充実させていくことも必要である。 ○効率的かつ効果的な進め方を検討する必要がある。			

協働事業名	市民活動支援センターの運営	所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	市民活動支援センターの運営	電話番号	042-481-7036
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市民活動支援センターは「市民活動は市民が支える」という観点から、運営団体を公益的な社会貢献活動を行う社会福祉法人調布市社会福祉協議会に業務委託し、市との協働事業と位置付け、運営を行っている。運営に当たっては、市民活動支援センター運営委員会において意見交換し、市民のニーズを運営方針に反映させるとともに、定例の打合せの場を活用し、設置者と運営団体の意思疎通を図った。			
協働のパートナー	社会福祉法人調布市社会福祉協議会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 コミュニティ
			関連施策※ 15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	施設運営（様々な市民活動を専門性や経験、場所、人的ネットワークを活かしてサポート）	
	市の役割	施設設置、運営への参加	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○パートナーの専門性を生かし、市民のニーズに柔軟に対応し、各事業へ多くの市民の参加を得ることができた。 ○長年培ったネットワークやコーディネート力を活用することで、市民参加の推進及び多くの市民活動団体の協力を得ることができた。			
協働に当たった課題と対応			
○市とパートナー間での認識の差が生じたり、運営委員会において意見がまとまらないことがあるため、運営委員会前に定例の打合せで情報共有を行うことで認識や情報の統一、方向の確認を行った。 ○月間・年間の事業の進捗状況の把握・管理を実施している。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	いやしとふれあいの旅事業 (宿泊料金の割引, 調布発着のバスツアー)		所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	調布市いやしとふれあいの旅事業		電話番号	042-481-7122
事業の概要 (協働を行った事業の説明と協働の方法など)				
本事業は、特定行楽施設のある地域の人々や自然とのふれあいを通じて、市民の保養と心身の健康増進に寄与することを目的として、京王観光株式会社、さくらツアーリスト株式会社と事業協定を結び、市民への宿泊料金の割引や、調布発着のバスツアーを実施するもの。被災地支援を目的としたプランも企画・実施している。各パートナーの企画を受け、市は事業の紹介や参加者募集等の広報を行った。また、各パートナーが宿泊料金を割引する優待施設を市民が利用した場合に、その宿泊費用の一部を市で助成した。				
協働のパートナー	京王観光株式会社, さくらツアーリスト株式会社		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	コミュニティ
			関連施策※	15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	プランの企画・実施・報告		
	市の役割	市報等での広報・事業全体の調整		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○対象となる宿泊施設の選定やバスツアーの企画・実施等、旅行会社ならではの専門性を生かした調布市民向けの事業を実施している。				
協働に当たった課題と対応				
○パートナーが複数いるため、事業に対する考え方や各パートナーで把握している利用者ニーズや課題を共通認識とするため、定期的に関係者が集まる機会を設けて情報交換等を行っているほか、随時、連絡を取り合い調整を図っている。				

協働事業名	調布まち活フェスタ		所管部課名	生活文化スポーツ部 協働推進課
事務事業名	コミュニティづくりの推進		電話番号	042-481-7036
事業の概要 (協働を行った事業の説明と協働の方法など)				
地区協議会をはじめ、市内のまちづくり活動(地域活動等)の更なる活性化を図るため、有志により実行委員会を組織して準備を行い、地域の様々な団体による活動のPRや出展を通じて「多世代の誰もが楽しめるイベント」を実施した。				
協働のパートナー	まち活フェスタ実行委員会, 調布市市民活動支援センター		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	コミュニティ
			関連施策※	15地域コミュニティの醸成
役割分担	パートナーの役割	企画・イベント当日の展示物の作成。会場全体の運営		
	市の役割	広報・事務局のサポート		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○実行委員会を通じた実行委員同士のつながりやアイデアから、様々な企画の実施や多くの市民活動団体の出展が実現できた。 ○多世代の方々が実行委員として参加する事で交流が図られ、調布市の様々な魅力を共有し合うなど、互いに多くのことを学び取る体制を整えることができた。				
協働に当たった課題と対応				
○継続して開催することで、事業実施についてのノウハウは蓄積されてきているが、市民等で組織される実行委員のメンバーが固定化してきている。 ○平成30年度から市民活動支援センターが事務局を担っており、今後、センターの持つ人脈など、強みを生かしながら、新たな実行委員の確保や実行委員の主体性をより引き出すことにより、より多くの視点から事業を実施できるような体制を検討していく必要がある。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画(令和元年度～令和4年度)」の施策番号(行革プランに該当する場合はプラン番号)を記載しています。

協働事業名	男女共同参画推進フォーラム「しえいくはんず」の開催	所管部課名	生活文化スポーツ部 多様性社会・男女共同参画推進課
事務事業名	男女共同参画啓発・相談事業の実施	電話番号	042-443-1213
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
国の男女共同参画推進週間に合わせて、男女共同参画に関するイベントを開催するもの。参加団体を公募し、7団体による実行委員会及び2団体の協力により市民プラザあくろすで実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため企画ごとに定員を設け、参加者はスタッフを含め延べ259人であった。また、記録集を200部発行した。			
協働のパートナー	男女共同参画推進フォーラム実行委員会	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	男女共同参画
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	31人権の尊重・男女共同参画社会の形成
役割分担	パートナーの役割	会議への参加、フォーラムの運営	
	市の役割	会議運営、意見集約、資料提供、フォーラムの運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○フォーラム実行委員会のホームページを作成し、主なPR方法を紙媒体からネット媒体へ移行し、幅広い世代へ周知することができた。</p> <p>○新規の市民団体の参加や協力を得ることができた。</p> <p>○コロナ禍での実施方法について、実行委員と市が協力して工夫することで、新しいフォーラム様式を生み出すことができた。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○新たな参加団体を増やしていくとともにフォーラムを推進するため、実行委員の主体性が必要。</p> <p>○フォーラムの円滑な運営ができるよう指定管理者の協力を得ながら共催していく必要がある。</p>			

協働事業名	女性の「キャリア研究」についての講演	所管部課名	生活文化スポーツ部 多様性社会・男女共同参画推進課
事務事業名	男女共同参画啓発・相談事業の実施	電話番号	042-443-1213
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
就職前の大学生に対しキャリア研究についての講演を行い、女性が人生で遭遇する可能性がある問題について認識を深めることで、社会的・経済的自立の重要性を考える機会を与えた。大学講義の一環として講演を実施することで、より多くの学生に対して意識啓発を実施した。			
協働のパートナー	白百合女子大学	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	男女共同参画
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	31人権の尊重・男女共同参画社会の形成
役割分担	パートナーの役割	会場等の環境整備、日程調整	
	市の役割	大学と講師間の取りまとめ、啓発物の配付	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○講師は当センターの相談員であることから、講演を機に、大学生に対して男女共同参画推進センターを周知することができた。			
協働に当たった課題と対応			
○大学の講義の一部として行うため、確実な準備を行っていく必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	女性のための起業セミナー	所管部課名	生活文化スポーツ部 多様性社会・男女共同参画推進課
事務事業名	男女共同参画啓発・相談事業の実施	電話番号	042-443-1213
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
女性の多様な働き方の一つとして、起業という選択肢があることを啓発し、起業への支援に繋げる。セミナーでは、起業経験のある講師による講演のほか、産業労働支援センター、男女共同参画推進センター、日本政策金融公庫、多摩信用金庫の各担当者が事業の紹介を行った。			
協働のパートナー	日本政策金融公庫、多摩信用金庫		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 男女共同参画
			関連施策※ 31人権の尊重・男女共同参画社会の形成
役割分担	パートナーの役割	日本政策金融公庫、多摩信用金庫	
	市の役割	企画運営、会場確保、申込受付、広報（主たる事務は産業労働支援センターで実施）	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
〇市の産業労働支援センター、男女共同参画推進センターに加え、共催者の日本政策金融公庫と多摩信用金庫の職員も参加することで、起業に向けた資金調達等について、より具体的・実践的なセミナーとなった。			
協働に当たっての課題と対応			
〇4者での共催事業であるため、準備段階からの情報共有が不可欠。 〇市民への広報について4者のノウハウを生かす。			

協働事業名	市内映画・映像関連企業や市民団体等と連携した「映画のまち調布」の推進	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	「映画のまち調布」の推進	電話番号	042-481-7184
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、乳幼児を対象とした定期的な映画鑑賞会、中学生の映画づくりワークショップ、高校生フィルムコンテスト、「映画のまち調布 シネマフェスティバル2023」関連事業の実施など、映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、市内映画・映像関連企業や市民団体などと連携した調布市ならではの各種イベントを開催した。			
協働のパートナー	子どもたちと映画寺子屋、調布シネマクラブ、角川大映スタジオ、日活調布撮影所、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団など		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 観光・魅力発信
			関連施策※ 17魅力ある観光の振興
役割分担	パートナーの役割	各事業の企画立案・運営	
	市の役割	各事業の企画立案・運営、会場確保、市報や市ホームページ等での広報、補助金の交付	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
〇幅広い世代に対する映画・映像関連事業を展開した。 〇パートナーの持つネットワークやノウハウを生かし、多くの事業において協力者と参加者の参画を推進した。			
協働に当たっての課題と対応			
〇活動財源の確保と協働内容のさらなる充実を図る。 〇協働パートナーとのさらなる協力による世代に応じたイベントを開催する。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	商店街活性化の推進事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	商店街活性化の推進	電話番号	042-481-7539
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>商店会支援については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、商店会が実施するイベント事業の中止（予定：18商店会27事業、実績：12商店会15事業）が相次いだ。実施可能な事業を積極的に支援し、地域経済の再活性化に少しでもつながるよう取り組んだ。また、商店会支援の一環として、商店街の街路灯に係る電気料金を補助することで、商店会の負担軽減を図ったほか、商店街への来街者増加に向けた取組として、市内商店会をPRする調布CMの制作（城西国際大学）を支援した。</p> <p>キャッシュレス決済ポイント還元事業においては、中小規模の事業所での利用が促進されるよう仕組みを工夫し、商店街活性化に向け、商工会及び市内事業者と連携して消費喚起に取り組んだ。市内事業者物価高騰支援事業においては、商工会と連携して市内事業者への制度周知に取り組み、物価高騰の影響を受ける市内事業者の事業継続を支援した。</p>			
協働のパートナー	市内商店会、市内事業者、調布市商工会、城西国際大学		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 産業・労働
			関連施策※ 16活力ある産業の振興
役割分担	パートナーの役割	商店街活性化事業の検討及び実施、市事業への参加・協力	
	市の役割	補助金の交付、事業運営への協力	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○市の実情に即した地域経済の再活性化に向けた各種事業を実施した。</p> <p>○商店街への来訪者増加に向けた取組を実施した。</p>			
協働に当たっての課題と対応			
<p>○商店街の活性化に向けた協働内容のさらなる充実を図る。</p> <p>○各事業におけるパートナーとのさらなる連携を図る。</p> <p>○新たなパートナーとの連携を行う。</p>			

協働事業名	調布市商工会事業の支援	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	調布市商工会事業の支援	電話番号	042-481-7539
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受ける市内事業者支援に連携して取り組み、市内産業の振興に資する市内事業者・商店会への支援事業、ものづくり製品化事業、マル経融資利子補給（商工会事業資金融資）のほか、商工まつりや商業・工業・建設業・サービス業の部会活動などを支援した。</p>			
協働のパートナー	調布市商工会		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 産業・労働
			関連施策※ 16活力ある産業の振興
役割分担	パートナーの役割	商工会事業の検討及び実施	
	市の役割	補助金の交付、事業運営への協力	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○地域経済の再活性化に向けた各種事業を実施した。</p> <p>○中小事業者の事業継続につながった。</p> <p>○市内中小企業等を対象とする新型コロナウイルス感染予防対策のための備品購入や工事費用に対する補助事業を実施した。</p> <p>○キャッシュレス決済の普及促進を図った。</p> <p>○市内消費喚起の促進を図った。</p>			
協働に当たっての課題と対応			
<p>○市内事業者が主体となる各種事業を実施する。</p> <p>○運営組織の構築及び強化を図る。</p>			

協働事業名	調布駅前から盛り上げる会	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	調布駅前から盛り上げる会	電話番号	042-481-7539
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市内商店会、商工会に加え、大型店舗（調布PARCO、トリエ京王調布、イオンシネマシアタス調布）、行政が有機的に連携し、地域経済の活性化につなげることを目的とした「調布駅前から盛り上げる会」を定期的に開催した。また、映画の半券を活用した割引サービスの実施など、地域経済の再活性化に向けて実施した。			
協働のパートナー	調布駅前から盛り上げる会 （京王電鉄株式会社、イオンエンターテイメント株式会社、株式会社ジェイコム東京 調布局、上布田商工会、小島商工会（パルコ含む）、調布銀座商工会 協同組合、調布中央商店会、天神通り商店会、調布市商工会、調布エフエム放送株式会社、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団、市）	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	産業・労働
		関連施策※	16活力ある産業の振興
役割分担	パートナーの役割 調布駅前における意見交換・事業協力など 市の役割 情報提供や、運営補助など円滑に事業・協議を推進		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○調布駅周辺を中心とした地域経済の再活性化に向けた協力体制の構築や懸念事項の情報共有を行った。 ○定期的な開催による連携体制の強化を図った。			
協働に当たっての課題と対応			
○地域経済の再活性化に向け、地域性に適した新たな手法の検討・構築を行う必要がある。			

協働事業名	調布市観光協会事業の促進	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	調布市観光協会事業の促進	電話番号	042-481-7185
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
調布の歴史と映画のまち・芸術文化・スポーツなどの特色を有する市の観光事業の振興を図り、産業の発展と文化の向上に寄与することを目的として、調布市観光協会と連携し、地域資源を活用した観光事業を実施するほか、観光案内所の運営支援や特色ある観光情報の発信や提供を実施している。 令和4年度は、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進のため、観光協会、水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携し、名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年（令和4年）を記念した「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」や「ゲゲゲ忌」など、様々な取組を実施した。また、各種事業において、深大寺や都立神代植物公園、深大寺地域の団体等との連携を意識して取り組んだほか、観光協会が実施する、「深大寺 春の和めぐり」の支援や各種観光イベントの広報・協力、調布市観光ボランティアガイドの支援など、古刹・深大寺を核とした魅力の発信を推進した。その他にも、「映画のまち調布」等、市が基本計画に掲げる取組と連携する観光協会事業を積極的に支援し、観光振興を図った。			
協働のパートナー	調布市観光協会	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	観光・魅力発信
		関連施策※	17魅力ある観光の振興
役割分担	パートナーの役割 観光協会事業の検討・実施 市の役割 補助金の交付、事業への支援		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○新型コロナウイルス感染症による市内事業者への影響を把握した。 ○観光振興による地域経済の再活性化につながった。			
協働に当たっての課題と対応			
○関係団体との協力体制の強化を図る必要がある。			

協働事業名	「水木マンガの生まれた街 調布」の推進事業		所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課	
事務事業名	調布市名誉市民水木しげる氏関連事業		電話番号	042-481-7183	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）					
<p>市は、名誉市民である水木しげる氏に関連し、株式会社水木プロダクションの協力の下、各部署において、水木キャラクターを活用した活性化事業を幅広く展開している。令和4年度は、新たに調布市二十歳のつどい記念品やふるさと納税の返礼品、市庁舎2階エントランス壁面及び市庁舎5階エレベーター壁面へのラッピングに、水木キャラクターや「水木マンガの生まれた街 調布」ロゴを活用した。また、水木しげる氏を偲ぶイベント「ゲゲゲの鬼太郎2022」では、株式会社水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携して、スタンブラリーや、調布駅前広場でのイベント、アニメ特別上映会等を実施した。令和4年度においては、新たに京王電鉄株式会社と連携し京王線車両でのヘッドマーク・中吊り広告の掲出や「ゲゲゲの鬼太郎」一日駅長、記念切符の販売等を行った。さらに、水木しげる氏生誕100周年（令和4年）を記念した「調布市名誉市民・水木しげる氏生誕100周年記念イベント」やアニメ「ゲゲゲの鬼太郎」第6期調布市内周遊謎解きラリーの開催、100周年記念ロゴデザインの街路灯バナーフラッグの掲出を実施した。</p>					
協働のパートナー	株式会社水木プロダクション、調布市観光協会、布多天神社、鳥取県、境港市、東映アニメーション株式会社、イオンエンターテイメント株式会社、株式会社ジョイント、株式会社きさらぎ、京王電鉄株式会社、一般社団法人アニメツーリズム協会、演劇集団円、東京シティビュウ、明治座など			事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託			分野	観光・魅力発信
				関連施策※	17魅力ある観光の振興
役割分担	パートナーの役割	水木キャラクター使用等にかかる使用許可、事業協力			
	市の役割	水木キャラクター活用事業の検討及び実施			
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業				
協働したことによる成果					
<p>○多岐にわたる特色ある事業の展開による「水木マンガの生まれた街 調布」の推進につながった。          ○水木作品の新たなファン層の獲得につながった。          ○調布市への観光客の誘客促進を図った。</p>					
協働に当たった課題と対応					
<p>○名誉市民・水木しげる氏の生誕100周年（令和4年）を契機とした様々な取組を検討する。          ○連携する団体等の拡充を図る。</p>					

協働事業名	ICTを活用した情報発信による観光振興及び地域経済活性化促進事業（調布市・一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定）		所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課	
事務事業名	インバウンド対策の推進、多様な主体と連携した観光情報の発信		電話番号	042-481-7183	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）					
<p>訪日外国人観光客等に対して、調布市と一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団が有する観光情報・ノウハウを活用し、相互連携に取り組むことで、観光関連情報、周辺の避難所情報等を多言語化して提供するサービス「Guidoor（ガイドア）」を実施し、調布市のインバウンド観光推進に向けて取り組んだ。</p>					
協働のパートナー	一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団			事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託			分野	観光・魅力発信
				関連施策※	17魅力ある観光の振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報			
	市の役割	事業の企画、広報、施設との調整			
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業				
協働したことによる成果					
<p>○訪日外国人観光客等に対して、調布市の観光関連情報、周辺の避難所情報等の提供を行った。</p>					
協働に当たった課題と対応					
<p>○コロナ禍における効果的・効率的なPR方法を検討した。</p>					

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



協働事業名	就労支援セミナー等の開催	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	就労セミナー，就職面接会の実施	電話番号	042-443-1217
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
就労に向けた準備，機会の提供を図るため，各種セミナーや就職面接会を実施した。			
協働のパートナー	ハローワーク府中，厚労省東京労働局，公益財団法人東京しごと財団 東京しごとセンター多摩，東京都産業労働局	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	産業・労働
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	11雇用・就労の支援
役割分担	パートナーの役割	各種セミナー等の主催・運営	
	市の役割	各種セミナー等の広報，会場の提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○特に，若者・女性に対する就労支援を手厚くしている。</p> <p>○就労支援セミナーに対する高い満足度を得た。</p> <p>○セミナーを通じて，就労に対する気運の醸成及び就労意欲の向上につなげた。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○雇用状況について，就職者数は，令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度から引き続き減少したが，令和4年度は増加に転じている。就労支援セミナーは，就職に直結する就職面接会と異なり，就労に対する心構えや，社会人としての基礎知識の習得及びパソコン講習等実践に即したところに重きを置いている。</p> <p>○感染症の影響に十分注意するとともに，各パートナー機関と連携する。</p> <p>○セミナーの企画段階から参画し，受講者ニーズを汲み取って，より就労に直結する成果の創出につなげる。</p>			

協働事業名	金融機関との連携による民間ノウハウを活用した中小企業支援事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 産業振興課
事務事業名	中小企業・小規模事業者の支援	電話番号	042-443-1217
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
中小企業等に対するきめ細かな支援策を有する金融機関と連携し，調布市における中小企業等の振興及び地域経済の活性化を図るため，5つの金融機関と，「中小企業等支援に関する包括協定」を締結し，協定に基づき，各種経営支援のための情報を提供した。			
協働のパートナー	多摩信用金庫，三井住友銀行，りそな銀行， みずほ銀行及びみずほ信託銀行，西武信用金庫	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	産業振興
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	16活力ある産業の推進
役割分担	パートナーの役割	セミナーの開催・運営 情報提供	
	市の役割	セミナーの広報，会場の提供 情報提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○各協定締結金融機関との連携の下，各機関の店頭にて市の情報提供を行い，あわせて，産業労働支援センター内に設置している広報スタンド等を活用した。</p> <p>○広く市民への情報提供のほか，市内中小事業者に対して適切な情報提供を実施した。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○より実態に即した中小事業者支援を進めていく必要がある。</p> <p>○中小事業者にとっての課題・問題を抽出して，より事業者にとっての喫緊の課題解決を手助けするように，各金融機関と連携する。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	第44回調布市農業まつり	所管部課名	生活文化スポーツ部 農政課	
事務事業名	農業まつりの実施	電話番号	042-481-7182	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
昭和52年から開催している調布市農業まつりは、市内の生産者団体であるJAマイズ、都市農政推進協議会等で実行委員会を組織し、実施している。 令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルスの影響により中止となったが、令和4年度においては、従来どおり農家の生産意欲の高揚と生産技術の向上、品質の改良等を目的とした品評会、農産物の直売及びチャリティー即売などの事業を実施した。				
協働のパートナー	調布市農業まつり実行委員会		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	産業・労働
			関連施策※	18都市農業の推進
役割分担	パートナーの役割	運営全般（事業主催者）		
	市の役割	運営補助		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○多くの農家の参加につながり、市民と農家の交流が図れた。</p> <p>○農家の生産意欲向上及び技術力の向上につながった。</p> <p>○都市農業に対する市民の理解促進や市内産農産物のアピールにつながった。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
<p>○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、参加を見送る団体があった。</p> <p>○パートナーと市の役割分担等について、実行委員会等での意見交換により合意形成に努める。</p>				

協働事業名	東京都市町村ポッチャ大会	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課	
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7496	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
東京2020大会開催を契機とした多摩地域での広域的な機運醸成・障害者スポーツ振興に向けた取組の一環として、多摩地域27自治体が実行委員会を組織し、東京都市町村ポッチャ大会を開催した。大会には各自自治体が推薦した48チーム（合計199人）、大会サポーター35人が参加した。				
協働のパートナー	東京都市町村ポッチャ大会実行委員会、東京ポッチャ協会、調布市スポーツ推進委員会、特定非営利活動法人調和SHC倶楽部		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	スポーツ
			関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、連携に関する提案・調整、審判員派遣、チーム選出など		
	市の役割	事業の企画・運営協力、市内広報		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○多摩地域での広域的な機運醸成・障害者スポーツ振興に寄与した。</p> <p>○ポッチャ競技の認知度向上につながった。</p> <p>○自治体間の連携・協力体制の強化を図った。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
<p>○委員長自治体を持ち回り制にするに当たり、業務のマニュアル化が必要である。</p> <p>○安定的な人員確保のため、令和5年度大会から大会サポーター選出人数を任意から各市1～2名に固定化する。</p>				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市体育協会事業の支援	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	調布市体育協会事業の支援	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>広く市民にスポーツ、レクリエーションを普及・奨励し、市民の体力向上とスポーツ精神の涵養ならびに市民相互の融和を図ることを目的に、調布市体育協会と連携し、調布市民体育祭、調布市民スポーツまつり、調布市民駅伝競走大会、リフレッシュ体操スクール、ジュニア陸上体験教室を実施するなど、市民がスポーツに親しむ機会の創出を図った。</p>			
協働のパートナー	公益社団法人調布市体育協会		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 スポーツ
			関連施策※ 14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	各事業の企画・運営、各事業への参加者募集	
	市の役割	各事業の企画・運営に関する支援、市報掲載等による広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○スポーツ大会やスポーツイベントの運営に実績のある体育協会へ業務委託することによって、そのノウハウを活用し、コロナ禍においても、感染防止対策を講じながら、各事業において効果的な実施及び市民スポーツの振興を図ることができた。</p> <p>○調布市民体育祭は、全30競技全てを開催（参加人数6959人）。※令和3年度は一部競技が中止</p> <p>○調布市民スポーツまつりは、事前募集型のほか、従来の自由来場型のアトラクションも複数開催し、3958人が来場した。</p> <p>○調布市民駅伝競走大会は、参加チームの上限や使用するコースなども従来に戻し、248チーム、1210人が参加した。※令和2・3年度は中止のため、3年ぶりの開催</p> <p>○ジュニア陸上体験教室は、体育協会・指導室との連携事業として実施し、トップアスリートから直接学べる貴重な機会を提供した。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○調布市体育協会とは、日頃から意思疎通を図り、体育協会の体制の整備に対するサポートや、更なる主体との連携により、今まで以上の事業の内容の充実を図るよう検討する。</p>			

協働事業名	FC東京による地域貢献活動支援	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>FC東京との連携事業として、市民のスポーツ振興、青少年の健全育成等に取り組んだ。市少年サッカー協会所属の小学生対象サッカー教室及び指導者講習会の実施をはじめ、市内在住・在園の年長児の親子及び市内在住・在学の小学生を対象とした「子どもサッカー体験教室」や、18歳以上のサッカー・フットサル初心者向けに「初心者向けフットサル教室」を実施した。また、FC東京応援企画としてユニフォームデーを実施した。さらにFC東京ホームタウン株主6市の担当者によるホームタウン分科会を開催。6市オリジナルポロシャツの作成や6市連携リレーツイート、株主6市によるオンライン指導者講習会を実施した。</p>			
協働のパートナー	FC東京		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 スポーツ
			関連施策※ 14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	各教室・事業等の企画・運営	
	市の役割	企画・広報・運営・準備等のサポート	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○FC東京の知名度やコーチ力によって、多くの市民にサッカーに親しんでもらうことができ、FC東京を応援する機運を醸成するなど市全体としてのスポーツ振興につながれた。</p> <p>○令和4年度の各事業への参加者数は、小学生対象サッカー教室及び指導者講習会約380人、子どもサッカー体験教室約100人、初心者向けフットサル教室約40人。</p> <p>○FC東京応援企画やユニフォームデーの実施など市全体、さらには他市との各種連携事業について、FC東京を応援する機運醸成が高まっているので引き続き実施を予定。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○各事業は例年人気が高く、より多くの市民が参加できるように、各教室等の開催回数や時期について、パートナーと協議・検討する。</p> <p>○新規教室の拡充や市民への広報など今後さらに協働して展開できる可能性があるため引き続きFC東京との協働について検討する。</p>			

協働事業名	F C東京調布の日	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	F C東京等と連携したスポーツ振興等の推進	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
7月2日に味の素スタジアムで行われたJ1リーグ第19節対アビスパ福岡戦の試合前に味の素スタジアム横青赤パーク内にて「調布の日」を開催。併せて当日の試合観戦市民招待事業も実施。令和4年度は調布市が掲げている共生社会の充実を目指した取組「パラハートちょうふ」をテーマに様々なイベントを開催した。特に特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会の協力によるブラインドサッカー体験会は初めての取組で、非常に好評だった。また、調布市PRブースでは、図書館発行の「F C東京選手の私がすすめるこの一冊2022」の配布や、F C東京とのコラボ缶バッジの配付、調布市オリジナル街路灯フラッグプレゼントキャンペーンなどを実施した。			
協働のパートナー	F C東京、特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、場所の提供、事業の実施	
	市の役割	企画・広報・運営・準備等のサポート	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○市の取組をF C東京のファン・サポーターのみならず、アウェイチームのファン・サポーターにも周知することができ、市のPRにつながった。 ○市の広報や市民招待枠の設定により、F C東京の集客に貢献した。			
協働に当たった課題と対応			
○内容やゲストについてF C東京や庁内各課とのスピード感を持った事前の調整が必要である。			

協働事業名	F C東京青赤ストリート	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	F C東京等と連携したスポーツ振興等の推進	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
11月5日に味の素スタジアムで行われたF C東京の最終節である対川崎フロンターレ戦（多摩川クラシコ）にあわせ、最寄りの飛田給駅から味の素スタジアムまでの通称「スタジアム通り」を歩行者専用道路とする「青赤ストリート」を開催。ステージイベントや調布市ブースの出展、キッチンカーの出店などを行った。また、青赤ストリート実施後には地域の清掃活動を行い、地域の美化活動にも貢献した。本イベントは実行委員会形式で実施され、調布市、F C東京以外の様々な団体の協力の下実施したイベントである。			
協働のパートナー	F C東京、株式会社東京スタジアム、調布市観光協会、調布市商工会、公益社団法人調布市体育協会、飛田給小学校地区協議会、飛田給自治会、パークホームズ調布飛田給自治会、株式会社シミズオクト	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、事業の実施	
	市の役割	企画・広報・運営。事業の実施、場所の提供	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○約3万5000人のファン・サポーター（アウェイチームも含む）に向け、調布市の取組をPRした。 ○実行委員会形式にて実施することで、官民連携の下、市のスポーツ振興及び産業振興等のまちの活性化に寄与することができたと同時に、地域や関係団体との連携強化につながった。 ○Jクラブと自治体の取組としては初となるイベント開催であるため、ホームタウン調布市を日本全国へPRした。			
協働に当たった課題と対応			
○数多くの団体と協働するため、調整にかかる時間を考慮して早めの対応が必要である。 ○今後の継続実施に向けて、関係団体との細やかな情報共有が必要である。 ○地域住民を巻き込んでの実施となるため、引き続き細やかな対応を心掛ける。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	F C東京ホームタウン6市による連携事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	F C東京等と連携したスポーツ振興等の推進	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
F C東京のホームタウンであり、かつ、株主となっている6市間の情報共有及び連携した効果的な施策実施への足場づくりとしてのホームタウン行政分科会の開催をはじめ、ホームタウン6市によるユニフォームデーの実施やSNSを活用したリレーツイートの実施を行った。また、6市職員向けにFC東京と連携してホームタウン6市オリジナルポロシャツの販売を行った。			
協働のパートナー	F C東京、府中市、三鷹市、小平市、西東京市、小金井市	事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、事業の実施	
	市の役割	分科会の開催、企画・広報・運営、事業の実施	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○行政同士の横のつながりができたことで、F C東京のホームタウンとしてより地域から盛り上げる機運の醸成につながった。 ○6市オリジナルポロシャツを制作したことで、スポーツ振興担当職員だけではなく、各市全庁的にF C東京を応援する機運の醸成を図った。 ○他市のF C東京との取組を情報共有することで、F C東京との連携の幅を拡大した。			
協働に当たっての課題と対応			
○6市による連携事業のため、調整に時間を要することを踏まえて、早めの連絡・調整が必要である。 ○属人化傾向のある業務なので、今後も継続的に実施ができるようにホームタウン分科会を中心に規約の作成等を検討する。			

協働事業名	府中調布三鷹ラグビー連携協議会	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	F C東京等と連携したスポーツ振興等の推進	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
3市をホストエリアとして活動しているラグビートームである東芝ブレイブルーパス東京及び東京サントリーサンゴリアスの試合や活動に係る広報、ホストスタジアム等におけるホストゲーム開催にかかる支援や、ラグビーを通じたスポーツ振興、青少年の健全育成をはじめとする多様な分野におけるまちづくりの推進に取り組んだ。両チームのホストゲームを対象とした市民招待事業や両チームの対戦観戦バスツアーの実施、オリジナルグッズ作成また、東芝ブレイブルーパス東京と連携したラグビー体験会を実施した。			
協働のパートナー	府中市、三鷹市、東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	協議会の開催、企画・広報・運営、事業の実施	
	市の役割	協議会の開催、企画・広報・運営、事業の実施	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○3市及び両チームとの連携事業実施により、調布市におけるラグビー競技の振興に寄与した。 ○両チームの広報活動の支援を行うことで、調布市がホストエリアであることの認知度が向上した。			
協働に当たっての課題と対応			
○両チーム、2市と連携した事業実施のため細やかな連携、早めの連絡・調整が必要である。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	東芝プレイブルーバス東京・東京サントリーサンゴリアスによる地域貢献活動支援		所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進		電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
調布市をホストエリアとして活動するラグビーチームである東芝プレイブルーバス東京及び東京サンゴリアスとの連携事業を実施。両チームとはジャパンラグビーリーグワン2022-23シーズン開幕前応援動画の制作を実施。また、東芝プレイブルーバス東京とは市主催事業への協力をはじめ、学校教育への協力や障害者の余暇活動への協力などスポーツ振興以外の分野でも連携した事業を行った。				
協働のパートナー	東芝プレイブルーバス東京、東京サントリーサンゴリアス		事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	スポーツ
			関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	各教室・事業等の企画・運営		
	市の役割	企画・広報・運営・準備等のサポート		
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○調布市におけるラグビー競技の振興に寄与した。</p> <p>○両チームの広報活動の支援を行うことで、調布市がホストエリアであることの認知度が向上した。</p> <p>○スポーツ分野のみならず、様々な分野での連携事業を実施した。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>○限りある予算、人員の中で最大効力を発揮できるように両チームとの連絡・調整が必要である。</p> <p>○ラグビー競技振興のため、両チームの活動の情報発信を今以上に実施する。</p>				

協働事業名	調布市障害者スポーツ体験会		所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出		電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
東京2020パラリンピック競技大会により、パラスポーツへの関心が高まった機運の継続と大会を契機とした障害者スポーツ振興を図るため、各競技を実際に体験してもらうことで、障害者スポーツの面白さを感じ、より身近に感じてもらう機会とすることを目的とする。また、障害の有無に関わらず、誰もが楽しめる体験会とすることで、共生社会の実現に向けた事業。競技団体や会場となった武蔵野の森総合スポーツプラザと協働して実施することで、体験会において幅広いコンテンツによる内容の充実や、周辺地域に向けた障害者スポーツの振興を図ることができた。				
協働のパートナー	武蔵野の森総合スポーツプラザ、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟、特定非営利活動法人日本フラインドサッカー協会、FC東京、調布市スポーツ推進委員会、東日本電信電話株式会社、株式会社NTTe-Sports		事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	スポーツ
			関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の広報・運営・準備等のサポート		
	市の役割	事業の企画・広報・運営		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○同事業は今後も様々な主体と連携し毎年開催することで、参加者がそれぞれの競技性を知ることができる。</p> <p>○パラスポーツへの興味関心を高め、障害理解の促進、そしてスポーツの力による共生社会の実現につなげることができる。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>○平成29年度から毎年内容を充実させながら実施してきた中で各競技団体や関係団体との関係性を構築してきた。</p> <p>○連携を強化し今後も事業を継続実施できるよう、企画段階から事業の目的を共有し、細やかな情報共有を図る必要がある。</p>				

協働事業名	調布市障害者スポーツの振興における協議体	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
障害者スポーツの振興という目的のもと、福祉分野とスポーツ分野の関係者からなる協議体を設立、各団体が現状や課題を持ちより連携の可能性を探る場を設けた。その中で、障害者のニーズの把握や事業への参加という課題を解決するため、障害者向けのスポーツや運動活動事業のほか地域の支え手の育成、充実のための事業を検討し、実施につなげた。			
協働のパートナー	公益社団法人調布市体育協会、調布市スポーツ推進委員会、特定非営利活動法人調和SHC倶楽部、調布市福祉作業所等連絡会、地域生活支援センター、社会福祉法人調布市社会福祉協議会、社会福祉法人調布市社会福祉事業団、東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、公益社団法人東京都理学療法士協会	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	各事業の企画・運営、各事業への参加者募集	
	市の役割	各事業の企画・運営、各事業への参加者募集	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○障害者スポーツの振興事業を実施していく上で、スポーツ分野のみでは障害者のニーズの把握が難しい。</p> <p>○福祉分野のみではどのようなスポーツ活動を行えば良いかわからない等の課題がある。</p> <p>○両者が連携することで、お互いの強みや出来る事を持ち寄り、課題解決に向けた具体的な方策を検討できるようになった。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○様々な分野から意見をもらうため、スポーツ分野・障害福祉分野問わず関わりのある事業者へ参加を呼び掛けていく。</p> <p>○平日日中の参加が難しい場合も多く意見交換会を夜間やオンライン開催など参加しやすい時間帯・手法の工夫が必要である。</p> <p>○多くの障害者に参加していただけるよう、曜日や時間帯、開催場所や交通手段など、通いやすさへの配慮は必要である。</p>			

協働事業名	ブラインドサッカー体験授業「体験型ダイバーシティ教育プログラム スポ育」	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
東京2020大会を契機として、共生社会の重要性をこれまで以上に発信するため、「バラハートちょうふ」のキャッチフレーズを掲げ取り組んでいる事業のひとつで、日本ブラインドサッカー協会主催によるブラインドサッカー体験授業「スポ育」を教育委員会と連携して実施。ブラインドサッカー特有の視覚を遮断して行う体験型のプログラムで、小学生を対象に障害理解やコミュニケーションについて学ぶ機会を醸成する。			
協働のパートナー	特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・実施	
	市の役割	事業の委託・参加校の募集・調整	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○市立小学校4校、14クラスで実施し、520名の児童が参加した。</p> <p>○日本ブラインドサッカー協会オリジナルのダイバーシティ教育プログラムである「スポ育」を通して、「障がい理解」「個性」「コミュニケーション」「チームワーク」「チャレンジ精神」「ボランティア」という6つの学びのうち、各校の希望に沿った学びを実施した。</p> <p>○若年層への障害理解の促進・障害者スポーツの振興に寄与した。</p>			
協働に当たった課題と対応			
○全校（市立小学校20校）に事業を展開していくため、事業の周知と早期日程調整が必要である。			

協働事業名	あすチャレ！スクール	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>パラスポーツを通じて、児童生徒たちに共生社会への気づきや学びの機会を提供する。日本財団パラスポーツサポートセンターが行うパラスポーツ体験型出前授業。パラスポーツデモンストレーション、パラスポーツ体験、講話を通して「他者のことを自分ごととして考える力」、「障害への理解」、「可能性に挑戦する勇気」、「夢や目標をもつ力」を学ぶ。</p>			
協働のパートナー	公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	スポーツ
		関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・実施	
	市の役割	事業の委託・参加校の募集・調整	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○市立小学校5校、5学年、483名の児童を対象に実施した。 ○若年層への障害理解の促進・障害者スポーツの振興に寄与した。</p>			
協働に当たっての課題と対応			
○学校での実施に当たり、教育委員会とも連携・調整のうえ実施している。			

協働事業名	車いすバスケットボールChofuエキシビジョンマッチinむさブラ	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>東京2020大会を契機として、調布市、日本車いすバスケットボール連盟、武蔵野の森総合スポーツプラザの3者が連携し、パラリンピックレガシーとして、車いすバスケットボールの振興事業を実施することで、地域全体の障害者スポーツの振興を図り、共生社会の充実を目指し開催した。国内トップチームによる車いすバスケットボールのエキシビジョンマッチのほか、東京2020パラリンピック男子日本代表選手によるトークショー、車いすバスケットボール体験会を実施した。</p>			
協働のパートナー	武蔵野の森総合スポーツプラザ、一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	スポーツ
		関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・広報・運営・準備・会場提供等	
	市の役割	事業の企画・広報・運営・準備等	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○選手の稼働に係る費用を市が負担することなく、市民がプロスポーツに触れる機会が創出できた。 ○障害者スポーツ振興及び車いすバスケットボール競技の普及・認知度向上につながった。</p>			
協働に当たっての課題と対応			
○三者による共催かつ複数の委託事業者が関わるため、早期の打合せ、綿密な連携、費用分担の住み分けが必要である。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



協働事業名	調布サマーフェスティバル2022	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
東京2020大会から1年の機会を捉え、大会開催の意義、感動や記憶を共有するとともに、大会を通じて生まれた様々なレガシーを活用し、そのレガシーを未来につなげることを目的として開催。			
協働のパートナー	調布市観光協会、株式会社京王閣、東京都十一市競輪事業組合、東京都、調布市文化協会、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団、調布よさこい実行委員会、FC東京、東芝プレイブルーバス東京	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報	
	市の役割	事業の企画・運営、市内広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○当日は約3500人が来場した。 ○ラグビー体験、おもしろ自転車体験、車いすバスケットボール体験、レーザー体験、VRを活用したパラスポーツ体験など多数の競技体験を実施できた。 ○スポーツ分野のほかにも、文化体験や展示、歌や踊りなどのステージパフォーマンスといった文化プログラムも実施できた。			
協働に当たった課題と対応			
○イベントの企画・運営をより円滑に実行できるよう、企画内容の早期決定や各主体との早期の調整などを図る必要がある。			

協働事業名	NTT東日本バドミントン部地域感謝祭	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課
事務事業名	FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進	電話番号	042-481-7496
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市内に活動拠点を置くNTT東日本バドミントン部の認知度向上やバドミントン競技の普及推進、身近な地域で楽しみながらプロスポーツに触れる機会の創出を目的として、市内在住・在学の小学生を対象としたバドミントン体験会を開催。ゲーム形式のアトラクションを通してNTT東日本バドミントン部の現役選手や監督と交流したほか、サイン入りグッズがもらえるじゃんけん大会やサイン会を実施した。			
協働のパートナー	NTT東日本バドミントン部		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	スポーツ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	企画・運営・準備・選手稼働	
	市の役割	企画・広報・運営・準備	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○当日は120名の児童が参加した。 ○選手の稼働に係る費用を市が負担することなく、市民がプロスポーツに触れる機会を創出できた。 ○選手が参加者のレベルに合わせて対応してくださったため、初心者から経験者まで楽しむことができたアンケート結果からも好評だった。			
協働に当たった課題と対応			
○100名の定員に対し、約500名の申込があり急遽定員枠を拡大したが、今後の開催規模を検討する必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	読売巨人軍関連事業	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課	
事務事業名	FC東京等と連携したスポーツ振興等の推進	電話番号	042-481-7496	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>ジャイアンツ球場での2軍戦を近隣地域の方々により楽しんでいただくこと、また、身近な地域でプロスポーツに触れ、楽しめる機会を確保すること、さらには、子どもたちが身近にプロスポーツ選手と触れあうことによりスポーツに興味をもってもらうことを目的として、調布市と巨人軍との共催で「調布市フェスタ」実施した。当日は市内在住・在学・在勤者の無料招待を行うとともに、市ゆかりのキッチンカー2台が出店したほか調布花火関連グッズのプレゼント企画を行った。また、巨人軍アカデミーコーチによる小学校体育支援事業や公式マスコットガール「ヴィーナス」とオフィシャルマスコット「ジャビット」による保育園等への訪問事業を行った。小学校では学習指導要領上、必修化されているベースボール型授業を支援したほか、保育園等では野球の動きを取りこんだ遊びの実践やダンスを通じて園児と交流するとともに、ダンスの楽しさや応援することの大切さ、応援されることの嬉しさを感じてもらえるプログラムを実施した。小学校は7校、保育園等は12園に訪問した。</p>				
協働のパートナー	株式会社読売巨人軍		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	スポーツ
			関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業企画、費用負担		
	市の役割	事業運営補助、広報周知		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○共催及び事業協力したことにより、市は費用負担することなく市民がプロスポーツに触れ、楽しむ機会の確保並びに子どもたちがスポーツに親しむ機会を創出することができた。</p> <p>○「調布市フェスタ」と訪問事業とともに、令和4年度からは新たにパートナーによる申込みフォームを利用したことにより、申込みの取りまとめや当落結果の通知など、従前は市の負担となっていた業務を削減することができた。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
<p>○「調布市フェスタ」では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて選手と触れあうイベントを実施できなかった。令和5年度以降は、コロナ禍以前と同様に子どもたちと選手が触れあえる機会を確保したい。</p>				

協働事業名	調布市ニュースポーツ交流会	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課	
事務事業名	スポーツ推進委員による生涯スポーツの振興	電話番号	042-481-7496	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>誰でも気軽にできるニュースポーツの交流会として、大人（中学生以上）を対象に、ふらばーるバレーをチーム対抗の大会形式で実施。</p>				
協働のパートナー	調布市スポーツ推進委員会		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	スポーツ
			関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営		
	市の役割	事業の参加者募集・広報		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○当日は各地域から21チーム、127名が参加した。</p> <p>○市内各地域から参加者を集めることができた。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
<p>○参加者から好評のため、継続して実施する。</p> <p>○令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催時間を短縮して行ったが、今後、従来の時間に戻すことや内容の一層の充実を検討する。</p>				

協働事業名	調布市小学生ドッチビー大会	所管部課名	生活文化スポーツ部 スポーツ振興課	
事務事業名	スポーツ推進委員による生涯スポーツの振興	電話番号	042-481-7496	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>小学生のスポーツ離れや体力低下を防止することを目的に、誰でも気軽にできるニュースポーツの交流大会として開催しており、平成25年度から、市内で人気が高く、国体でデモンストレーション競技にもなった「ドッチビー」を種目として開催していたが、平成29年度から名称を「調布市小学生ドッチビー大会」とし開催している。大会開催に当たっては、調布市スポーツ推進委員会、市立小学校PTA、学校開放運営委員会を中心に実行委員会を構成し、企画・運営を行っている。</p>				
協働のパートナー	調布市小学生ドッチビー大会実行委員会	事業提案者	市	
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成		分野	スポーツ
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	企画・運営、参加者募集、各小学校の出場チーム情報の管理		
	市の役割	実行委員会の運営支援（会場手配、日程調整、大会当日の運営協力）		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○大会当日は市内小学校から42チーム、約500名が参加した。          ○実行委員会において、構成団体同士の日頃の連携体制を活かして、円滑な運営が図れた。          ○構成団体の持つネットワークを活用することで、安定した参加者数を確保できた。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>○実行委員会内で協議・決定したルールが各チームに確実に伝達されていないことがあったため、次年度以降は監督会議の開催を検討する。</p>				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



# 子ども生活部

## 令和4年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
70	子育て応援サイト「コサイト」の運営支援	情報交換・情報提供	NPO法人ちようふ子育てネットワーク・ちよこネット	子ども政策課
71	「こどもとフラット」の運営支援	情報交換・情報提供	社会福祉法人調布白雲福祉会, NPO法人ちようふ子育てネットワーク・ちよこネット	子ども政策課
72	子育て情報誌の発行	事業協力	株式会社ジチタイアド	子ども政策課
73	子ども・若者総合支援事業 ここあ	指定管理・業務委託	社会福祉法人調布市社会福祉協議会	子ども家庭課 児童青少年課 生活福祉課
74	健全育成推進地区委員会との連携	補助・助成	健全育成推進地区委員会	児童青少年課
75	調布市青少年ステーション(CAPS)の運営	指定管理・業務委託	NPO法人ちようふこどもネット	児童青少年課
76	子ども・若者居場所事業	補助・助成	NPO法人青少年の居場所Kiitos	児童青少年課
77	子ども・若者支援地域ネットワーク	共催, 事業協力, 情報交換・情報提供	社会福祉法人調布市社会福祉協議会, NPO法人ちようふこどもネット, NPO法人青少年の居場所Kiitos, NPO法人育て上げネット(ちようふ若者サポートステーション), NPO法人調布心身障害児・者親の会, NPO法人ちようふ子育てネットワーク・ちよこネット, 一般社団法人とちぎ青少年自立援助センター(調布センターたけのこ), 特定医療法人研精会東京さつきホスピタル, 若者の再出発を支えるネット, 民生児童委員協議会, 調布保護司会, 多摩児童相談所, 多摩府中保健所, 調布警察署, 府中公共職業安定所	児童青少年課

協働事業名	子育て応援サイト「コサイト」の運営支援	所管部課名	子ども生活部 子ども政策課	
事務事業名	子育てに関する情報提供の充実	電話番号	042-481-7106	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
調布市子育て応援サイト「コサイト」は、市内の子育て関連施設や子連れで出かけたい店、子育てのヒントとなるようなコラム、地域のイベント情報など、市内の子育てに関する様々な情報をまとめたサイトであり、市内で子育て中の母親たちが中心となるNPO法人が運営を担っている。行政情報と民間情報をついにまとめたことで、閲覧者は両情報を一元的に収集でき、利便性の高いサイトとなっている。また、運営団体が持つネットワークにより、地域や民間のきめ細かな情報の収集・発信を可能としている。市では、サイトを周知するチラシを窓口で配架する等の広報支援を行っている。				
協働のパートナー	特定非営利活動法人ちょうふ子育てネットワーク・ちょこネット	事業提案者	パートナー	
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	子ども
			関連施策※	04子ども・子育て家庭の支援
役割分担	パートナーの役割	子育てに関する情報提供の実施、市への情報提供		
	市の役割	広報支援		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○ユーザーと同じく市内で子育てをしている市民が運営者となることで、当事者として必要な情報や関心を持つ情報を効果的・効率的に発信することができるため、子育て中の母親が子育てに関する悩みを相談できる相手がおらず、孤立してしまうことを防ぐことにもつながっている。</p> <p>○サイトには子育てに関するイベント情報等も載っているため、ユーザーを街に誘い出し、同じ悩みを持つ人たちのグループの紹介や専門機関への誘導等につなげ、顔の見える関係づくりにも寄与している。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
<p>○継続的に運営していくための有料クライアント獲得が課題である。</p> <p>○市としても、コサイトのさらなる認知度向上のため、広報支援等について検討していく必要がある。</p>				

協働事業名	「こどもとフラット」の運営支援	所管部課名	子ども生活部 子ども政策課	
事務事業名	子育てに関する情報提供の充実	電話番号	042-481-7106	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
子育て支援施策における行政課題への対応とともに、賑わいの創出を図るという目的で、市内のNPO法人と社会福祉法人が一体的に運営する子育て支援施設（カフェ、子育てひろば）として、両法人に無償貸付を行っている。調布駅前という利便性から、市内の多様な子育て支援団体等からの情報が集まるため、行政では得ることができない情報も含め、市と法人とで様々な情報交換を行い、イベント等実施の際は周知活動へも協力している。				
協働のパートナー	社会福祉法人調布白雲福祉会（プレイセンターちょうふ運営者） 特定非営利活動法人ちょうふ子育てネットワーク・ちょこネット（カフェ「aona」運営者）	事業提案者	パートナー	
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	子ども
			関連施策※	04子ども・子育て家庭の支援
役割分担	パートナーの役割	各種事業の実施、市政情報のPR、市への情報提供		
	市の役割	各種事業実施の支援、市政情報の提供		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○子育て応援サイト「コサイト」と同様、市内の子育て情報を官民間問わずPRできる場であるため、多くの子育て支援事業の実施者や、これから子育て支援事業を立ち上げたいと考えている市民などが多く集う場となっており、市内の子育て世帯の情報収集の場として機能している。				
協働に当たっての課題と対応				
○市の情報をPRしてもらうことや、運営法人の情報を市でPRするなどのやりとりはできているが、「こどもとフラット」を活用した市民の声の収集などについても今後検討を進めていく必要がある。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	子育て情報誌の発行	所管部課名	子ども生活部 子ども政策課
事務事業名	子育てに関する情報提供の充実	電話番号	042-481-7106
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
子ども生活部と福祉健康部が連携し、民間会社との官民協働により、作成した子育て情報誌。妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の推進に向けた取組のひとつで、主にこれから出産を控えた妊婦の方を対象に配布。出産後、市の子育て支援サービスを切れ目なく受けることができるように月齢順に構成している。			
協働のパートナー	株式会社ジチタイアド		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 子ども
			関連施策※ 04子ども・子育て家庭の支援
役割分担	パートナーの役割	子育て支援情報誌の発行	
	市の役割	市政情報の提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○本誌の発行に当たっては、協働パートナーが広告収入を基に編集・作成を行ったため、市の財政負担なく作成することができた。</p> <p>○市の子育て情報を提供するツールとして、ゆりかご調布面接等で妊婦の方を中心に配布し、活用することができた。</p>			
協働に当たっての課題と対応			
<p>○協働パートナーとは委託ではなく、協定書の締結により事業を行っているため、一方的な要望にならないようお互いに調整していく必要がある</p>			

協働事業名	子ども・若者総合支援事業 ここあ	所管部課名	子ども生活部 子ども家庭課 (042-481-7103) 子ども生活部 児童青少年課 (042-481-7536) 福祉健康部 生活福祉課 (042-481-7098)
事務事業名	困難を抱える子ども・若者の支援	電話番号	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>貧困の連鎖を防止するとともに社会的に困難を抱える子ども・若者の自立を支援するため、ひとり親家庭における日常生活や学習に関する相談及び学習機会の提供を行う「ひとり親家庭の学習・相談支援事業」（子ども家庭課）、概ね15歳以上の不登校やひきこもり等の子ども・若者を対象に相談や居場所提供を行う「子ども・若者総合相談事業」（児童青少年課）、生活困窮世帯等の中学生の学習を支援する「生活困窮者自立支援事業」（生活福祉課）を一体的に展開する「子ども・若者総合支援事業 ここあ」を平成27年度から実施している。</p>			
協働のパートナー	社会福祉法人調布市社会福祉協議会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 子ども
			関連施策※ 04子ども・子育て家庭の支援 06青少年の健全育成 10セーフティネットによる生活支援
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、相談対応、ボランティアの募集・管理	
	市の役割	事業の企画、広報、利用申請	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○パートナーである調布市社会福祉協議会は、長年に渡り市の地域福祉を担ってきたことから、様々な福祉のノウハウを有するとともに市民ボランティアの育成などの実績を持つ。また、分野横断的に様々な支援機関とも円滑な連携がとれており、柔軟な運営が行われている。</p> <p>○令和4年度の子ども・若者総合支援事業全体の利用者数は、延べ1万2056人（相談事業8102人、学習支援事業3104人、居場所事業850人）で令和3年度から1238人の増加となった。</p>			
協働に当たっての課題と対応			
<p>○今後もここあの利用者数は増加傾向にあると考えられるため、運営スタッフの人数を含めた体制について見直しを図っていく。</p>			

協働事業名	健全育成推進地区委員会との連携	所管部課名	子ども生活部 児童青少年課
事務事業名	健全育成推進地区委員会による地域健全育成活動の推進	電話番号	042-481-7536
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
調布市健全育成推進地区委員会の活動に対して交付金を交付することにより、地域における社会環境浄化の活動及び非行防止活動並びに青少年の社会参加及び地域活動の機会を充実し、青少年の健全育成を図っている。			
協働のパートナー	健全育成推進地区委員会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 子ども
			関連施策※ 06青少年の健全育成
役割分担	パートナーの役割	青少年の非行防止及び啓発活動、青少年の社会参加及び社会貢献を促進する活動、青少年の意見表明、体験発表及び行政参加に関する活動、青少年の体育、文化及びレクリエーション活動	
	市の役割	交付金交付、会議運営、資料提供、意見集約	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○各地域をよく知り、他の地域活動団体や学校等との幅広いネットワークを持つパートナーとの協働により、多くの市民の参加や協力を得ることができ、子どもの健全育成に寄与した。</p> <p>○令和4年度は16地区の健全育成推進地区委員会と連携しソフトボール大会を開催したほか、地域活動に貢献した青少年や団体を表彰した。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○青少年の健全育成には、地域のつながりや多くの子どもたちの事業への参加が重要である。</p> <p>○引き続き、青少年と地域の大人が世代を超えて交流し、あわせて青少年同士の親善が深められるよう健全育成推進地区委員会の活動を支援していく。</p>			

協働事業名	調布市青少年ステーション（CAPS）の運営	所管部課名	子ども生活部 児童青少年課
事務事業名	青少年ステーション（CAPS）における中・高校生世代の健全育成	電話番号	042-481-7534
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
青少年の健全育成を目的とし、主に中・高校生世代を対象に多様な分野（スポーツ、音楽、ダンス、クラフト、パソコン等）の活動を支援する。それぞれの分野において専門知識を有するスタッフが、中・高校生世代の要望を満たす事業展開を図る。また、多感な年代の様々な悩み・相談に対応する相談事業も行う。四半期毎の事業報告において、事業実施状況や利用者のニーズ及び課題等の確認を行い、予算や運営方針に反映して各種事業を展開している。			
協働のパートナー	NPO法人ちょうふこどもネット		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 子ども
			関連施策※ 06青少年の健全育成
役割分担	パートナーの役割	実情により創意工夫をし対応することにより、より利用者のニーズに沿った運営の実施	
	市の役割	地域と協働した、中・高校生世代の健全な居場所や活動支援等の拠点の確保の提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○コロナ禍において利用制限がある中ではあったが、感染拡大防止を講じての青少年の健全な居場所の確保や活動支援等の役割を果たした。</p> <p>○東部地域の中・高校生世代の居場所事業についても、つつじヶ丘児童館ホールや東部地域の児童館を活用した試行実施を継続したことで得た反省点等から、利用者拡大に向けた事業内容を検討し、今後は緑ヶ丘児童館と緑ヶ丘地域福祉センターで実施する。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○開館から15年以上経過する中で、運営に対する客観的な意見を把握する仕組みについて検討する必要がある。</p> <p>○試行実施している東部地域の中・高校生世代のフリースペース事業については、専門的なノウハウを活かした取組のほかにも、地域の中学生との意見交換会等を行い、利用者ニーズを把握した運営方法を検討し、より推進を強化する。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



協働事業名	子ども・若者居場所事業	所管部課名	子ども生活部 児童青少年課
事務事業名	子ども・若者への支援	電話番号	042-481-7536
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市内において社会生活を円滑に営むうえで困難を有する子ども・若者の居場所提供事業を実施する団体に対し、事業に要する経費の一部を補助することにより、困難を有する子ども・若者の自立した社会生活の実現を図る。			
協働のパートナー	特定非営利活動法人青少年の居場所Kiitos		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 子ども
			関連施策※ 06青少年の健全育成
役割分担	パートナーの役割	困難を有する子ども・若者への居場所提供	
	市の役割	補助金の交付等	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○ノウハウやネットワークを持つ団体が、居場所の提供や利用者からの相談対応を行うことで、実態に即した支援を行うことができるとともに、様々な問題を抱える子ども・若者に対する居場所の確保につながった。 ○困難を有する子ども・若者及びその家族に対し長期的・継続的支援を行うことにより、心身ともに安定し、生活習慣、食習慣の見直しを図られた。			
協働に当たっての課題と対応			
○これまで、本補助金の交付団体は年間を通じて1団体のみとなっているが、申請件数の増加や、本補助金とは別に当課にて検討を進めている自立支援に資する補助制度の創設を見据え、制度の見直しを含めて検討を行っていく必要がある。			

協働事業名	子ども・若者支援地域ネットワーク	所管部課名	子ども生活部 児童青少年課
事務事業名	子ども・若者への支援	電話番号	042-481-7536
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
「子ども・若者支援地域ネットワーク」は、困難を抱える子ども・若者を支援している様々な専門性を持った機関・団体から構成され、年3回開催する会議において、意見交換や情報共有を行うとともに各団体の事例紹介を行っているほか、各機関のスタッフを対象とした施設見学会を実施するなど連携強化を図っている。また、年に1回、子ども・若者に関するテーマで講演会を実施し、市民に対して相談のきっかけづくりとなるよう努めている。			
協働のパートナー	社会福祉法人調布市社会福祉協議会、NPO法人ちょうふこどもネット、NPO法人青少年の居場所Kiitos、NPO法人育て上げネット（ちょうふ若者サポートステーション）、NPO法人調布心身障害児・者親の会、NPO法人ちょうふ子育てネットワーク・ちょこネット、一般社団法人とちぎ青少年自立援助センター（調布センターだけのこ）、特定医療法人研精会東京さつきホスピタル、若者の再出発を支えるネット、民生児童委員協議会、調布保護司会、多摩児童相談所、多摩府中保健所、調布警察署、府中公共職業安定所		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 子ども
			関連施策※ 06青少年の健全育成
役割分担	パートナーの役割	意見交換、情報共有、事例紹介、施設見学会の開催、講演会の開催	
	市の役割	会議の進行、施設見学会や講演会の調整	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○令和4年5月、10月、令和5年3月に会議を開催した。 ○施設見学会を開催した（見学施設数7施設、延べ参加者数47人）。 ○講演会を開催した（令和4年11月開催、テーマ「子どもたちとゲーム・インターネット～ゲームとの向き合い方を考える～」、参加者数86人（会場45人、オンライン41人））。 ○様々な専門性を持った機関・団体同士で意見交換や情報共有を行うとともに、各機関のスタッフを対象とした施設見学会を実施することで、構成機関同士のさらなる連携強化や相互理解の促進につながった。			
協働に当たっての課題と対応			
○引き続き、事例紹介や施設見学会を通じて、構成機関同士の理解促進を行っていく必要がある。			



# 福祉健康部

## 令和4年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
78	第72回“社会を明るくする運動”	実行委員会	社会を明るくする運動調布市推進委員会	福祉総務課
79	調布市平和祈念祭	共催	調布市遺族厚生会	福祉総務課
80	高齢者健康づくり事業	補助・助成, 情報交換・情報提供	東京YWCA国領, ソング布田, (公社)東京都柔道整復師会武蔵野支部調布地区, 八雲台小学校地区協議会, 調布市将棋連盟	高齢者支援室
81	生活支援体制整備事業	事業協力, 指定管理・業務委託	市民, 社会福祉法人調布市社会福祉協議会	高齢者支援室
82	調布市障害者余暇活動支援事業「ほりでーぷらん」	実行委員会	ほりでーぷらん実行委員会	障害福祉課
83	あおぞらサッカースクール	事業協力, 補助・助成	FC東京, 認定特定非営利活動法人トランス	障害福祉課
84	「がん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携」に関する協定に基づく普及啓発事業	共催	アフラック生命保険株式会社	健康推進課
85	歯と健康のつどい	共催	一般社団法人調布市歯科医師会	健康推進課
86	緊急医療救護所設置・運営訓練	事業協力	調布市医師会, 調布市歯科医師会, 調布市薬剤師会, 調布市柔道整復師会	健康推進課
87	味スタウォーキングコース設置	情報交換・情報提供	味の素株式会社, 株式会社東京スタジアム	健康推進課

協働事業名	第72回 “社会を明るくする運動”	所管部課名	福祉健康部 福祉総務課
事務事業名	社会を明るくする運動の推進	電話番号	042-481-7101
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生についての理解を求めるとともに、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動に取り組んだ。実施に当たっては、犯罪防止や青少年の健全育成などの活動を行っている団体による実行委員会方式で取り組んだ。			
協働のパートナー	社会を明るくする運動調布市推進委員会 （調布保護司会、調布・狛江地区更生保護女性会、調布市民生児童委員協議会、調布市赤十字奉仕団、調布市健全育成推進地区委員会、調布市青少年補導連絡会、市立学校PTA 他）		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 福祉
			関連施策※ 07共に支え合う地域福祉の推進
役割分担	パートナーの役割	事業の運営（保護観察所との連絡調整）	
	市の役割	推進委員会事務局（事業の準備、各団体への連絡調整）	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○複数の団体から協力を得ることができたことで、各団体の特性や日々の活動で培われたつながりを活かし、事業としても様々な方向からアプローチすることができた。			
協働に当たっての課題と対応			
○各団体との連携に当たっては、団体独自の行事等を優先していただくなど、各団体の負担ができるだけ少なくなるよう配慮し、無理のない範囲で協力いただけるよう呼び掛けた。			

協働事業名	調布市平和祈念祭	所管部課名	福祉健康部 福祉総務課
事務事業名	平和祈念祭の実施	電話番号	042-481-7101
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市民が平和の尊さを理解し、平和について考える機会を提供するため、戦没者の遺族で構成される調布市遺族厚生会との共催で平和祈念祭を行った。実施に当たっては、先の大戦で亡くなられた方々への追悼と今日の平和が永遠に続くことを願い、遺族厚生会が追悼の辞や碑文の朗読等を行い、参列者全員で黙祷や献花を行った。			
協働のパートナー	調布市遺族厚生会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 平和
			関連施策※ 30平和・国際交流施策の推進
役割分担	パートナーの役割	事業の運営・準備、各団体との連絡調整	
	市の役割	事業の運営・準備、各団体との連絡調整、調布市遺族厚生会事務局	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○戦後77年が経ち、戦争についての認識が薄れていくなか、平和の尊さについて考える場を設けた。 ○新型コロナウイルス感染拡大の影響により縮小開催となったが3年ぶりの開催であり、改めてパートナーと平和への願いが共有された。			
協働に当たっての課題と対応			
○日頃からパートナー団体と円滑な連携を図り、継続的に事業を実施するため年間を通じた話し合いが必要である。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	高齢者健康づくり事業	所管部課名	福祉健康部 高齢者支援室	
事務事業名	高齢者健康づくり事業の推進	電話番号	042-481-7150	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>高齢者が認知症や寝たきりにならず、元気で生きがいを持って自立した生活が送れるよう、既存の商業施設等の営業時間外を活用して健康づくり事業を実施する。（ティーポットサロン、飲食店活用ミニデイ、柔ちゃん体操教室、健康ウォーキング教室、いきいき将棋同好会）</p> <p>市は調布市高齢者健康づくり事業補助金交付要綱に規定する事業について、補助金を交付し、運営団体をサポートする。健康ウォーキング教室については、協働推進課の地域カルテに基づいて平成24年度から実施。</p>				
協働のパートナー	東京YWCA国領、ソング布田、（公社）東京都柔道整復師会武蔵野支部調布地区、八雲台小学校地区協議会、調布市将棋連盟		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	福祉
			関連施策※	08高齢者福祉の充実
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集		
	市の役割	事業の企画、情報提供、市報掲載		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>〇介護保険事業や既存のサロンにはないサービス提供を行うことで、高齢者が外に出るきっかけとなり、健康づくりを推進することができた。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>〇当該事業の利用者が固定化し、新規利用者を増やすことが課題。既存の広報活動（市報・市ホームページ掲載）のほか、東京都の事業を活用した新たな活動の創出に取り組んだ。</p>				

協働事業名	生活支援体制整備事業	所管部課名	福祉健康部 高齢者支援室	
事務事業名	生活支援体制整備事業	電話番号	042-481-7150	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>生活支援体制整備事業は①多機関協働の支援体制の構築、②地域での支え合い活動の創出、③社会参加でハリのある生活の3つの視点で地域づくりを実施する。</p> <p>そのため、事業実施に当たって、市民と共にニーズの検討やそれに対応した地域資源の見える化を行った。</p>				
協働のパートナー	市民、社会福祉法人調布市社会福祉協議会		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	福祉
			関連施策※	08高齢者福祉の充実
役割分担	パートナーの役割	事業の企画、情報提供		
	市の役割	事業の企画、情報提供、市報掲載		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>〇市民及び企業、行政が集まり、高齢者が自立した生活を送ることができるよう、企業や地域団体等が行う独自の支援、サービス、地域活動等を集約し、公表するキャンペーンを運営している。</p> <p>〇調布市社会福祉協議会に第2層の地域支え合い推進員として、地域づくりのコーディネートを委託している。</p>				
協働に当たった課題と対応				
<p>〇高齢者が必要とする企業や地域団体等が行う独自の支援・サービス・地域活動等の内容は多岐にわたるが、参加者が少なく、活動に限りがあることが課題である。</p> <p>〇参加者を増やすために、興味関心のある友人等をお誘いいただいている。</p>				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市障害者余暇活動支援事業「ほりで一ぶらん」	所管部課名	福祉健康部 障害福祉課
事務事業名	余暇活動支援の充実	電話番号	042-481-7135
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
主に重度知的障害のある方を対象とした余暇活動イベントを開催し、余暇活動の充実、運動不足の解消、ご家族の負担軽減を図るもの。イベント開催に当たり、ボランティアや地域住民、関係機関の協力を得ることで、障害理解の推進を図ることも目的としている。市や調布市福祉作業所等連絡会、相談支援事業所、ボランティアなどで実行委員会を組織し、イベントの実施及びイベント内容の検討を行った。			
協働のパートナー	ほりで一ぶらん実行委員会 (市、調布市福祉作業所等連絡会、相談支援事業所、ボランティア)		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 福祉
			関連施策※ 09障害者福祉の充実
役割分担	パートナーの役割	イベントの企画運営、イベント内容の検討、事業の周知	
	市の役割	事業費の拠出、イベントの企画運営、イベント内容の検討、事業の周知	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○新型コロナウイルス感染拡大の影響により、参加人数を絞ったうえでの開催となったが、調布市福祉作業所等連絡会やボランティアの協力を得て人員体制を確保し、配慮が必要な重度の障害者も安心して参加することができた。 ○送迎を提供することで、家族の負担を軽減することができた。			
協働に当たった課題と対応			
○実行委員会やイベント当日の運営にあたるボランティアの確保や、作業所職員の負担の大きさが課題となっている。 ○イベント運営等に経験のある新たなパートナーの参画を含め、継続的に事業を運営していくための体制検討に取り組んでいる。			

協働事業名	あおぞらサッカースクール	所管部課名	福祉健康部 障害福祉課
事務事業名	余暇活動支援の充実	電話番号	042-481-7135
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
FC東京とのパートナーシップに基づき、スポーツ振興課で実施していた「にこにこサッカークリニック事業」を発展させ、平成30年度から「あおぞらサッカースクール」として、対象者の拡大（障害児のみならず、障害者も対象）を行ったほか、不定期開催だったところ、原則月1回開催するスクール方式に変更するなど一部充実を図ったうえで、3つのクラスでそれぞれの能力に合わせたフットサル教室を実施している。令和元年度からは定例のスクールに加えて他チームも交えた交流会を実施している。			
協働のパートナー	FC東京、認定特定非営利活動法人トラッソス		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 福祉
			関連施策※ 09障害者福祉の充実
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営	
	市の役割	広報・運営・準備等のサポート	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○社会的障壁等を理由にスポーツ等余暇活動を行う機会が少ない障害児・者に対して、FC東京及びトラッソスのもつノウハウにより、障害特性に応じたフットサル事業の実施ができています。 ○令和元年度からは、市内在住・在学のスクール参加者と市外の同様のスクール参加者等による交流会も実施しており、試合等を通して参加者同士で交流の幅を広げることもできた。			
協働に当たった課題と対応			
○令和4年度は新型コロナウイルスの影響があったものの、中止することもなく実施することができた。 ○雨天による中止もなかった。雨天時は可能な範囲で別日の交流会にスクールを同日開催するなど、代替措置を講じることもあるが、その場合の場所の確保が困難な状況となっている。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	「がん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携」に関する協定に基づく普及啓発事業		所管部課名	福祉健康部 健康推進課	
事務事業名	がん検診の充実		電話番号	042-441-6100	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）					
アフラック生命保険株式会社と調布市の間で、平成22年2月に締結した「調布市とアフラックとのがん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定書」に基づき、がんの正しい知識の普及啓発や、がん検診の普及啓発や受診勧奨を行う。					
協働のパートナー	アフラック生命保険株式会社			事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託			分野	福祉
				関連施策※	12生涯を通じた健康づくり
役割分担	パートナーの役割	企業として培ったがんの知識や検診の普及啓発のノウハウ・啓発ブース用のパネル等の提供など			
	市の役割	調布市とアフラック生命保険株式会社との「がん啓発・がん検診の受診率向上に向けた包括的連携に関する協定書」に基づき、協議を重ねながら、目的達成のための効果的な事業を検討し実施			
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業				
協働したことによる成果					
<p>○アフラック生命保険株式会社「『生きる』を創る。」健康増進コーナーにて、乳がん早期発見月間の一環として啓発を実施した。</p> <p>○調布駅コンコース及び市役所2階ロビーで、協働作成したがん検診啓発チラシの配布及び動画の上映を実施した。</p> <p>○女性ががん検診受診啓発の動画を作成した（調布市公式YouTubeで公開）。</p> <p>○小児がん経験者・がん遺児奨学金制度のための街頭募金を実施した。</p> <p>○小児がんの子どもたちとその家族への支援のための募金活動を実施した。</p>					
協働に当たっての課題と対応					
○協定に基づき長期的・継続的な事業を実施するため、円滑な連携体制の構築が必要である。					

協働事業名	歯と健康のつどい		所管部課名	福祉健康部 健康推進課	
事務事業名	健康教育の推進		電話番号	042-441-6100	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）					
市民に対し、歯と口腔の健康保持の大切さを啓発するため、歯の健康週間に合わせ、8020（ハチマルニイマル）と図画・ポスター・標語コンクールの対象者を募集し表彰を行った。 ※令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、式典は実施しなかった。					
協働のパートナー	一般社団法人調布市歯科医師会			事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託			分野	福祉
				関連施策※	12生涯を通じた健康づくり
役割分担	パートナーの役割	専門的な歯科相談や講演会の開催、表彰式の運営等			
	市の役割	市民に対するの広報や8020（ハチマルニイマル）の表彰の準備・調整など			
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業				
協働したことによる成果					
○パートナーの専門性を活用し、表彰することで、市民に対し歯と口腔の健康保持の大切さを普及啓発できた。					
協働に当たっての課題と対応					
○本協働のパートナーとは、様々な事業において市と連携する機会が多いため、各事業における連携だけでなく、日頃からパートナーと情報交換を行うなど、円滑な連携を図ることで、より良い協働関係を築くことができる。					

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	緊急医療救護所設置・運営訓練	所管部課名	福祉健康部 健康推進課
事務事業名	医療救護体制	電話番号	042-441-6100
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市は、調布市医師会、調布市歯科医師会、調布市薬剤師会、調布市柔道整復師会と「災害時の医療救護活動についての協定」を締結している。また、調布市地域防災計画により、震災など大規模な災害が起きた際に、限られた医療資源の中で、一人でも多くの方の命を救うため、市内8病院と東京慈恵会医科大学附属第三病院に緊急医療救護所を設置することとしている。協定に基づき、地域防災計画に位置付けた緊急救護所設置場所において、平成25年度から順次救護所設置・運営訓練を実施している。			
協働のパートナー	調布市医師会、調布市歯科医師会、 調布市薬剤師会、調布市柔道整復師会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 防災
			関連施策※ 12生涯を通じた健康づくり
役割分担	パートナーの役割	各専門的見地による災害医療救護活動	
	市の役割	緊急医療救護所の設置訓練の準備、市報・市ホームページへの掲載	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、災害医療委員会及び緊急医療救護所訓練は実施できなかった。			
協働に当たっての課題と対応			
○令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により訓練は中止したが、慈恵第三病院・狛江市・調布市において通信訓練を実施した。 ○協定締結先である、調布市医師会、調布市歯科医師会、調布市薬剤師会、調布市柔道整復師会の協力を得ながら訓練を実施しており、各団体との調整や連携が重要である。			

協働事業名	味スタウォーキングコース設置	所管部課名	福祉健康部 健康推進課
事務事業名	健康情報の提供	電話番号	042-441-6100
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
味の素スタジアムウォーキングコースの道中に設置されているチェックポイントにおいて、市が提供する健康に役立つ情報を掲載している。			
協働のパートナー	味の素株式会社、株式会社東京スタジアム		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 福祉
			関連施策※ 12生涯を通じた健康づくり
役割分担	パートナーの役割	ウォーキングコースチェックポイントにおける情報の更新	
	市の役割	健康に役立つ情報の提供	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○ウォーキングを楽しむ市民に健康に役立つ情報を提供することができた。			
協働に当たっての課題と対応			
○継続的に事業を実施するに当たり、定期的に情報を更新して市民がいつ来ても楽しめるよう工夫する必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



# 環境部

## 令和4年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
88	公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業	事業協力, 情報交換・情報提供	調布未来のエネルギー協議会, 調布まちなか発電株式会社	環境政策課
89	崖線緑地保全	事業協力, 補助・助成, 情報交換・ 情報提供	入間・樹林の会, カニ山の会, 若葉の 森3・1会, 若葉緑地の会, 凸凹森の 会, 緑につつまれた街づくりの会, 入 間町2丁目緑地の会	緑と公園課
90	公遊園等清掃協力	補助・助成	自治会, 子ども会, 老人会, 地域グ ループ	緑と公園課
91	花いっぱい運動事業	補助・助成	自治会, 地域グループ	緑と公園課
92	資源物地域集団回収事業	補助・助成	自治会, マンション等管理組合, 子ど も会, PTA, 少年団, 婦人会, 修道院 等	ごみ対策課

協働事業名	公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業	所管部課名	環境部 環境政策課
事務事業名	地球温暖化対策の推進	電話番号	042-481-7086
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市は、公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業について、市民等との協働により検討を進めてきた。本事業は、事業者により市の公共施設の屋根等を貸し出し、再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用した太陽光発電事業を実施することにより、再生可能エネルギーの普及・促進、停電時の電力確保、収益の一部を市や市域へ還元することを目的としている。公募型プロポーザルにより選定した「調布まちなか発電株式会社」は平成26年度から34施設において発電を開始し、収益の一部を活用した啓発事業等を実施している。			
協働のパートナー	調布未来のエネルギー協議会、調布まちなか発電株式会社		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 環境
			関連施策※ 26地球環境の保全
役割分担	パートナーの役割	再生可能エネルギー等の普及啓発に係る検討	
	市の役割	公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業に係る進捗状況の確認等	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○市の公共施設の屋根を貸し出して事業を実施するに当たり、市内事業者の活用ができた。</p> <p>○市内事業者が売電収益の一部を活用し、市や市域への還元（オンラインセミナーの開催）を実施することにより、市民の環境意識の高揚も併せて行うことができた。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○パートナー（調布まちなか発電株式会社）と市との役割分担については、協定を締結し明確にその役割分担等を規定しているが、事業期間が20年超となることから、事業の継続に向け、市側の人事異動等に伴う担当者変更に伴う引継ぎ等について、着実に実施する必要がある。</p>			

協働事業名	崖線緑地保全	所管部課名	環境部 緑と公園課
事務事業名	公園・緑地、崖線樹林地の保全	電話番号	042-481-7083
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市の緑の骨格といわれる貴重な崖線緑地の整備に伴い、ワークショップに集まった市民が任意団体を立ち上げ、市との協働により崖線緑地の保全に取り組む事業である。都会に残った貴重なまとまりのある緑地の植生を生かした下草刈りや樹木のせん定などの緑地保全活動により、崖線緑地の美観と快適な空間を保持し、市民に緑地の効果とともに、自然環境保全の大切さについて理解してもらうことを目的としている。			
協働のパートナー	入間・樹林の会、カニ山の会、若葉の森3・1会、若葉緑地の会、凸凹森の会、緑につつまれた街づくりの会、入間町2丁目緑地の会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 環境
			関連施策※ 27水と緑による快適空間づくり
役割分担	パートナーの役割	市民が公園を快適かつ安全に利用できるように清掃・除草などの活動を継続的に行う。	
	市の役割	活動団体への活動場所の提供、保全活動に関する情報提供及び支援、活動内容についての広報、保全活動に対する指導助言などを行う。活動にあたって怪我や事故のないよう安全講習会を実施	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○崖線緑地の整備に伴う市民参加の機会に集まった市民が、継続的に崖線緑地保全に関わることでできる機会を創出することができ、市民の主体性を高めるとともに、自然環境保全についてより身近に感じてもらうことにつながった。</p> <p>○地域の実情に合わせて活動を行うことができ、周辺住民も参加できるような企画を行うことができた。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○「協働」に対する理解・意識共有を深めるため、定期的に連絡会を開催しお互いの意見交換や各団体間の情報交換を行った。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	公遊園等清掃協力	所管部課名	環境部 緑と公園課
事務事業名	公園・緑地，崖線樹林地の保全	電話番号	042-481-7083
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市内の公遊園等において，近隣の自治会や老人会などの地域団体の協力を得て，清掃・除草などを実施するもの。清掃活動は地域団体が自主的に行い，市は公遊園等の面積に応じて謝礼金を支払った。			
協働のパートナー	自治会，子ども会，老人会，地域グループ		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 環境
			関連施策※ 27水と緑による快適な空間づくり
役割分担	パートナーの役割	市民が公園を快適かつ安全に利用できるように清掃・除草などの活動を継続的に行う。	
	市の役割	公遊園等の美化，維持管理及び公遊園施設の点検を行う地域団体に対して，公遊園等の面積に応じて謝礼金を支払う。	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○各公遊園の周辺住民や，日頃から公遊園を利用している市民が主体的に清掃活動に関わることで，パートナーの自主性を活かし，公遊園に対する愛着や市民の主体性を高めることにもつながった。			
協働に当たった課題と対応			
○団体構成員の高齢化により活動をやめる団体が毎年発生しているため，参加する団体が増えるような更なる検討を重ねていく。			

協働事業名	花いっぱい運動事業	所管部課名	環境部 緑と公園課
事務事業名	公園・緑地，崖線樹林地の保全	電話番号	042-481-7083
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
道路や公園，道路沿いの民有地などで，花いっぱい運動を実施する活動団体に対して，補助金を支出することによって，市内に潤いと安らぎのある空間を創出する。			
協働のパートナー	自治会，地域グループ		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 環境
			関連施策※ 27水と緑による快適な空間づくり
役割分担	パートナーの役割	活動場所において，種や花苗を植え，育てることによって市内に潤いと安らぎの空間を創出する。	
	市の役割	活動場所の面積に応じて，花苗や土，肥料等の購入費の補助を行う。	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○団体の創意工夫によって，活動場所ごとに特色ある花いっぱいの空間が創出されているだけでなく，団体のメンバーと通行人や公園利用者との間に花を通じた交流も生まれている。			
協働に当たった課題と対応			
○高齢化による活動メンバーの減少や活動の縮小などが危惧されており，活動を担う若い世代を育成する必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	資源物地域集団回収事業	所管部課名	環境部 ごみ対策課
事務事業名	ごみの減量と資源化	電話番号	042-306-8781
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
<p>子ども会や自治会など、市内に所在する資源物の回収を行う市民団体（令和5年3月31日現在、238団体が登録）が、新聞・雑誌・ダンボールなどの古紙類やカン、ピン、古布類、牛乳パックを集めて、資源物を再利用処理施設へ運搬する業者に引き渡している。</p> <p>市から団体や業者へ奨励金を交付することにより、ごみの減量と自主的な資源循環の取組を推進している。</p>			
協働のパートナー	自治会、マンション等管理組合、子ども会、PTA、少年団、婦人会、修道院等	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	分野	環境
		関連施策※	28ごみの減量と適正処理
役割分担	パートナーの役割	資源物の収集を行い、資源物の適正な資源化を行う。	
	市の役割	奨励金を交付し、活動資金として有効利用してもらう。	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○各団体が自主的に資源物の収集を行うことで、ごみ減量やリサイクルへの意識が高まっている。</p> <p>○地域の方々が一緒になって資源物の収集に取り組むことにより、地域のコミュニティづくりにも役立っている。</p> <p>○回収した資源物は、資源物回収業者への引渡し量に応じて、1kg当たり8円の奨励金を市が団体へ交付しており、交付された奨励金は、団体の活動資金として有効な活用ができる。</p>			
協働に当たった課題と対応			
<p>○市報や市ホームページ、調布エフエムのほか、広報誌「ザ・リサイクル」及び調布市ごみリサイクルカレンダー等による周知を行い、参加団体の拡大を図る。</p>			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

# 都市整備部

## 令和4年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
93	まちの「つながり」プロジェクト まちなカラポ 富士見BASE	事業協力	共立女子大学, SUGAWARADAI SUKE建築事務所株式会社, 調布市空き家等対策推進協議会, 社会福祉法人調布市社会福祉協議会	住宅課
94	住まいの未来セミナー・個別相談会	共催	調布市空き家ワンストップ相談窓口事業者(ミサワホーム, 三井住友信託銀行, 東京都建築士事務所協会(南部支部), 東京都行政書士会 調布支部, 日本地主家主協会, 多摩信用金庫)	住宅課
95	調布市ふれあいのみちづくり事業	事業協力, 情報交換・情報提供	大町自治会ほか15団体	道路管理課
96	TSマーク付帯保険加入促進事業	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	調布市自転車商協同組合 調布支部	交通対策課
97	北部地域巡回公共交通(実証実験)事業	事業協力, 情報交換・情報提供	北ノ台まちづくりネットワーク・ふじみ地区自治会等連合会・北部地区まちづくり推進準備会のほか, 深大寺北町, 深大寺東町の市民	交通対策課
98	高齢者等運転免許自主返納サポート事業	事業協力, 補助・助成, 情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	調布市商工会, 調布市高齢者免許自主返納推進市民会議	交通対策課

協働事業名	まちの「つながり」プロジェクト まちなカラポ 富士見BASE		所管部課名	都市整備部 住宅課
事務事業名	空き家等対策の推進		電話番号	042-481-7817
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
まちの「つながり」プロジェクトは、令和2年度から3箇年に渡り東京都から補助採択を受けた事業である。令和4年6月からは、富士見町エリアの利活用可能な空き家を「まちなカラポ 富士見BASE」として運営した。富士見BASEを地域の居場所として効果的に展開するため、市が任命したまちづくりプロデューサー（学識経験者である大学教授と富士見町内で自ら空き家の利活用を実践する建築士）並びに運営事業者と月1回打合せの場を設け、日々の運営状況の共有や全3回のイベントを企画し多くの方に参加いただいた。				
協働のパートナー	共立女子大学、SUGAWARADAI SUKE建築事務所株式会社、調布市空き家等対策推進協議会、社会福祉法人調布市社会福祉協議会		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	都市整備
			関連施策※	23良好な住環境づくり
役割分担	パートナーの役割	事例紹介、提案コンセプトの可能性検討協議及び研究		
	市の役割	空き家対策における利活用可能性検討		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○広い層への情報発信を行った。 ○効果的な空き家利活用を実践した。 ○空き家問題について考えるきっかけづくりとなった。				
協働に当たった課題と対応				
○利活用可能な空き家等の掘り起こしが必要である。 ○富士見BASEでの取組を踏まえた新たな展開が必要である。				

協働事業名	住まいの未来セミナー・個別相談会		所管部課名	都市整備部 住宅課
事務事業名	空き家等対策の推進		電話番号	042-481-7817
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
令和3年度に実施した「調布市空き家所有者意向調査」にて相談を希望する所有者が多くいらしたことから、また、令和2年10月に設置した調布市空き家ワンストップ相談窓口の認知度が低かったことを踏まえ、市と協定を結んでいる6事業者が一堂に会しセミナー及び個別相談会を実施。個別相談会参加者への提案事項や相談会後の進捗状況を市及び6事業者で共有し、アフターフォローを実施した。				
協働のパートナー	調布市空き家ワンストップ相談窓口事業者（ミサワホーム、三井住友信託銀行、東京都建築士事務所協会（南部支部）、東京都行政書士会調布支部、日本地主家主協会、多摩信用金庫）		事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	都市整備
			関連施策※	23良好な住環境づくり
役割分担	パートナーの役割	空き家の解消促進、課題解決		
	市の役割	空き家の解消、適正管理の啓発		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○ワンストップ相談窓口の周知を行った。 ○複数事業者への相談が可能となった。 ○空き家の解消につながった。				
協働に当たった課題と対応				
○相談窓口及び本事業の効果的な情報発信を行う。 ○参加者の満足度をあげるため、事業の検討及び見直しが必要である。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市ふれあいのみちづくり事業	所管部課名	都市整備部 道路管理課	
事務事業名	道路維持管理事務	電話番号	042-481-7405	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
市民が協働して市道、水路、けい畔、その他特定の公共空間の維持管理を行う活動であり、市内の町内会、自治会、学校等の市民団体が清掃活動を行い、市は団体に用具類等の無償貸与を行った。住民が主体的に清掃活動を行うことで、市道等の適正な維持はもとより、地域全体の環境美化の向上と地域コミュニティの活性化にも寄与している。				
協働のパートナー	大町自治会ほか15団体		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	道路管理
			関連施策※	24安全で快適なみちづくり
役割分担	パートナーの役割	市道等の維持管理活動（市道等の除草、清掃、除雪、及び市道等の状況に係る通報に関する活動）の実施		
	市の役割	活動支援（清掃用具等の支給、ボランティア保険の加入）		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○各パートナーが地域の実情に応じて主体的に活動を行った。</p> <p>○市道の適正な維持及び地域全体の環境美化の向上と地域コミュニティの活性化に寄与した。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
○高齢化等により参加人数が減少している団体がある。今後、積極的に広報活動を行い、参加団体の拡大に努める。				

協働事業名	TSマーク付帯保険加入促進事業	所管部課名	都市整備部 交通対策課	
事務事業名	交通安全意識の啓発	電話番号	042-481-7454	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>令和2年4月1日から東京都条例が改正されたことにより、自転車保険への加入が義務化となる。</p> <p>市はこの改正を受け、多くの市民に自転車点検・整備の重要性や自転車保険義務化が周知されることを目的として、自転車保険の一つである「TSマーク付帯保険」の加入費用の一部を助成券配布方式で助成することとした。</p> <p>なお、当保険加入に必要な自転車整備は、店舗での対応を要するため、市内に点在する「自転車商協同組合調布支部」の組合員（各店舗）に来客対応、助成券取りまとめ、実績報告を業務委託している。</p>				
協働のパートナー	東京都自転車商協同組合 調布支部		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	交通安全
			関連施策※	25総合的な交通環境の整備
役割分担	パートナーの役割	広報、店舗対応、市へ実績報告		
	市の役割	事業企画、運営、広報		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○当該事業に参加した多くの市民に自転車点検・整備の重要性や自転車保険義務化を周知した。				
協働に当たっての課題と対応				
○効果的な事業広報が課題である。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	北部地域公共交通（実証実験）事業	所管部課名	都市整備部 交通対策課
事務事業名	ミニバスの運行	電話番号	042-481-7454
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
ミニバス北路線（調37系統。調布駅北口⇄都営深大寺住宅）の一部区間の大幅減便に対し、影響を受けた深大寺北町、深大寺東町（北部地域）の移動手段を協議・検討するため、交通ニーズの把握に向けて巡回型公共交通の実証実験を導入。導入後、同運行に対する地域要望を把握するため地域の方々との意見交換や、対象地域でのアンケート調査などを実施。把握した地域要望をもとに公共交通活性化協議会で巡回型公共交通が北部地域に適合しているかを協議・検討した結果、より交通ニーズに適した移動手段の検討が必要であるとの結論が出たため、新たな実証実験により引き続き交通ニーズを把握していくこととしている。			
協働のパートナー	北ノ台まちづくりネットワーク・ふじみ地区自治会等連合会・北部地区まちづくり推進準備会のほか、深大寺北町、深大寺東町の市民	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	都市整備
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	25総合的な交通環境の整備
役割分担	パートナーの役割	広報・周知のほか、市への助言等	
	市の役割	事業の企画・運営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○前年度、巡回型公共交通のバス停の追加、ルート案や運行概要を協議・検討いただき、また、利用者アンケート調査等により、より交通ニーズに適した移動手段の検討が必要であることが確認でき、新たな実証実験の必要性を導き出した。			
協働に当たった課題と対応			
○北部地域の地域交通に対する要望は、年齢層や利用者の生活状況、既存公共交通の利用頻度やその利便性などにより多岐にわたるため、巡回型公共交通又は新たな実証実験に対する意見集約が困難であったが、様々な場を利用して意見交換することにより、一定の結論を導き出した。			

協働事業名	高齢者等運転免許自主返納サポート事業	所管部課名	都市整備部 交通対策課
事務事業名	交通安全意識の啓発	電話番号	042-481-7454
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
高齢者が運転する自動車事故の減少を目的に、調布市と調布市商工会、調布市高齢者免許自主返納推進市民会議が連携・協力して、運転免許証を自主返納した高齢者等が、協力店舗で運転経歴証明書を提示することで、店舗特典サービスを受けることができるサポート事業を令和4年度に開始した。運転免許証を自主返納しやすい環境づくりを推進することにより、運転に不安を感じている高齢者等の運転免許証自主返納の促進に寄与することを目的としている。			
協働のパートナー	調布市商工会、調布市高齢者免許自主返納推進市民会議	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	分野	交通安全
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	25総合的な交通環境の整備
役割分担	パートナーの役割	意見交換、広報、市へ実績報告	
	市の役割	事業企画、運営、広報	
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○効果的な意見交換及び広報を実施することができた。			
協働に当たった課題と対応			
○当該事業の協力店舗拡大が課題である。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



# 教育部

## 令和4年度 協働事業一覧

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
99	デジタル化に対応した食育の推進	事業協力, 情報交換・情報提供	東日本電信電話株式会社, 株式会社NTTアグリテクノロジー, 市立小学校	学務課 企画経営課
100	学校開放事業	情報交換・情報提供, 指定管理・業務委託	学校開放運営委員会	社会教育課
101	調布市二十歳のつどい	実行委員会	二十歳のつどい実行委員会	社会教育課
102	障害者社会活動支援事業	事業協力, 指定管理・業務委託	調布のびのびサークル	社会教育課
103	学習グループの活動	事業協力, 補助・助成	学習グループサポート事業登録グループ(コミュニケーション学習会“SMILE”, たんぼぼの会, CCD, 子育てネットkonokono, 歴史サークル・芝蘭, 教育フォーラム・のどらか, つむぐ)	社会教育課
104	リーダー養成講習会	指定管理・業務委託	調布市レクリエーション研究会	社会教育課
105	調布市公立学校PTA連合会の活動	実行委員会, 事業協力, 補助・助成	調布市公立学校PTA連合会	社会教育課
106	こどもの緊急避難場所提供	事業協力, 情報交換・情報提供	市内小学校PTA校外委員及び健全育成委員, 協定締結機関	社会教育課
107	社会教育関係団体の活動	事業協力, 補助・助成	社会教育関係登録団体(アカデミー愛とびあ, 調布市公民館・文化会館たづくり利用者会議, 調布さくらウインドオーケストラ, 調布フィーリングアーツ, 調布フィルハーモニー管弦楽団, ぶちぶち, 調布市青少年吹奏楽団, 混声合唱団 七福神, ジャズボーカル・ドリーム, ボーイスカウト調布第3団)	社会教育課
108	地域文化祭	実行委員会	東部地域文化祭実行委員会, 西部地域文化祭実行委員会, 北部地域文化祭実行委員会	東部公民館 西部公民館 北部公民館
109	「日本史を学ぶ会」公開講座	共催	日本史を学ぶ会	東部公民館
110	地域連携事業「桐朋女子中・高等学校」	事業協力	桐朋女子中・高等学校	東部公民館

No.	協働事業名	協働の形態	パートナー	所管課
111	若葉学校地区協議会共催「防災講演会～地形と自然災害」	共催, 情報交換・情報提供	若葉学校地区協議会	東部公民館
112	体験教室「小倉百人一首の世界 歌人とその時代」	共催	小倉百人一首を楽しむ会(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
113	「書道を楽しむひととき『西和会』体験教室」	共催	西和会(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
114	「Let's speak English『やさしい英会話』体験教室」	共催	やさしい英会話(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
115	「和太鼓って気持ちいい！～子どもも大人もいっしょに体験しませんか～『たま川太鼓』体験教室」	共催	たま川太鼓(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
116	「秋の夜長のおつまみとおかず作り『おやじの厨房』体験教室」	共催	おやじの厨房(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
117	「秋を楽しむ女子会ランチ『クッキングママ』体験教室」	共催	クッキングママ(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
118	「秋の夜長のおつまみとおかず作り『クッキングパパ』体験教室」	共催	クッキングパパ(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
119	「干支のうさぎを墨で描いてみませんか『西雅会』体験教室」	共催	西雅会(西部公民館利用登録団体)	西部公民館
120	『知りたい』が未来をつくる！『科学道100冊』図書展	事業協力	「科学道2022」実行委員会	北部公民館
121	北の杜講座「みんなで盆踊り体験～東京音頭, 調布音頭など」	共催	上ノ原まちづくりの会(地区協議会)	北部公民館
122	「手づくり うえのはら カルタ」	共催	上ノ原地区子ども会連絡会 えどう・みどり子ども会	北部公民館
123	「北の杜ほくほく散歩～上ノ原公園からかに山～」	共催	上ノ原まちづくりの会(地区協議会)	北部公民館
124	「北の杜ドキドキ防災フェス2023」	共催	上ノ原まちづくりの会(地区協議会)	北部公民館
125	図書館の利用支援	事業協力	図書館に登録している音訳者・点訳者・布の絵本製作者・宅配協力員	図書館
126	読書啓発事業	共催	アカデミー愛とびあ	図書館
127	地域文化講演会「調布の社寺をめぐる信仰の今昔～疫病への対処を中心に～」	共催	調布史談会	郷土博物館
128	第63回調布市郷土芸能祭ばやし保存大会	共催	調布市郷土芸能祭ばやし保存会	郷土博物館
129	深大寺・調布市教育委員会・狛江市教育委員会三者共催事業 連続講演会・座談会「深大寺白鳳仏の来歴を探る」	共催	深大寺, 狛江市教育委員会	郷土博物館

協働事業名	デジタル化に対応した食育の推進	所管部課名	教育部 学務課 行政経営部 企画経営課	
事務事業名	小学校給食の推進	電話番号	042-481-7476 042-481-7368	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>「調布スマートシティ協議会」の会員であるNTT東日本及びNTTアグリテクノロジーと連携し、ローカル5Gを活用した新しい農業技術を生かした取組について、入間町にある中央研修センタにて栽培されているトマトを市立小学校の給食食材として活用した。</p> <p>学校給食用食材を通じた地産地消につなげるとともに、地域で取り組んでいる最先端農業ハウスの取組についてタブレット等を活用して学ぶことで、デジタル化に対応した食育の推進に取り組んだ。</p>				
協働のパートナー	東日本電信電話株式会社、株式会社NTTアグリテクノロジー、市立小学校		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	教育、デジタル
			関連施策※	
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、トマト栽培		
	市の役割	事業協力、広報		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○地場野菜の活用による、学校給食を通じた地産地消の取組推進につながった。</p> <p>○デジタル化に対応した食育の推進につながった。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
<p>○東日本電信電話株式会社の中央研修センタ（NTT e-City labo）で実証中の先端技術を活用した取組の検討が必要である。</p> <p>○事業継続のためには、中央研修センタで栽培された食材の配送方法について検討が必要である。</p>				

協働事業名	学校開放事業	所管部課名	教育部 社会教育課	
事務事業名	学校施設の開放による市民のスポーツ活動支援	電話番号	042-481-7488	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
<p>学校開放事業は、市民の生涯学習意欲を高め、心身の健全な発達に寄与することを目的に、一般開放及び総合開放の2つの事業形態で学校施設を開放している。このうち総合開放は、地域住民を中心に組織された開放運営委員会に学校施設開放の管理運営、地域運動会の実施、夏季休業期間におけるプール開放の実施等を委託している。また、各開放運営委員会との情報交換の場として、総合開放運営連絡会を実施している。</p>				
協働のパートナー	学校開放運営委員会		事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	スポーツ
			関連施策※	14市民スポーツの振興
役割分担	パートナーの役割	年間の事業計画と事業実施、開放施設の管理運営		
	市の役割	各開放運営委員会との情報交換、総合開放運営連絡会の実施		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○地域住民を中心に組織された開放運営委員会に学校開放事業を委託をすることで、学校と地域の連携が図られるとともに、地域コミュニティの形成に寄与することができた。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
<p>○学校開放における運営委託費について、引き続き、公費であることを踏まえた適切な執行の周知・徹底を図っていく。</p> <p>○安全面の観点から、地域運動会などの運営委員会が実施する事業では、傷害保険及び賠償責任保険の加入を徹底する。</p>				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市二十歳のつどい	所管部課名	教育部 社会教育課
事務事業名	二十歳のつどいの運営	電話番号	042-481-7488
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
二十歳前後の若者からなる二十歳のつどい実行委員会を組織し、若者のアイデアを積極的に取り入れた二十歳のつどいを実施した。実行委員については、市報や市ホームページで募集しているほか、市内の大学等からの推薦により決定している。			
協働のパートナー	二十歳のつどい実行委員会 (市報応募者、白百合女子大学学生)		事業提案者 市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習
			関連施策※ 13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	二十歳前後の若者で構成する実行委員会が令和5年調布市二十歳のつどい情報誌の作成や当日の運営等を行う。	
	市の役割	二十歳のつどいの運営及び二十歳のつどい実行委員会の補助を行う。	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○令和5年調布市二十歳のつどい情報誌は、市内対象者全員に送付し、ユニークなデザインや内容が好評となっている。 ○二十歳のつどい当日は、司会や運営の補助を通して、若者の活躍の機会を創出できた。			
協働に当たった課題と対応			
○例年、実行委員の応募が少ないことが課題となっている。市報や市ホームページ、Twitterなどでの募集のほか、効果のある周知方法を検討していく。			

協働事業名	障害者社会活動支援事業	所管部課名	教育部 社会教育課
事務事業名	のびのびサークル事業の推進	電話番号	042-481-7488
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
のびのびサークルは、特別支援学級及び特別支援学校の在籍者・卒業生を対象に、ダンスやゲームなどのレクリエーション活動を月2回程度実施している。			
協働のパートナー	調布市のびのびサークル		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 障害者福祉
			関連施策※ 06青少年の健全育成
役割分担	パートナーの役割	年間を通じた事業運営	
	市の役割	会場予約や広報等	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○のびのびサークルは長期間にわたり当該事業の運営を行ってきたことから、参加者の個々の個性に合わせた、配慮のある事業運営を行えている。			
協働に当たった課題と対応			
○様々な体験活動の機会を提供することで、自立性の向上に向けた支援を行ってきたが、運営側の高齢化などの理由により、今後の事業のあり方について、検討が必要である。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	学習グループの活動	所管部課名	教育部 社会教育課
事務事業名	学習グループの支援	電話番号	042-481-7490
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市民が自主的に学習活動を行う団体を「学習グループ」として登録し、市が公開講座の講師謝礼助成や学習活動時の保育者謝礼助成などの費用の補助、市報や市ホームページへの掲載による広報活動の補助、年次活動記録製本の補助などを通して、各グループが学習の成果を地域社会に還元するための支援をしている。グループ登録は1年ごとに行い、毎年5月から翌年3月末までをサポート期間とする。			
協働のパートナー	学習グループサポート事業登録グループ（コミュニケーション学習会“SMILE”，たんぼぼの会，CCD，子育てネットkonokono，歴史サークル・芝蘭，教育フォーラム・のどらか，つむぐ）	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成	分野	生涯学習
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	各学習テーマに沿った学習会の企画，運営，実施報告。講師の選定やチラシの準備を含む。	
	市の役割	講師及び保育者への謝礼，手話通訳業務委託料を支払う。市報掲載依頼やホームページ作成を行う。	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○令和4年度は7グループが登録し，公開講座講師謝礼10件を助成した。生涯学習の機会の提供だけではなく，保育を伴う学習活動の中で地域コミュニティとしての役割も果たしている。 ○広報活動においては，任意のタイミングで情報発信できる市ホームページの利点を活かし，急ぎょ開催中止が決まった公開講座の案内にも対応できた。			
協働に当たった課題と対応			
○今後の課題として，今以上にグループ同士の情報共有を図りたいとの意見が一部の参加者から出ていることから，年次活動報告の活用方法や年1回の事業説明会について，各団体の意見を聞いて次年度以降の進め方を検討する。			

協働事業名	リーダー養成講習会	所管部課名	教育部 社会教育課
事務事業名	リーダー養成講習会の実施	電話番号	042-481-7488
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
青少年の健全育成を図るとともに，地域で活躍できる人材の養成を図ることを目的に，中学生対象のジュニアリーダー講習会，高校生対象のシニアリーダー講習会，高校生以上対象のレクリエーション講習会を実施。各講習会の企画・運営を地域団体である調布市レクリエーション研究会が行っている。			
協働のパートナー	調布市レクリエーション研究会	事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	子ども
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	06青少年の健全育成
役割分担	パートナーの役割	各講習会の企画・運営	
	市の役割	各講習会の会場予約，広報等	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○ゲームや野外活動について熟知しているパートナーと協働することで，多彩な内容の講習会を実施することができ，各講習会の受講生も楽しみながら，リーダーシップを身に付けることができた。			
協働に当たった課題と対応			
○各講習会の参加者数が減少しているため，広報活動や運営方法について，引き続きパートナーと検討を進める必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	調布市公立学校PTA連合会の活動	所管部課名	教育部 社会教育課
事務事業名	調布市公立学校PTA連合会の支援	電話番号	042-481-7490
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市内公立学校20校の単体PTAの合議体である、調布市公立学校PTA連合会では、毎年12月に開催する教育懇親会で、教育に関するテーマでディスカッションをするほか、進学フェアの実施、各校の施設改善要望をとりまとめて市に要望するなどしている。市は、補助金を交付するほか、他機関との連絡調整を担っている。			
協働のパートナー	調布市公立学校PTA連合会		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 社会教育
			関連施策※ 05学校教育の充実
役割分担	パートナーの役割	地域の課題に即した事業の展開	
	市の役割	補助金を交付する。進学フェアの市報掲載依頼やホームページ作成を行う。	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
〇体育事業や進学フェアなど、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対面での開催が中止となった事業もあったが、オンライン併用で開催した教育懇談会や施設改善要望のとりまとめ等、調布市公立学校PTA連合会と協働することにより、地域のニーズに合った事業を展開することができた。			
協働に当たった課題と対応			
〇進学フェアなど、コロナ禍において書面及びオンライン開催となった事業が、平常時の形式（対面）で開催できるよう連絡調整を行っていく。			

協働事業名	こどもの緊急避難場所提供	所管部課名	教育部 社会教育課
事務事業名	こどもの家の充実	電話番号	042-481-7488
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
子どもたちの登下校中や放課後の安全を地域全体で見守るために、有事の際の緊急避難場所を提供する目的で、平成12年に八雲台小学校PTAの校外活動として始まった。現在は市内小学校20校のPTA校外委員や健全育成委員の自主的な活動として継続しているほか、調布市医師会やコンビニエンスストア防犯協会等の9団体と協定を締結し、御協力いただいている。社会教育課は活動の広報、名簿の情報共有のほか、目印となるプレート等の作成、登録者全体の傷害保険の加入など費用面の負担をしている。			
協働のパートナー	市内小学校PTA校外委員及び健全育成委員、協定締結機関		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 子ども
			関連施策※ 05学校教育の充実
役割分担	パートナーの役割	担当区域内の登録・削除等の受付及び名簿の管理、登録者への掲示物等の配付、社会教育課への情報共有	
	市の役割	各区域担当者からの情報共有に基づく名簿の更新、協定締結機関の名簿管理及び情報共有、掲示物の作成、傷害保険加入、活動広報	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
〇学区の現状を知る校外委員等と連携し、現状に則した名簿となるよう運営できた。			
協働に当たった課題と対応			
〇より実効性のある名簿とするため、今後も校外委員等が校区単位での名簿管理・活用を勧め、当課は新規登録者増を目的とした広報やサポートを担うという分業を行っていく。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	社会教育関係団体の活動		所管部課名	教育部 社会教育課	
事務事業名	社会教育関係団体の支援		電話番号	042-481-7488	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）					
社会教育関係登録団体の行う公開講座、展示会、発表会等の社会教育振興に寄与する事業に補助金を交付し、市民の自主的な社会教育活動を促進し、市の社会教育の発展を図る。					
協働のパートナー	社会教育関係登録団体（アカデミー愛とびあ、調布市公民館・文化会館たづくり利用者会議、調布さくらウインドオーケストラ、調布フィーリングアーツ、調布フィルハーモニー管弦楽団、ぶちぶち、調布市青少年吹奏楽団、混声合唱団 七福神、ジャズボーカル・ドリーム、ボイススカウト調布第3団）			事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託			分野	生涯学習
				関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の実施			
	市の役割	補助金の交付、事業の広報活動の支援			
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業				
協働したことによる成果					
○補助金の交付及び広報活動の支援により各申請団体における日ごろの学習・練習の成果や自己実現の場を提供できた。					
協働に当たっての課題と対応					
○社会教育関係団体の多様な活動の機会をサポートすることで、共同学習・相互学習を推進し、活動の成果を地域に還元するため、補助金交付団体が活動の成果を発表する際には市報や市ホームページを活用し、広く市民に周知を図り、市の社会教育の更なる発展につなげていく。					

協働事業名	地域文化祭		所管部課名	教育部 東部公民館 教育部 西部公民館 教育部 北部公民館	
事務事業名	地域文化祭の実施		電話番号	03-3309-4505	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）					
地域文化祭を開催するに当たり、東部公民館、西部公民館、北部公民館の3館それぞれの地域で文化祭実行委員会を設立し、各館の地域文化祭を行う。					
協働のパートナー	東部地域文化祭実行委員会、西部地域文化祭実行委員会、北部地域文化祭実行委員会			事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input checked="" type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託			分野	生涯学習
				関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集			
	市の役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集、事務局			
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業				
協働したことによる成果					
○高齢者等の活動の促進を図った。 ○生涯学習、学びのきっかけづくりにつながった。 ○シニア層と若年層の交流につながった。					
協働に当たっての課題と対応					
○新たな参加者の発掘、若年層への広がりには課題がある。					

協働事業名	「日本史を学ぶ会」公開講座	所管部課名	教育部 東部公民館
事務事業名	地域に根差した公民館活動の推進	電話番号	03-3309-4505
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
「日本史を学ぶ会」との共催事業として、公開講座「松平定信政権樹立の裏事情」を深井雅海氏（徳川林政史研究所所長）を講師として、令和4年11月17日に行った。			
協働のパートナー	日本史を学ぶ会		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習
			関連施策※ 13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集	
	市の役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○高齢者等の活動の促進につながった。 ○生涯学習、学びのきっかけづくりにつながった。			
協働に当たっての課題と対応			
○定期的・継続的な開催及び参加者の広がりには課題がある。			

協働事業名	地域連携事業「桐朋女子中・高等学校」	所管部課名	教育部 東部公民館
事務事業名	地域に根差した公民館活動の推進	電話番号	03-3309-4505
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
桐朋女子中・高等学校と協力した地域連携事業として公開講座等を行った。内容としては、「今ナゼ注目？学びでつながる南極と私たち」「フィールドワークの視点から」「極地の生物」「心を通わせるコミュニケーション講座」である。			
協働のパートナー	桐朋女子中・高等学校		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習
			関連施策※ 13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集	
	市の役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○若年層に向けた事業展開への広がりにつながった。 ○公民館利用者の年代層の広がりにつながった。			
協働に当たっての課題と対応			
○学校関係者への丁寧な対応、新たな生徒への分かりやすい説明が必要である。 ○事業に対する公開方法、市報・市ホームページにおける効果的な周知方法を検討する。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



協働事業名	若葉学校地区協議会共催「防災講演会～地形と自然災害」	所管部課名	教育部 東部公民館
事務事業名	地域に根差した公民館活動の推進	電話番号	03-3309-4505
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
若葉学校地区協議会と連携して、講演会を実施した。標題「防災講演会～地形と自然災害」、内容としては「知っておこう若葉地域の地形と自然災害、防災の心構え」の講演を山崎晴雄氏（東京都立大学名誉教授）が行った。			
協働のパートナー	若葉学校地区協議会	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	生涯学習
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集	
	市の役割	事業の広報、参加者募集	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○公民館と地域のつながりにつながった。			
協働に当たっての課題と対応			
○一過性の事業ではなく、定期的・継続的な連携への広がりが必要である。			

協働事業名	体験教室「小倉百人一首の世界 歌人とその時代」	所管部課名	教育部 西部公民館
事務事業名	多様な公民館事業の推進	電話番号	042-484-2531
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
西部公民館利用登録団体の「小倉百人一首を楽しむ会」が活動の公開を通じて、日頃の学習の様子や成果を地域に還元する。地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することで、団体の会員を増やす機会とする。公民館は、会場提供、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシ・ポスター）、参加者募集などを受け持つ。公開する内容及び当日の運営は団体が受け持つ。			
協働のパートナー	小倉百人一首を楽しむ会（西部公民館利用登録団体）	事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成	分野	生涯学習
	<input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託	関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営	
	市の役割	会場提供・広報・参加者募集・情報提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○西部公民館利用登録団体と共催で体験教室を開催することで、地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することができた。 ○団体が、公開する内容や当日の運営に取り組むことで、絆や主体性を育むことができた。また、参加者を一般公募することは会員数の増加につながった。			
協働に当たっての課題と対応			
○内容などを企画する段階から団体と公民館で協議を重ね、計画的に実施していく必要がある。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	「書道を楽しむひととき『西和会』体験教室」		所管部課名	教育部 西部公民館
事務事業名	多様な公民館事業の推進		電話番号	042-484-2531
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
西部公民館利用登録団体の「西和会」が活動の公開を通じて、日頃の学習の様子や成果を地域に還元する。地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することで、団体の会員を増やす機会とする。公民館は、会場提供、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシ・ポスター）、参加者募集などを受け持つ。公開する内容及び当日の運営は団体が受け持つ。				
協働のパートナー	西和会（西部公民館利用登録団体）		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営		
	市の役割	会場提供・広報・参加者募集・情報提供		
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○西部公民館利用登録団体と共催で体験教室を開催することで、地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することができた。</p> <p>○団体が、公開する内容や当日の運営に取り組むことで、絆や主体性を育むことができた。</p> <p>○参加者を一般公募することは会員数の増加につながった。</p>				
協働に当たった課題と対応				
○内容などを企画する段階から団体と公民館で協議を重ね、計画的に実施していく必要がある。				

協働事業名	「Let's speak English『やさしい英会話』体験教室」		所管部課名	教育部 西部公民館
事務事業名	多様な公民館事業の推進		電話番号	042-484-2531
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
西部公民館利用登録団体の「やさしい英会話」が活動の公開を通じて、日頃の学習の様子や成果を地域に還元する。地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することで、団体の会員を増やす機会とする。公民館は、会場提供、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシ・ポスター）、参加者募集などを受け持つ。公開する内容及び当日の運営は団体が受け持つ。				
協働のパートナー	やさしい英会話（西部公民館利用登録団体）		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営		
	市の役割	会場提供・広報・参加者募集・情報提供		
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○西部公民館利用登録団体と共催で体験教室を開催することで、地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することができた。</p> <p>○団体が、公開する内容や当日の運営に取り組むことで、絆や主体性を育むことができた。</p> <p>○参加者を一般公募することは会員数の増加につながった。</p>				
協働に当たった課題と対応				
内容などを企画する段階から団体と公民館で協議を重ね、計画的に実施していく必要がある。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	「和太鼓って気持ちいい！～子どもも大人もいっしょに体験しませんか～『たま川太鼓』体験教室」		所管部課名	教育部 西部公民館
事務事業名	多様な公民館事業の推進		電話番号	042-484-2531
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
西部公民館利用登録団体の「たま川太鼓」が活動の公開を通じて、日頃の学習の様子や成果を地域に還元する。地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することで、団体の会員を増やす機会とする。公民館は、会場提供、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシ・ポスター）、参加者募集などを受け持つ。公開する内容及び当日の運営は団体が受け持つ。				
協働のパートナー	たま川太鼓（西部公民館利用登録団体）		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営		
	市の役割	会場提供・広報・参加者募集・情報提供		
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○西部公民館利用登録団体と共催で体験教室を開催することで、地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することができた。</p> <p>○団体が、公開する内容や当日の運営に取り組むことで、絆や主体性を育むことができた。</p> <p>○参加者を一般公募することは会員数の増加につながった。</p>				
協働に当たった課題と対応				
○内容などを企画する段階から団体と公民館で協議を重ね、計画的に実施していく必要がある。				

協働事業名	「秋の夜長のおつまみとおかず作り『おやじの厨房』体験教室」		所管部課名	教育部 西部公民館
事務事業名	多様な公民館事業の推進		電話番号	042-484-2531
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
西部公民館利用登録団体の「おやじの厨房」が活動の公開を通じて、日頃の学習の様子や成果を地域に還元する。地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することで、団体の会員を増やす機会とする。公民館は、会場提供、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシ・ポスター）、参加者募集などを受け持つ。公開する内容及び当日の運営は団体が受け持つ。				
協働のパートナー	おやじの厨房（西部公民館利用登録団体）		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営		
	市の役割	会場提供・広報・参加者募集・情報提供		
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○西部公民館利用登録団体と共催で体験教室を開催することで、地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することができた。</p> <p>○団体が、公開する内容や当日の運営に取り組むことで、絆や主体性を育むことができた。</p> <p>○参加者を一般公募することは会員数の増加につながった。</p>				
協働に当たった課題と対応				
○内容などを企画する段階から団体と公民館で協議を重ね、計画的に実施していく必要がある。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	「秋を楽しむ女子会ランチ『クッキングママ』体験教室」		所管部課名	教育部 西部公民館
事務事業名	多様な公民館事業の推進		電話番号	042-484-2531
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
西部公民館利用登録団体の「クッキングママ」が活動の公開を通じて、日頃の学習の様子や成果を地域に還元する。地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することで、団体の会員を増やす機会とする。公民館は、会場提供、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシ・ポスター）、参加者募集などを受け持つ。公開する内容及び当日の運営は団体が受け持つ。				
協働のパートナー	クッキングママ（西部公民館利用登録団体）		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営		
	市の役割	会場提供・広報・参加者募集・情報提供		
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○西部公民館利用登録団体と共催で体験教室を開催することで、地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することができた。</p> <p>○団体が、公開する内容や当日の運営に取り組むことで、絆や主体性を育むことができた。</p> <p>○参加者を一般公募することは会員数の増加につながった。</p>				
協働に当たった課題と対応				
○内容などを企画する段階から団体と公民館で協議を重ね、計画的に実施していく必要がある。				

協働事業名	「秋の夜長のおつまみとおかず作り『クッキングパパ』体験教室」		所管部課名	教育部 西部公民館
事務事業名	多様な公民館事業の推進		電話番号	042-484-2531
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
西部公民館利用登録団体の「クッキングパパ」が活動の公開を通じて、日頃の学習の様子や成果を地域に還元する。地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することで、団体の会員を増やす機会とする。公民館は、会場提供、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシ・ポスター）、参加者募集などを受け持つ。公開する内容及び当日の運営は団体が受け持つ。				
協働のパートナー	クッキングパパ（西部公民館利用登録団体）		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営		
	市の役割	会場提供・広報・参加者募集・情報提供		
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○西部公民館利用登録団体と共催で体験教室を開催することで、地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することができた。</p> <p>○団体が、公開する内容や当日の運営に取り組むことで、絆や主体性を育むことができた。</p> <p>○参加者を一般公募することは会員数の増加につながった。</p>				
協働に当たった課題と対応				
○内容などを企画する段階から団体と公民館で協議を重ね、計画的に実施していく必要がある。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	「千支のうさぎを墨で描いてみませんか『西雅会』体験教室」		所管部課名	教育部 西部公民館	
事務事業名	地域文化祭の実施		電話番号	042-484-2531	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）					
西部公民館利用登録団体の「西雅会」が活動の公開を通じて、日頃の学習の様子や成果を地域に還元する。地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することで、団体の会員を増やす機会とする。公民館は、会場提供、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシ・ポスター）、参加者募集などを受け持つ。公開する内容及び当日の運営は団体が受け持つ。					
協働のパートナー	西雅会（西部公民館利用登録団体）			事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託			分野	生涯学習
				関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営			
	市の役割	会場提供・広報・参加者募集・情報提供			
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業				
協働したことによる成果					
<p>○西部公民館利用登録団体と共催で体験教室を開催することで、地域住民に様々な活動を体験する機会を提供することができた。</p> <p>○団体が、公開する内容や当日の運営に取り組むことで、絆や主体性を育むことができた。</p> <p>○参加者を一般公募することは会員数の増加につながった。</p>					
協働に当たった課題と対応					
○内容などを企画する段階から団体と公民館で協議を重ね、計画的に実施していく必要がある。					

協働事業名	『知りたい』が未来をつくる『科学道100冊』図書展		所管部課名	教育部 北部公民館	
事務事業名	地域に根差した公民館活動の推進		電話番号	042-488-2698	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）					
科学道100冊委員会（国立研究開発法人理化学研究所、編集工学研究所）が、「知りたいが未来をつくる科学道100冊」をテーマに、書籍を通じた科学者の生き方・考え方や科学のおもしろさ・素晴らしさを届けられる本との出会いを目指して選定したリストの本を図書館に揃えてもらい、各テーマに沿って展示した。また、この展示月を“北の杜科学月間”と題し、未就学児を対象とした「かがくのおはなし会」（図書館協力）、小学生を対象とした「子ども科学教室」を同時期に実施し、科学に触れるきっかけづくりとした。					
協働のパートナー	「科学道2022」実行委員会			事業提案者	市
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託			分野	生涯学習
				関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画			
	市の役割	事業の運営・会場提供・広報・情報提供			
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業				
協働したことによる成果					
<p>○実際に科学に携わる人たちの視点で選ばれた本は多角的なテーマであった。気になった本はその場で読むことができ、また殆どの本が図書館で借りることもできる（書籍・図解・マンガなど）。本の形式にとらわれず広義のテーマごとにまとめられ、見たことのある本、新しい視点で書かれた本と会うことができる機会である。</p> <p>○今年度も、図書館司書が選んだ科学の児童書も併せて展示し、おはなし会や同時期に開催した科学教室に参加した子供たちも閲覧していた。</p> <p>○昨年度に引き続き来館された市民や初めて公民館に来館した親子もおり、身近な施設を知ってもらうこともできた。</p>					
協働に当たった課題と対応					
○専門家の視点からの選定・企画であり、新しいフィールド・市民層にアピールできる事業ができることから、今後も連携して行っていきたい。					

協働事業名	北の杜講座「みんなで盆踊り体験～東京音頭、調布音頭など」	所管部課名	教育部 北部公民館
事務事業名	地域に根差した公民館活動の推進	電話番号	042-488-2698
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
地域で活動している「上ノ原まちづくりの会（地区協議会）」は地域の方々の「ふれあい」と、よりよい「まちづくり」を目指して活動している団体である。例年、上ノ原地区盆踊り実行委員会が盆踊り大会を実施しているがコロナ禍で昨年度は中止、今年度も開催困難な状況であったことから、まちづくりの会からの相談を受けて、地域住民との交流と健康増進を図るため実施した。まちづくりの会は、企画、当日の設営（上ノ原小学校から提灯を借用し会場に飾りつけをし、風船やヨーヨーなどでまつりの雰囲気を出し）、運営（太鼓演奏、踊り指導、感染症対策など）と広報を行い、公民館は、会場提供（会場設営補助を含む）、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシなど）、募集、受付などの支援を行った。			
協働のパートナー	上ノ原まちづくりの会（地区協議会）		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習
			関連施策※ 13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集	
	市の役割	会場提供、広報、参加者募集	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○盆踊り大会は「輪になって踊ろう・みんなで踊ろう」と昔から地域のふれあいや住民交流の一つとして親しまれてきていた。</p> <p>○コロナ禍でこれらの事業の中止などが相次ぎ住民交流の機会が少なくなってしまうが、今回の参加者からは人とのつながりの楽しさを再確認できたなどの感想を受け、次年度以降も地域交流のため実施を検討する話もでてきており、地域と協働して進められる事業がさらに増えた。</p>			
協働に当たった課題と対応			
○コロナ禍という制限の中、感染症対策を徹底しマスク着用で行った。1回2時間以上の事業（昼夜2回実施）なので参加者の体調等にも配慮して実施した。			

協働事業名	「手づくり うえのはら カルタ」	所管部課名	教育部 北部公民館
事務事業名	地域に根差した公民館活動の推進	電話番号	042-488-2698
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
地域で活動している「上ノ原地区子ども会連絡会 えどう・みどり子ども会」が、普通のカルタの体験会を開いたところ好評だったので、上ノ原地区の歴史や人々の暮らしのうつり変わりを学習し、それをカルタの読み札と絵札として表現した。また「北部地域文化祭・北の杜子ども体験塾」で、作成したカルタを使って子どもたちと遊んだ。公民館は、会場提供、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシなど）、募集、受付などの支援を行った。			
協働のパートナー	上ノ原地区子ども会連絡会 えどう・みどり子ども会		事業提案者 市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 生涯学習
			関連施策※ 13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集	
	市の役割	会場提供・広報・情報提供	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
<p>○カルタ制作に向けて、上ノ原地域に長く住まれている方のお話を聞き、子どもたちが絵の多くを描いた。</p> <p>○参加者からは地域の知らないことがたくさんあり、カルタで楽しく学べたなどの感想があり、事業をとおして身近な施設を知ってもらうこともできた。</p>			
協働に当たった課題と対応			
○小学生とその保護者が対象なので、コロナ禍という制限の中、感染症対策を徹底しマスク着用で行った。			

協働事業名	北の杜講座「北の杜ほくほく散歩～上ノ原公園からかに山～」	所管部課名	教育部 北部公民館	
事務事業名	地域に根差した公民館活動の推進	電話番号	042-488-2698	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
地域で活動している「上ノ原まちづくりの会（地区協議会）」は地域の方々の「ふれあい」と、よりよい「まちづくり」を目指して活動している団体である。コロナ禍での運動不足解消・健康増進のため、北部公民館周辺で自然豊かな景観が楽しめる散策コースを作り、数箇所の歴史的、地理的スポットを紹介し、参加者へ地元への関心や健康増進を促すため実施した。公民館は、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシなど）、募集、受付などの支援を行った。				
協働のパートナー	上ノ原まちづくりの会（地区協議会）		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集		
	市の役割	広報、情報提供、参加者募集		
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○地元の方の説明を聞いていっしょに歩くということは、住民にとって安心して地域参加する意識向上のきっかけになると感じる。</p> <p>○公民館周辺の短いコース設定で、定期的開催すると、地域自治への貢献となると考える。</p> <p>○三宅氏の解説を協働のパートナーや公民館（地域情報に関心をもっている市民）が今後受け継いでできるようにマスターすることの重要性も確認できた。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
○コロナ禍という制限の中、感染症対策を徹底しマスク着用で行った。				

協働事業名	「北の杜ドキドキ防災フェス2023」	所管部課名	教育部 北部公民館	
事務事業名	地域に根差した公民館活動の推進	電話番号	042-488-2698	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
地域で活動している「上ノ原まちづくりの会（地区協議会）」は地域の方々の「ふれあい」と、よりよい「まちづくり」を目指して活動している団体です。今年度「防災」について、地域の子どもやその家族などが気軽に参加して、楽しく学び、地域の消防団や地域住民同士の交流を図る企画を行った。公民館は、広報（市報、公民館だより、市ホームページ、チラシなど）、募集、受付などの支援を行った。				
協働のパートナー	上ノ原まちづくりの会（地区協議会）		事業提案者	市
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	事業の企画・運営、広報、参加者募集		
	市の役割	事業の運営・会場提供・広報・情報提供		
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
<p>○地域住民での防災活動を活発にし、住民同士の交流となる地区協議会との事業目的がかなった催しだった。</p> <p>○公民館への来館が初めての方が多かったと思われ、建物全体を歩き見ることができた催しだったので、公民館を知ってもらい良かった。</p> <p>○今後も、同時期での実施を継続したい。</p>				
協働に当たっての課題と対応				
○コロナ禍という制限の中、感染症対策を徹底しマスク着用で行った。参加者の体調等にも配慮して実施した。				

協働事業名	図書館の利用支援	所管部課名	教育部 図書館	
事務事業名	図書館の利用支援	電話番号	042-441-6181	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
文字情報を得るのに障害のある市民への情報保障を目的として、音訳・点訳・布の絵本製作・提供等の利用支援を行った。これらの実施に当たっては、音訳者・点訳者・布の絵本製作者等の各種養成講座を修了した市民の協力を得て事業を進めた。また、図書館への来館が困難な市民への図書館資料の宅配サービスを、市民協力員の協力を得て実施した。				
協働のパートナー	図書館に登録している音訳者・点訳者・布の絵本製作者・宅配協力員	事業提案者	市	
協働事業の形態	<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	09障害者福祉の充実 13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	音訳、点訳、布の絵本製作及び図書宅配		
	市の役割	リクエスト受付、資料収集、資料製作、資料貸出、協力者の養成		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○多くの市民の参加と協力を得て、市民が図書館事業の理解を深める機会ともなり、市民としてもやりがいを持つことができた。 ○それぞれの市民が持つ専門性を活用でき、図書館業務の効率化にもつながった。				
協働に当たった課題と対応				
○協力者が専門技術を習得・研鑽するための養成・研修講座開講を行う。 ○講座開講のための指導者確保を行う。 ○協力者の減少に対し、新規協力者の獲得を行う。				

協働事業名	読書啓発事業	所管部課名	教育部 図書館	
事務事業名	成人利用者の読書活動の推進	電話番号	042-441-6181	
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
市民の読書活動を支援し、集会・行事活動を促進するため、時事問題や文学に関する講演会や読書会、公開講座、作品展示等の読書啓発事業を企画、一部実施した。				
協働のパートナー	アカデミー愛とびあ		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	生涯学習
			関連施策※	13生涯学習のまちづくり
役割分担	パートナーの役割	企画・立案、講師の手配、事業運営		
	市の役割	会場確保、講師謝礼支払い、広報活動、事業運営、企画・立案		
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○広く市民に広報でき、多くの方に来場いただけた。 ○市民の多様な集会・行事活動を実現することができた。				
協働に当たった課題と対応				
○「アカデミー愛とびあ」の会員の高齢化が進んでおり、図書館としてどのように協働していくかを検討する。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。



協働事業名	地域文化講演会「調布の社寺をめぐる信仰の今昔～疫病への対処を中心に～」	所管部課名	教育部 郷土博物館
事務事業名	郷土の歴史・文化を核とした展示・普及事業の推進	電話番号	042-481-7656
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
調布市の歴史や文化について広く調査・研究・普及活動を行う市民団体である調布史談会からの提案により、調布市市民プラザあくろすホールを会場として、令和4年11月19日に地域文化講演会「調布の社寺をめぐる信仰の今昔～疫病への対処を中心に～」を共催で実施した。			
協働のパートナー	調布史談会		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 文化
			関連施策※ 20地域ゆかりの文化の保存と継承
役割分担	パートナーの役割	配布資料印刷、当日受付、司会、会場設営、講師謝礼の支払い	
	市の役割	講師への依頼、会場の予約、広報、申込受付、看板作成	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○市民団体の自主性や専門性を活かして、対等なパートナーとして事業を実施することができた。			
協働に当たった課題と対応			
○依頼する講師や役割分担について、引き続き双方の意思疎通を図りながら、協働事業の実施を継続する。			

協働事業名	第63回調布市郷土芸能祭ばやし保存大会	所管部課名	教育部 郷土博物館
事務事業名	祭ばやし保存大会の運営	電話番号	042-481-7656
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）			
市指定無形民俗文化財である「調布の祭ばやし」を今後も守り続け、後世に伝えていくため、また日頃の練習の成果を披露する場として保存大会を共催した。			
協働のパートナー	調布市郷土芸能祭ばやし保存会		事業提案者 パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野 文化
			関連施策※ 20地域ゆかりの文化の保存と継承
役割分担	パートナーの役割	大会運営、会場設営、当日受付、演技演奏	
	市の役割	会場予約、配布資料印刷、広報、当日受付、司会、会場設営	
新規・継続の別	<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業		
協働したことによる成果			
○保存会と共催して保存大会を開催することで、市として貴重な郷土芸能である「調布の祭ばやし」を今後も保護していくという姿勢を明確に示すことができた。			
協働に当たった課題と対応			
○より多くの市民の方に来場してもらえるよう開催方法や効果的な広報の検討を行う。			

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

協働事業名	深大寺・調布市教育委員会・狛江市教育委員会三者共催事業 連続講演会・座談会「深大寺白鳳仏の来歴を探る」		所管部課名	教育部 郷土博物館
事務事業名	文化財保護啓発の推進		電話番号	042-481-7656
事業の概要（協働を行った事業の説明と協働の方法など）				
深大寺が所蔵する国宝「銅造釈迦如来倚像」、いわゆる白鳳仏の文化財的価値を広く市民に周知することを目的に、深大寺と狛江市教育委員会との共催事業として、連続講演会・座談会を開催した。				
協働のパートナー	深大寺， 狛江市教育委員会		事業提案者	パートナー
協働事業の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 実行委員会 <input type="checkbox"/> 事業協力 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> 情報交換・情報提供 <input type="checkbox"/> 指定管理・業務委託		分野	文化
			関連施策※	
役割分担	パートナーの役割	事業の企画， 講師依頼， 広報， 会場設営， 当日受付， 司会， 講師謝礼の支払い		
	市の役割	事業の企画， 広報， 会場設営， 当日受付， 司会， 講師謝礼の支払い		
新規・継続の別	<input checked="" type="checkbox"/> 新規事業 <input type="checkbox"/> 継続事業			
協働したことによる成果				
○三者共催ということで，市内だけでなく県外からも参加者が集まるなど，「白鳳仏」の文化財的価値を広く周知することができた。				
協働に当たった課題と対応				
○効率的に事業を行うために，三者それぞれの役割分担や協力体制を細かく決める必要がある。				

※ 当該事業の関連する「調布市基本計画（令和元年度～令和4年度）」の施策番号（行革プランに該当する場合はプラン番号）を記載しています。

【参考】市民参加手続の組織別実施状況

部 名	事業数			参加延人数		
	令和4年度	令和3年度	増 減	令和4年度	令和3年度	増 減
行政経営部	7	7	0	6,155	1,348	4,807
総務部	6	4	2	93	98	△ 5
市民部	1	1	0	97	46	51
生活文化スポーツ部	11	7	4	5,201	790	4,411
子ども生活部	10	8	2	12,081	3,302	8,779
福祉健康部	14	13	1	6,073	799	5,274
環境部	6	6	0	721	1,008	△ 287
都市整備部	19	15	4	7,910	5,504	2,406
教育部	15	8	7	985	2,358	△ 1,373
議会事務局	1	0	1	7	0	7
小計(市民参加手続)	90	69	21	39,323	15,253	24,070
市政関連相談	—	—	—	2,407	2,951	△ 544
合 計	90	69	21	41,730	18,204	23,526

【参考】協働事業の組織別実施状況

部 名	事業数		
	令和4年度	令和3年度	増 減
行政経営部	13	12	1
総務部	5	6	△ 1
市民部	2	2	0
生活文化スポーツ部	49	51	△ 2
子ども生活部	8	7	1
福祉健康部	10	8	2
環境部	5	5	0
都市整備部	6	7	△ 1
教育部	31	19	12
合 計	129	117	12